



取扱説明書

9型ワイドVGA LED液晶 SD ナビゲーション VIE-X009

はじめに 10 個の初期設定を行って
いただくと、本機を便利にお使いい
ただけます

操作は次ページから



地図更新のために「お客様登録」をお願い致します
裏表紙をご覧ください

かんたん操作ガイド＜携帯電話＞

- 機能の使い方や解説は「かんたん操作ガイド」でも紹介しています。
携帯電話からアクセスしてください。

URL : <http://www.net-de-torisetsu.jp/12001/guide/main>



このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

**ご使用前に、本書の「安全のために必ずお読みください」(6～7ページ)
を必ずお読みください。**

- お使いになる前に説明書をよくお読みの上、理解してからお使いください。
- お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。

初期設定

はじめに

ナビ

通信機能

A/V

設定編集

オプション機器

付録

1.1 初期設定 初期設定をする(1/2)



かんたん操作ガイド

初期設定

初期設定をする

1 自宅を登録する

→ 9ページ

自宅を登録すると簡単に帰宅ルートを検索できます。

1 自宅駐車場に車を止め、画面の自車位置にタッチ

2 地図を拡大して自車位置を微調整 ▶ **登録** ▶ **特別地点** ▶ **自宅**

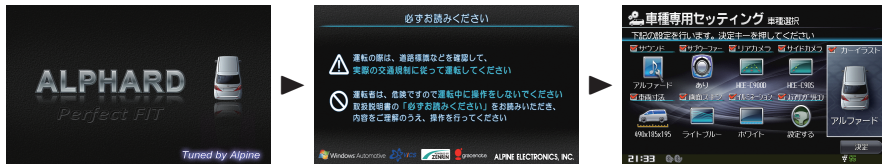
・ 帰宅ルートを検索するには **目的地** スイッチを押し、**自宅** をタッチします。

2 車種専用セッティングをする

→ 119ページ

VIE-X009は、あらかじめお客様のお車に合わせて設定されています。
初回起動時、オープニング画面と「必ずお読みください」画面を表示後、下記画面が表示されます。

<画面表示例>



1 内容を確認し、**決定** にタッチしてください。車種専用セッティングが完了します。

※ 取り付けの際に、動作確認のため初回起動が完了している場合があります。その場合、上記操作は必要ありません。また、あらためて車種専用セッティングを設定する必要はありません。

※ 上記画面表示は一例です。オープニング画面およびセッティング確認画面は、お客様のお車に合った画面が表示されます。

以降の項目の設定は「設定・編集」画面から行います。

設定 スイッチ ▶ **設定・編集**



3 文字サイズを設定する

→ 111ページ

→ 104ページ

メニュー画面の文字サイズを設定します。

各種設定 ▶ **その他** ▶ **メニュー画面文字サイズ** ▶ **大** または **標準**

地図上に表示される施設名の文字サイズを設定します。

各種設定 ▶ **地図表示** ▶ **施設文字** ▶ **大** または **小**

1.1 初期設定 初期設定をする(2/2)

4 リアビジョン機能を設定する

→ 112ページ

プラズマクラスター搭載リアビジョンのプラズマクラスター機能のオン・オフを設定します。

各種設定 ▶ その他 ▶ リアビジョン プラズマクラスター設定 ▶ あり または なし

リアビジョンのイルミネーションを設定します。

各種設定 ▶ その他 ▶ リアビジョン イルミネーション設定 ▶ あり または なし

5 携帯電話を接続する

→ 53ページ

1 Bluetooth設定 ▶ 変更 ▶ 未登録 ▶ 機器登録

2 Bluetooth機器から探索 ▶ ハンズフリー / オーディオ / ハンズフリー+オーディオ

3 携帯電話で本機を検索

・ 携帯電話にパスキー入力画面が表示されたら、本機パスキー「1234」を入力する。

4 接続先メッセージを確認 ▶ はい ▶ 通信接続先を選択 ▶ 登録

・ データ通信をしない場合は、いいえ を選択する。

6 セキュリティを設定する

→ 114ページ

盗難防止のためにセキュリティコードを設定することをお勧めします。

各種設定 ▶ その他 ▶ セキュリティ設定 ▶ する ▶ コードを入力 ▶ 完了

7 ランドマーク表示のジャンルを設定する

→ 102ページ

地図上に表示されるランドマークのジャンルを変更・追加できます。

各種設定 ▶ 地図表示 ▶ ランドマーク表示ジャンル ▶ 希望のジャンルを選択

8 スマートIC利用を設定する

→ 107ページ

ETC/DSRC車載器接続時に、スマートICを利用したルートを探索するかどうか設定します。

各種設定 ▶ 経路 ▶ スマートIC利用 ▶ する または しない

9 フェリー航路を含むルートを探索する

→ 107ページ

フェリー航路を利用したルートを探索するかどうか設定します。

各種設定 ▶ 経路 ▶ フェリー使用 ▶ する または しない

10 ナビガイド音声の音量を調整する

→ 122ページ

音量調整 ▶ ガイド音声 ▶ 音量を調整 ▶ 完了

2.1 はじめにもくじ

1 初期設定

1.1	初期設定をする	2
2.1	もくじ	4
2.2	安全のために必ずお読みください	6
2.3	自宅を登録する	9
2.4	主な画面の見かた	画面説明 10
2.5	各部の名称とはたらき	18
2.6	電源ON・OFF	19
2.7	ディスプレイの角度調整/タッチスイッチ操作について	20
2.8	使い方いつでもどこでも「かんたん操作ガイド」	21

2 はじめに

3 ナビ ナビゲーション

3.1	ルート案内を開始する一メニューから目的地を探して	22
3.2	ルート案内を開始する一地図で目的地を探して	23
3.3	目的地メニュー画面について	画面説明 24
3.4	ルート探索結果画面について	画面説明 27
3.5	ルート確認・編集画面について	画面説明 28
3.6	ルート案内中の画面や音声案内について	画面説明 31
3.7	地点登録について	画面説明 34
3.8	マルチゲート画面について	画面説明 38
3.9	ドライブインフォ画面について	画面説明 39
3.10	VICSについて	41
3.11	VICS交通情報画面について	画面説明 45
3.12	地図更新について	47

4 通信機能

電話	4.1	携帯電話と接続すると	52
	4.2	携帯電話を接続する	53
	4.3	電話をかける・受ける	54
	4.4	通話中画面について	画面説明 55
	4.5	電話メニュー画面について	画面説明 56
	4.6	電話帳を読込むには	58
「いつもNAVI」	4.7	「いつもNAVI」の準備	59
	4.8	「いつもNAVI」から情報を取得するには	60
	4.9	「いつもNAVI」メニュー画面について	画面説明 61

5 AV オーディオビジュアル

テレビ	5.1	テレビを見る	66
	5.2	テレビ画面について	画面説明 67
	5.3	テレビ操作画面について	画面説明 68
	5.4	番組表画面について	画面説明 70
	5.5	地上デジタルテレビ設定画面について	画面説明 71
ラジオ	5.6	ラジオを聴く・交通情報を聴く	72
	5.7	ラジオ操作画面について	画面説明 73
DVD	5.8	DVDを見る	74
	5.9	DVD操作画面について	画面説明 75
	5.10	DVD初期設定画面について	画面説明 78
	5.11	DVDの機能について	80
CD	5.12	CDを聴く	81
	5.13	CD再生画面について	画面説明 82
SD AUDIO	5.14	SD AUDIO—音楽を聴く	84
	5.15	SDカードに曲を録音する	85
	5.16	SD AUDIO再生画面について	画面説明 86
	5.17	SD AUDIO音楽検索画面について	画面説明 88
	5.18	SD AUDIO録音曲編集画面について	画面説明 89
	5.19	SD AUDIOプレイリスト編集画面について	画面説明 90

5 AV

オーディオビジュアル

ウォークマン®	5.20	ウォークマン®をつないで使う	91
iPod・iPhone	5.21	iPodやiPhoneの音楽・ビデオを視聴する	92
	5.22	iPod AUDIO・VIDEO再生画面について	画面説明 93
	5.23	iPod AUDIO・VIDEOサーチ画面について	画面説明 95
BT AUDIO	5.24	BT AUDIOを接続する	97
	5.25	BT AUDIO再生画面について	画面説明 98
その他	5.26	その他のAVソースメニューについて	100
	5.27	フォトバンクについて	画面説明 101

6 設定・編集

各種設定	6.1	地図表示 設定画面について	画面説明 102
	6.2	案内誘導 設定画面について	画面説明 105
	6.3	経路 設定画面について	画面説明 107
	6.4	VICS 設定画面について	画面説明 109
	6.5	AV 設定画面について	画面説明 110
	6.6	その他 設定画面について	画面説明 111
音質調整	6.7	基本設定 画面について	画面説明 115
	6.8	詳細設定1 画面について	画面説明 117
	6.9	詳細設定2 画面について	画面説明 118
	6.10	車種専用セッティング 画面について	画面説明 119
	6.11	メディア編集 画面について	画面説明 120
	6.12	画質調整 画面について	画面説明 121
	6.13	音量調整 画面について	画面説明 122
	6.14	電話設定 画面について	画面説明 123
	6.15	BLUETOOTH設定 画面について	画面説明 124
	6.16	BLUETOOTH機器設定 画面について	画面説明 125
	6.17	「いつもNAVI」設定 画面について	画面説明 126
	6.18	本機情報の確認	画面説明 128

7 オプション

7.1	ETC・DSRCについて	129
7.2	カメラについて	130
7.3	リアビジョンについて	画面説明 135
7.4	リモコン(RUE-4213)の使い方	136

8 付録

8.1	文字入力のしかた	138
8.2	Q&A	140
8.3	故障診断	145
8.4	メッセージ表示	148
8.5	AVソースメディアについての注意	152
8.6	本機対応の圧縮フォーマットについて	156
8.7	タイムコレクションについて	158
8.8	X-OVER(クロスオーバー)について	159
8.9	表示マーク一覧	160
8.10	施設ジャンル一覧	162
8.11	言語コード一覧	164
8.12	約款・規約、その他	165
8.13	保証について/規格	172
8.14	お問い合わせ窓口	175
8.15	索引	176
8.16	カーナビゲーションを購入された皆様に伝えたいことがあります	178
8.17	地図マーク一覧	179

2.2 はじめに 安全のために必ずお読みください(1/3)

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示しています。
 禁止	分解禁止を示しています。
 強制	強制(必ず実行していただく内容)を示しています。
 注意	注意すべき内容を示しています。

警告

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。



音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



2.2 はじめに 安全のために必ずお読みください(2/3)

⚠ 注意

ナビゲーションによるルート案内は、参考情報です。実際の交通規則を守って運転してください。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。



禁止

ディスク挿入口、モニター開閉時のすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意

使用上のお願い

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 本機側の雑音や誤動作の原因になったり、電話や無線機の正常な送受信ができなくなる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをおすすめします。また、リモコンスターター・カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

測位状態が安定してから走行する

- GPSを測位してから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

無理な力を加えない

- 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

お手入れは乾いた布を使う

- お手入れは乾いた布が強く絞った布でふいてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

可動部分の動作中は操作をしない

- ディスプレイ開閉や角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

- 可動ディスプレイの裏面が暖かくなりますが、故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

- 可動ディスプレイが開ききった状態では走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

お知らせ

本機は国内で使う

- 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

2.2 はじめに 安全のために必ずお読みください(3/3)

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分もアルパイン株式会社の書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、また電子的・機械的・録音・その他のいかなる手段によっても、コピー・検索システムの記憶・転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布(シリコンクロスなど)でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。
液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押したりしないでください。
- ペンジン・アルコール・シンナーは使用しないでください。変色・変質の原因になります。

注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。



ご使用前にお読みください

- 本機には、交通規制データが収録されておりますが、運転に際しては、必ず現場の交通規制標識・掲示板等を確認し、もしデータと違うときには、現場の標識・掲示板等に従ってください。
- 運転中の操作は大変危険です。必ず停車中に操作してください。
- 情報の最終更新年月が地域によって格差があるため、ある特定地域での道路の整備状況によっては、未収録や更新されていない場合があります。
天変地異による規制には対応しておりません。該当する周辺を走行する際には、警察・交通情報センター等へご確認ください。
- 本機を使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害についても、弊社はその責任を一切負いかねます。
- 本機収録の内容に誤字・脱字・位置ずれ等の表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 本機収録の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本機に含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

2.3 はじめに 自宅を登録する

自宅を登録しておくくと帰宅ルートがワンタッチで探索できます。

手順 1 画面の自車位置をタッチ ▶ 手順 2 登録 ▶ 手順 3 特別地点 ▶ 自宅

1 自宅駐車場に車を止め、画面の自車位置をタッチする



2 地図を拡大して自宅位置を微調整し、登録をタッチする

- 地図を拡大すると微調整しやすくなります。



3 特別地点 にタッチし、自宅 をタッチする

アドバイス 目的地メニューから住所などで自宅を検索して登録することもできます。



はじめに

自宅を登録する

2.4 はじめに 主な画面の見かた(1/8)ー現在地画面(1/2)

▶ 現在地画面について

電源を入れると、地図に現在の車の位置(自車位置)を主体に見た地図が表示されます(現在地画面)。

VICS受信マーク

渋滞情報や駐車場の空き情報が提供された時間を表示します。

地図表示切りかえ

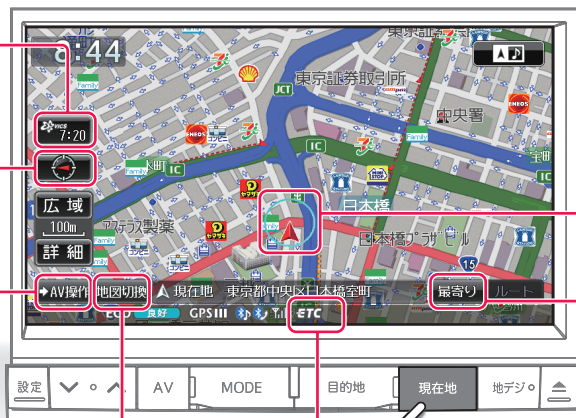
タッチすることによりヘディングアップ→3Dマップ→ノースアップの順に切りかわります。

ナビ操作/オーディオ操作切りかえスイッチ

タッチすることにより、ナビ操作スイッチ、オーディオ操作スイッチ、スイッチ表示OFFに切りかわります。

地図画面切りかえスイッチ

地図の表示のしかたを、1画面・2画面・クルージングマップ・行程ガイドから選択できます。



自車位置マーク

車の位置と向いている方向とを示します。自車マークは変更することができます(104ページ)。

最寄り

現在地周辺の施設をジャンルから探します。

「現在地」スイッチを押すと現在地画面を表示します。(現在地画面を表示しない場合もあります)

ETC・DSRCインジケータ

ETC車載器またはDSRC車載器を接続するとETC・DSRCが表示されます。

ETCカード挿入有無や車載器の状態によって表示される色が異なります。

<ETC>

ETCゲート使用可: **ETC** (白色)

ETCゲート使用不可: **ETC** (灰色)

<DSRC>

ETCゲート・DSRC使用可: **DSRC** (緑色)

DSRC使用可: **DSRC** (白色)

DSRC使用不可: **DSRC** (灰色)

■ 縮尺の変更(地図スケール切りかえ)について

地図を拡大または縮小して表示します。地図画面に表示される情報は縮尺によって異なります。一方通行などは地図を拡大して詳細地図にすると表示されます。

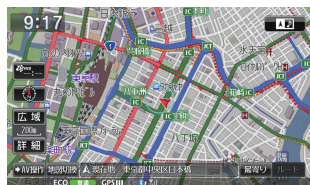


市街地図が収録されている都市では50m以下のスケールにすると市街地図を表示し、さらに詳細な道路・建物形状・建物名称などが表示されます。

2.4 はじめに 主な画面の見かた(2/8)ー現在地画面(2/2)

■ ノースアップ/3Dマップ/ヘディングアップ表示について

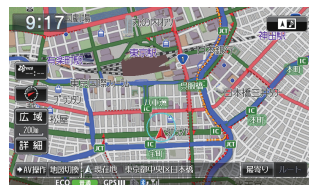
北の方角を上にした地図(ノースアップ)と、進む方向を上にした地図(ヘディングアップ)があります。また、ヘディングアップの状態での立体的な地図(3Dマップ)に切りかえることもできます。



ノースアップ



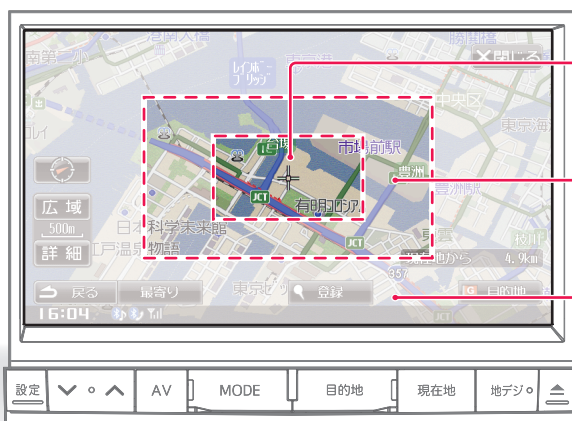
3Dマップ表示



ヘディングアップ

■ 地図の動かし方

画面のタッチスイッチ以外をタッチすると、タッチした位置が地図の中心に移動します。また、画面にタッチし続けるとその方向に地図がスクロールします。スクロールする速度はタッチする画面の位置で調整することができます。



ゆっくりスクロールするエリア

中間の速さでスクロールするエリア

速くスクロールするエリア

2.4 はじめに 主な画面の見かた(3/8)—地図切換画面

▶ 地図切りかえメニューについて

地図表示画面で **地図切換** をタッチすると地図切換画面が表示されます。地図画面の表示のしかたを1画面・2画面・クルージングマップ・行程ガイドから選択できます。



地図を一画面で表示します。



地図画面を左右に分割します。
左右の画面に別々の縮尺や方位を指定できます。



- 縮尺を変更して詳細スケールと広域スケールの2画面を表示させたり、3D市街地図とノースアップ地図とを組み合わせることなどができます。
- 2画面表示のときに左右の自車位置が若干ずれることがあります。これは左右別々に描画しているためで故障ではありません。
- 2画面表示は左右両画面で3Dマップ表示を行うことはできません。
- 高速・有料道路モード地図は左画面にのみ表示されます。



山並みを立体的に表示することができます。



- クルージングマップでの縮尺切りかえは500m～10kmの範囲で行うことができます。
- 方位は3Dマップ表示のみになります。また3D角度の変更を行うことはできません。
- 迂回地点の表示を行うことはできません。
- 自動ハイウェイモードに切りかわった場合(32ページ参照)、地図は3Dマップ表示になります。



目的地案内中に走行中のルートを簡易な行程図で示したものです。行程ガイド画面では、交差点や高速道路のインターチェンジ・SA/PAなどが現在地に近いほうから表示されます。

- 行程ガイド画面に表示されるマークについては「行程ガイドマーク一覧」(160ページ)、「行程ガイド施設マーク一覧」(160ページ)を参照してください。
- をタッチすると前後の行程を表示します。タッチし続けると連続して行程ガイドをスクロールします。行程ガイドを現在の位置に戻すには、**現在地** スイッチを押します。

地図表示設定

左画面(1画面)と右画面をそれぞれ設定することができます。

- 設定内容については、102ページを参照してください。

3D角度調整

立体的な地図(3Dマップ)を表示しているときの視点の角度をかえることができます。

- をタッチするたびに立体的になり、 をタッチするたびに平面に近づきます。
- クルージングマップでは3D角度の変更を行うことはできません。

2.4 はじめに 主な画面の見かた(4/8)—2画面表示AV+Navi

▶ 2画面表示AV+Naviについて

ルート案内画面を表示したまま音楽再生画面を表示するなど、ナビゲーションとオーディオ・ビジュアルの2つの画面を同時に表示することができます。

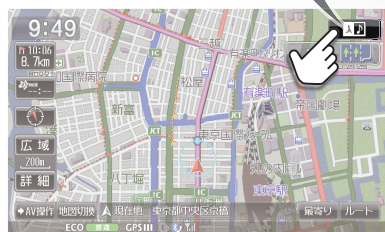
地図画面は左右どちら側に表示された場合でもランドマークなどの地図表示設定の内容は1画面表示の地図と同じです。



マルチゲート画面に切りかえます



をタッチすると2画面AV+Navi画面を表示します。



ルート案内画面



オーディオ・ビジュアル画面

▶ 画面の位置を入れかえるには(ドラッグ&ドロップで移動)

移動したい画面にタッチしたまま希望の位置まで移動し、指を画面から離すと画面が入れかわります。



▶ 画面を1画面に戻すには

■ 地図画面に戻るには

〔現在地〕スイッチを押すか、ナビ画面をタッチ

■ オーディオ画面に戻るには

〔AV〕スイッチを押すか、〔全画面〕をタッチ

■ 映像画面(DVD・地上デジタルテレビなど)に戻るには

〔AV〕スイッチを押すか、映像画面をタッチし 画面切換 → 全画面表示 の順にタッチ

- **2画面表示フルモード** をタッチすると、2画面表示で映像表示エリアいっぱいに映像が表示されます。
- **2画面表示ワイドモード** をタッチすると、2画面表示で映像表示エリアの左右幅を基準として縦横比を保持したサイズで映像が表示されます。



2.4 はじめに 主な画面の見かた(5/8)ールート案内画面

▶ ルート案内画面について

ルートを設定するとルート案内画面に切りかわります。ルート案内中は音声での案内のほか、さまざまな案内画面が地図上に表示されます。

到着予想時刻と目的地までの距離の目安を確認することができます。

交差点までの距離や右左折のレーン図を表示します。

ピンク色で目的地までの案内ルートを表示します。

ルートの確認・編集画面を表示します(28ページ)。

今いる場所や道路名を確認できます。



■ 多彩な補助画面

交差点・分岐点・高速道路の出入り口など迷いがちなポイントは、リアルな3D拡大図などさまざまな表示でわかりやすく案内します。



交差点拡大図



3Dリアル交差点拡大



高速ジャンクション案内



方面看板表示



英語表示・案内



ETCナビゲーション(料金案内)



ETCナビゲーション(レーン案内)



細街路案内



レーン(車線)ガイド表示

2.4 はじめに 主な画面の見かた(6/8)―目的地メニュー画面

▶ 目的地メニュー画面について

目的地はその名称・住所・電話番号など、さまざまな方法で探すことができます(24～26ページ)。



(目的地) スイッチを押すと目的地メニュー画面を表示します。

あらかじめ目的地の候補を登録しておくともルート探索が簡単になります。

現在地周辺のコンビニや駐車場などを探します。ルート案内中は案内地周辺やルート周辺の施設を探すことができます。

よく行く場所を登録(「特別地点」35ページ)しておくと、どこにいても簡単にそこまでのルートを探ることができます。



以前に目的地にした地点から探すことができます。

自宅をあらかじめ登録しておくと、初めて行った場所からでも帰宅ルートが簡単に設定できます。

ほかの方法でも目的地を探すことができます。

■ 文字サイズ拡大画面について

メニュー画面の文字サイズを大きく表示するように設定することができます(111ページ)。



■ 英語メニュー画面について

よく使用する項目を、英語で表示することができます(111ページ)。



2.4 はじめに 主な画面の見かた(7/8)ーAVソースメニュー画面

▶ AVソースメニュー画面について

地上デジタルテレビ放送・DVDの映像・高音質の音楽などをお楽しみいただけます。iPodやウォークマン®を接続したり、SDカードやUSBメモリの音楽・映像を視聴することもできます。



SDカードに録音した音楽を再生します。SDカードには最大9,999曲が保存できるので、好きな音楽をどんどん録音してお使いください。また、パソコン等でSDカードに保存した音楽データを再生することもできます(84ページ)。

DVD(74ページ)やCD(81ページ)を再生します。

AM・FM放送を受信します(72ページ)。



(MODE) スイッチを押すとAVソースメニュー画面が表示されます。



1620kHzと1629kHzの道路交通情報を受信します(72ページ)。

後部座席用のリアモニターを接続しているときに、その音声や映像をコントロールします。

ポータブルオーディオプレーヤーなどを接続して表示します(91、100ページ)。

BLUETOOTHオーディオ機器の音楽を再生します(97ページ)。

iPhone・iPod・USBメモリーに保存した音楽を再生します(92、100ページ)。



地上デジタルテレビ放送を視聴します。遠くにドライブしても自動的に電波を切りかえて受信するので、チャンネル切りかえの手間はかかりません(66ページ)。

2.4 はじめに 主な画面の見かた(8/8)—設定・情報画面

▶ 設定・情報画面について

本機に関するさまざまな設定や編集操作を行うことができます。詳しくは「設定・編集」(102～128ページ)を参照してください。



(設定) スイッチを押すと設定・情報画面が表示されます。



車種専用セッティング



情報



設定・編集



電話



ドライブインフォ



フォトバンク

2.5 はじめに 各部の名称とはたらき

▶ 本体スイッチと挿入口

オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。

設定・情報画面を表示します(16ページ)。

AVメイン画面を表示します。
2秒以上押すとオーディオ・ビジュアルソースのONとOFFを切りかえます。

現在地画面を表示します(10ページ)。

ルート案内中に自車位置画面で押すと音声案内を行います。また、地図画面下部の現在地名/道路名表示を切りかえます。

オプションキー設定で設定された機能呼び出します(113ページ)。初期設定時は地上デジタルテレビ画面を表示します。

ディスプレイを開閉します。
2秒以上押すと角度調整画面を表示します。

目的地メニュー画面を表示します(14ページ)。

AVソースメニュー画面を表示します(15ページ)。
2秒以上押すと本機の電源をOFFにします。

■ 地デジ (オプションキー) に機能を割り当てるには

「地デジ」(オプションキー)を押し続けると表示されるオプションキー設定画面で、「地デジ」(オプションキー)に機能を割り当てることができます。「オプションキー」設定(113ページ)からも設定ができます。カメラを接続しているときはフロントカメラやサイドカメラ映像を呼び出すことができます。

DVD/CD挿入口
イジェクトスイッチ
ディスクが取り出せないときは、5秒以上押すとディスクが押し出されます。

SDカード挿入口
音楽用/登録地点保存用SDHC/SDカードを挿入します。

地図用SDカード挿入口
地図データを収録したSDカードが挿入されています。通常、取り出す必要はありません。

地図SDカード/B-CASカード
カバーを閉めたあと、本機は自動的に再起動します。
B-CASカード挿入口
miniB-CASカードを挿入します。

⚠ 注意

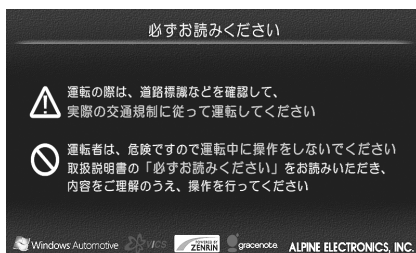
- 添付の地図用SDカードを、パソコン等他の機器に入れないでください。動作しなくなる場合があります。

2.6 はじめに 電源ON・OFF

▶ 電源ON/OFFのしかた

車のエンジンキーをACCまたはONにすると、本機の電源も連動してONになります。電源が入るとオープニング画面、「必ずお読みください」画面に続いてモード画面(地図画面やCD画面など)が表示されます。表示されるモード画面は、前回の電源OFFにしたモード画面を表示します。例えば、地上デジタルテレビ画面のときエンジンキーをOFFにすると、次回は地上デジタルテレビ画面で起動します。

車のエンジンキーをOFFにすると、本機の電源もOFFになります。



アドバイス

- 本機の電源のみをOFFにするには (MODE) スイッチを2秒以上押してください。
- 電源をONにするには、(⏮) スイッチ以外のスイッチを押します。

2.7 はじめに ディスプレイの角度調整/タッチスイッチ操作について

▶ ディスプレイの角度調整のしかた

ディスプレイの角度を6段階で調整できます。見やすい角度でお使いください。

1 スイッチを2秒以上押す

2 角度調整画面で **UP** または **DOWN** をタッチして、好みの角度に調整する



▶ タッチスイッチの操作について



操作するときはタッチスイッチに軽くタッチしてください。



操作できないタッチスイッチはグレースアウトしています。



選択されているスイッチはオレンジ色になります。

現在の画面を終了し、元のモード（ナビゲーション、DVD など）に戻ります。



前の画面に戻ります。機能によっては、タッチした画面で行った操作がキャンセルされる場合があります。

2.8 はじめに 使い方いつでもどこでも—「かんたん操作ガイド」

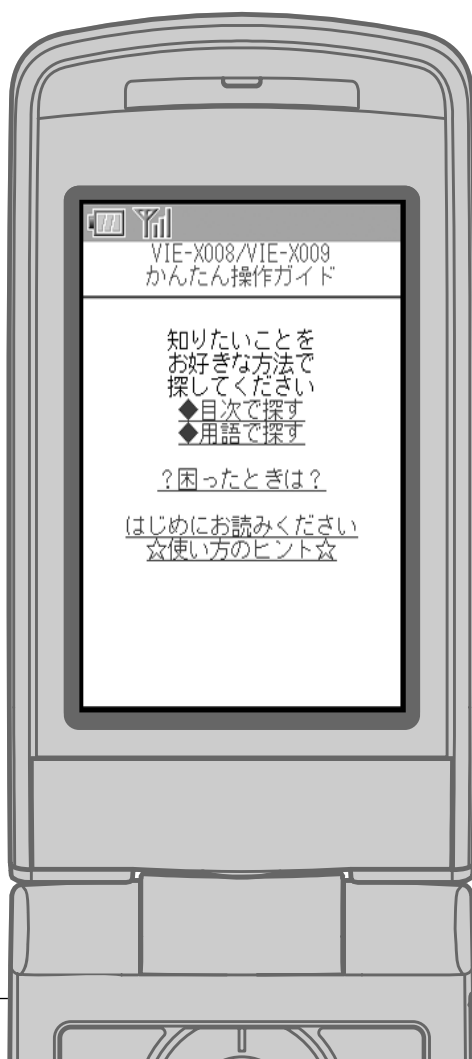
本機のすべての機能の使い方や解説を載せた「かんたん操作ガイド」をインターネットで提供しています。携帯電話で「かんたん操作ガイド」に接続すると、いつでもどこでも本機の使い方を調べることができます。携帯電話で下記のバーコードを読み込むか、URLを直接入力してアクセスしてください。

※ 「かんたん操作ガイド」は携帯電話の通信費がかかりますが、お客様の「したいこと」や「知りたいこと」がひとつひとつ独立して簡潔に作られています。そのため知りたいことが調べやすくわかりやすくなっているだけでなく、通信量も必要最小限に抑えられています。



<http://www.net-de-torisetsu.jp/12001/guide/main>

かんたん操作ガイドトップ画面



目次で探す	本の目次のように階層をたどって知りたいことを探してください。
用語で探す	何か思いついた言葉を入力して知りたいことを探してください。難しい専門用語でなくても検索できます。
困ったときは	思ったように動かないなどのときは起こっている現象からその対策を探すことができます。

※ 一部の表記は実際の画面と異なる場合があります。またお使いの携帯電話の機種によってはレイアウトが崩れたり、図や文字などが正しく表示されない場合があります。

3.1 ナビゲーション機能 ルート案内を開始する一メニューから目的地を探して



かんたん操作ガイド

施設の名称や住所などから目的地を探してルート案内を開始します。

手順 1	手順 2	手順 3	手順 4
目的地	目的地メニューから目的地を探す	目的地	推奨 ▶ 案内開始

1 目的地 スイッチを押す

2 目的地メニューから探索方法を選んで目的地を探す

- 目的地メニューについては「目的地メニュー画面について」(24ページ)を参照してください。



3 目的地 をタッチする

- 目的地がすでに設定されている場合は **経由地** が表示されます。タッチすると探索した地点を経由地に設定します。
- 表示されるルート探索結果画面については27ページを参照してください。



4 推奨 や 一般 などいずれかのルートタッチし、案内開始 をタッチする

- 設定されたルートの詳細はデモ走行(28ページ)やルートブラウザ(29ページ)で確認してください。

リルートについて

ルート案内中に道を間違えて別の道に入ったときは、適切なルートを自動的に再探索して案内を続けます。安心してドライブを続けてください。

- 別売のビーコンユニットを接続すると、アクティブルートサーチで渋滞を避けるルートが見つかったときに自動的に渋滞を避けるルートに変えることができます。
- 自動でリルートされないときは地図画面で **ルート** → **リルート** をタッチしてください。

▶ ルート案内を途中でやめるには

目的地に着く前にルート案内を途中でやめることができます。

- 目的地に着くとルート案内は自動的に終了します。ルート消去については25ページを参照してください。

3.2 ナビゲーション機能 ルート案内を開始する—地図で目的地を探して

地図上の任意の地点を目的地に設定してルート案内を開始します。

手順 1 地図から目的地を探してタッチ ▶ 手順 2 目的地 ▶ 手順 3 推奨 ▶ 案内開始

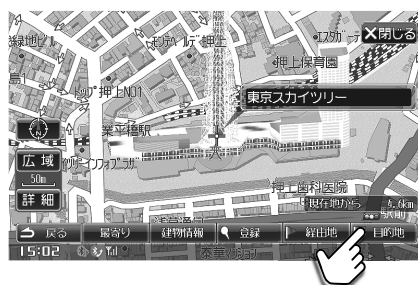
1 地図を動かして目的地にしたい地点を表示し、そこをタッチする

- 地図の動かし方は11ページを参照してください。
- 地図を拡大すると目的地を正確にタッチできます。



2 目的地 をタッチする

- 検索が終わった順にルートの候補が表示されます。表示されるルート探索結果画面については27ページを参照してください。



3 推奨 や 一般 などいずれかのルートを選択し、案内開始 をタッチする

- 設定されたルートの詳細はデモ走行(28ページ)やルートブラウザ(29ページ)で確認してください。

▶ 地図上の地点を経由地に設定する

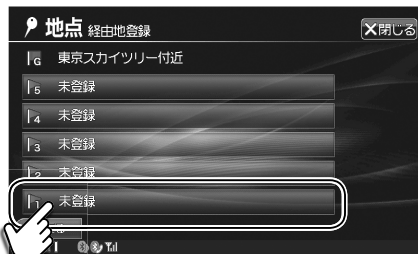
目的地まで自分の好きな道を通って行きたいときは、地図を動かして通りたい地点を経由地として設定してください。目的地を設定すると、経由地は最大5か所まで設定できます。

手順 1 地図から経由地を探してタッチ ▶ 手順 2 経由地 ▶ 未登録

1 地図を動かして任意の地点をタッチし、経由地 をタッチする

2 未登録 をタッチする

- ルートが自動的に再探索され、案内が開始されます。
- 経由地は「経由地編集」(29ページ)でも設定できます。
- すでにセットされている経由地をタッチすると、新たに指定した経由地が上書きされます。



3.3 ナビゲーション機能 目的地メニュー画面について(1/3)

目的地メニュー画面は **(目的地)** スイッチを押すと表示されます。



現在地周辺・ルート周辺・案内地周辺の施設をジャンルから探します。



- ・ ルート周辺・案内地周辺は目的地を設定していないと選択できません。
- ・ 現在地周辺・ルート周辺検索の場合は現在地から近い順に、案内地周辺検索の場合は案内地から近い順に最大40件まで表示されます。
- ・ 駐車場を検索したときは、駐車場のリスト画面で **車両情報考慮** をタッチすると車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。あらかじめ車種の情報を登録しておいてください(2、106、119ページ)。
- ・ ガソリンスタンド、デパート、コンビニを検索したときは、施設のリスト画面で **営業時間考慮** をタッチして時刻を入力すると、営業中かどうかを確認することができます

あらかじめ登録しておいた地点を目的地に設定します。



- ・ 登録地点のリスト画面で **並び順変更** をタッチすると、登録順・マーク順・距離順に並べかえることができます。
- ・ 地点登録については34ページを参照してください。

過去に設定した目的地や経由地を再度目的地に設定することができます。目的地履歴は新しいものから順に最大200件まで記録されます。



- ・ 目的地履歴には施設や地点名称と過去の設定日付が表示されます。
- ・ リストから目的地履歴を選んで **消去** をタッチすると、選択した地点を消去できます。 **消去** をタッチし続けるとすべての履歴を消去できます。

自宅へ帰るルートを自動的に設定します。



- ・ 自宅が登録されていない場合は自宅登録画面が表示されます。自宅の位置を登録してください(2、9ページ)。

施設名称の読みをかなで入力して目的地を探します。頭文字や最初の数文字だけを入力しても検索できます。



- ・ 数字や英字も読みをかなで入力してください。
例)「1」→「いち」・「Z」→「ぜつと」
- ・ 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索されます。
- ・ 該当する施設が表示されないときは、別の読みかたで再度検索してください。登録されている名称は通称とは異なる場合があります。
- ・ 件数が多い場合は、ジャンルや地域を指定したりキーワードを入力したりして絞り込むことができます。
- ・ 施設のリスト画面で **50音順・距離順** にタッチすると、50音順・距離順に並べかえることができます。
- ・ 文字入力のしかたについては138ページを参照してください。

3.3 ナビゲーション機能 目的地メニュー画面について(2/3)

	電話番号を入力して目的地を探します。施設の電話番号のほか、個人の電話番号からも検索できます。	- 電話番号は市外局番から入力してください。 - 電話番号が正確にはわからないときは、市外局番と市内局番のみを入力しておおよその地図を表示し、そこから地図を動かして目的の施設などを探することができます。 - 入力した電話番号が個人の電話番号と一致したときは個人名入力画面が表示されます。名字をひらがなで入力してください。入力した電話番号が電話帳の名字と一致しない場合は検索できません。
	都道府県名から順に住所を選んで目的地を探します。	町名・丁目・番地などの選択画面で「数字入力」をタッチすると、番地などを直接入力することができます。
	ジャンルと都道府県名を選んで目的地を探します。	- 駐車場を検索したときにVICS情報がある場合、本機の駐車場データかVICS駐車場情報のどちらかを選択して検索することができます。 - 施設のリスト画面で「50音⇄距離順」にタッチすると、50音順・距離順に並べかえることができます。 「施設ジャンル一覧」については162ページを参照してください。
	郵便番号・路線別・緯度経度・住所名称・マップコードのメニュー画面に切りかえます。	
	あらかじめ登録しておいた特別地点(35ページ)を目的地として設定します。	例えばドライブに行く際に立寄る可能性のある候補地などは特別地点として登録しておく、通常の地点登録よりも簡単に目的地や経由地に設定できます。
	ルート案内中のルートを消去します。	

施設の詳細情報画面について

施設のリスト画面で「詳細情報」スイッチを押すと、その施設に電話をかけたり提携している駐車場を探したりすることができます。

画面左端の▼をタッチするとQRコードが表示されます。携帯電話でQRコードを読み取るとインターネットから地図情報などを取得できます。

- 本サービスは株式会社ゼンリンデータコムが提供する携帯電話向け地図情報サービスを利用しています。
- 本サービスの利用によりトラブル・損害が生じても弊社は一切の責任を負いませんのでご承知ください。
- インターネットへ接続すると通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。

携帯電話を接続しているときは施設に電話をかけることができます(52ページ)。



施設と提携している駐車場を選ぶことができます。

施設の画像がある場合は画像が表示されます。

3.3 ナビゲーション機能 目的地メニュー画面について(3/3)

目的地メニューの「その他」を選択すると、さらに「郵便番号」「路線別」「緯度経度」「住所名称」「マップコード」から目的地を探索することができます。



 郵便番号	郵便番号を入力して目的地を設定します。	- 郵便番号は7桁で入力してください。 - 郵便番号で検索すると代表地点の地図が表示されます。さらに住所を絞り込みたいときは代表地点の地図上で 住所検索 をタッチすると住所を指定して目的地を検索できます。
 路線別	鉄道の駅や高速道路のインターチェンジを目的地や経由地として設定したいときは、路線名や道路名から探すことができます。	検索画面で 並び順変更 をタッチすると上り順または下り順に並べかえできます。
 緯度経度	緯度・経度を入力して目的地を探します。	緯度や経度が一桁のときは「01」のように頭に「0」を付けて二桁で入力してください。
 住所名称	観光地などおおよその目的地はあってもそこの施設名を特定していないような場合や、目的地の住所が正確にはわからない場合などは、地名の読みを入力して目的地を設定することができます。頭文字や最初の数文字を入力して検索することもできます。	- 数字や英字も、読みをかなで入力してください。 例)「1」→「いち」・「Z」→「ぜっと」 - 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索されます。 - 該当する住所が表示されないときは、別の読みかたで再度検索してください。登録されている名称は通称とは異なる場合があります。 - 件数が多い場合は絞り込みできない場合があります。 - 文字入力のかたについては138ページを参照してください。
 マップコード	レジャーガイドなどの雑誌や登録地点の位置情報に登録されているマップコードを使って目的地を探します。	- マップコードとは日本全国の位置情報を6桁～10桁の数字で表したものです。住所や電話番号では特定できない河川や観光地もマップコードを指定すると目的地として設定できます。 - マップコードは以下のホームページでも調べることができます。 http://www.e-mapcode.com

3.4 ナビゲーション機能 ルート探索結果画面について

ルート探索結果画面は目的地や経由地を設定すると自動的に表示されます。



5 ルート
希望するルートを選択します。

	VICS情報やルート学習情報などを考慮し、目的地まで最短時間で到着するルートが探索されます。	
	できるだけ一般道路を通るルートが探索されます。	• 自車位置が有料道路にある場合など有料道路を通った方が良いと判断される場合は、有料道路を通るルートを探ることがあります。
	最短の距離を通るルートが探索されます。	• 最短ルートを探さない場合があります。
	できるだけ広い道路を通るようにルートが探索されます。	
	推奨・一般・距離・道幅以外のルートが探索されます。	• 他のルートと同じルートを探する場合があります。
	利用するインターチェンジを変更したいときにタッチします。	• インターチェンジを変更すると入口・出口インターチェンジが経由地として設定されます。 • 経由地削除を行うとインターチェンジの変更も解除されます。
	冬期は通行止めになるなど、設定したルートに季節規制のある区間が含まれる場合、通行止めの区間を回避したいときにタッチするとルートが再探索されます。	• 冬期閉鎖区間を考慮してルート探索するかどうかを設定できます(108ページ)。
	ルート案内が開始されます。	• 案内開始 をタッチせずに走行してもルート案内を開始します。

3.5 ナビゲーション機能 ルート確認・編集画面について(1/3)

ルート案内中に、ルートの確認やルートの編集を行うことができます。

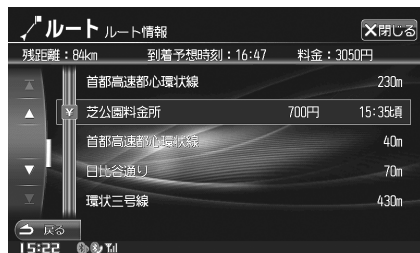
ルート案内画面はルート案内中の地図画面で **ルート** をタッチすると表示されます。



- ・走行中は安全のため「ルート情報」・「ルートブラウザ」・「デモ走行」はタッチできません。安全な場所に停車してから操作してください。

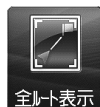


目的地までの全ルートを高速道路のインターチェンジや経由地などで分割し、それぞれの区間距離や高速道路などの料金やインターチェンジの通過予想時刻などを一覧で表示します。



- ・料金は道路によっては表示されない場合があります。
- ・料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- ・到着予想時刻は設定した車速(「到着予想時刻速度設定」105ページ参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、誤差が生じることがあります。
- ・**▲ ▼** をタッチすると画面がスクロールします。タッチし続けると連続でスクロールします。
- ・ルート情報で確認できる案内地点とマークについては、「ルート情報画面案内地点マーク一覧」(160ページ)を参照してください。

現在地から目的地までのルートが表示され、乗り降りするインターチェンジと料金が表示されます。



- ・全ルート表示ではスクロール・方位変更・縮尺変更が行えます。3Dマップへの切りかえはできません。
- ・ルートの一部が画面に表示されない場合があります。

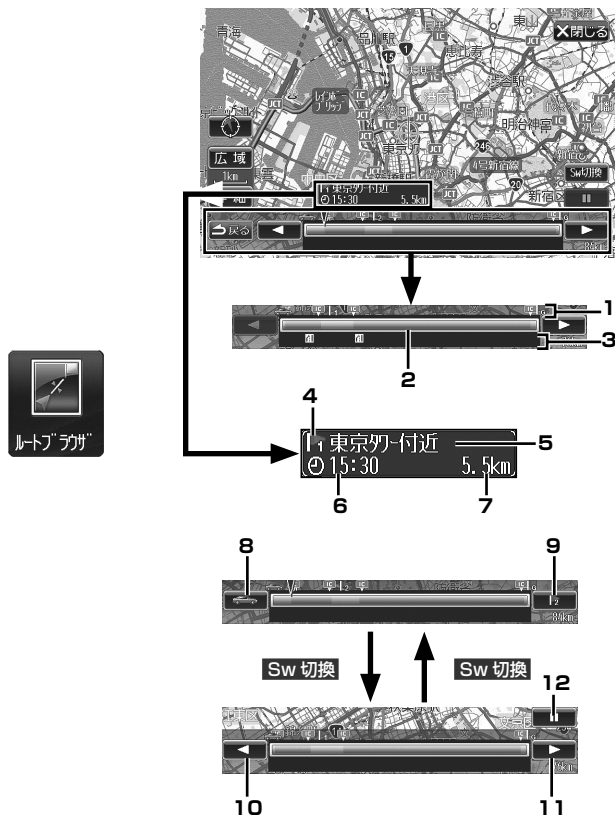
ルート探索後、目的地案内のデモを見ることができます。



- ・デモ走行を終了するには **設定** **MODE** **目的地** スイッチを押します。
- ・方位・縮尺・地図表示方法を変更してデモ走行することができます。
- ・クルージングマップ表示時はデモ走行をすることはできません。
- ・地図表示が3D表示の場合、ヘディングアップ表示に切りかえてデモ走行を開始します。
- ・デモ走行中は **地デジ** (オプションキー) は操作できません。

3.5 ナビゲーション機能 ルート確認・編集画面について(2/3)

ルートブラウザではルートに沿って地図を目的地までスクロールすることができます。



1. ルート行程表示

現在地・経由地・目的地・乗り降りインターチェンジ・フェリー乗り場をマークで表示します。

2. ルート情報表示

ルート行程を高速/有料道路は緑色の、一般道路は青色のバーで表示します。バーの任意の場所にタッチすると、タッチした箇所に相当する地点の地図が表示されます。

3. VICS規制情報表示

VICS規制情報を現在地から近い順に3つまでマークで表示します。VICS道路交通情報マークは161ページを参照してください。

4. 案内地点(目的地・経由地)マーク

案内地点マークについては160ページを参照してください。

5. 案内地点名称

6. 案内地点到着予想時刻

7. 現在地から案内地点までの距離

8. 現在地方向スキップスイッチ

タッチすると現在地方向への案内地点にスキップし、その地点の地図を表示します。

9. 目的地方向スキップスイッチ

タッチすると目的地方向への案内地点にスキップし、その地点の地図を表示します。

10. ◀

現在地方向に自動的に地図がスクロールします。タッチすることによってスクロールの速度が変化します。

11. ▶

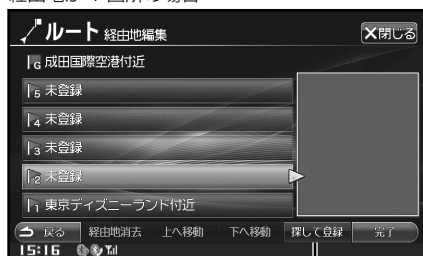
目的地方向に自動的に地図がスクロールします。タッチすることによってスクロールの速度が変化します。

12. スクロール停止スイッチ

タッチするとスクロールが停止します。

経由地を編集します。

経由地が1箇所の場合：



経由地を目的地探索メニューから設定します。

経由地が2箇所以上ある場合：



選択した経由地を消去します。

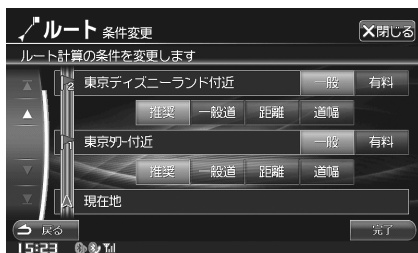
自動的に経由地を近い順で並びかえます。

選択している経由地の順番を入れかえます。

- ・ ルート案内中に経由地を消去すると、自動的にルートの再探索が行われます。
- ・ 経由地を削除すると、削除された経由地までの検索条件が新しい区間に適用されます。

3.5 ナビゲーション機能 ルート確認・編集画面について(3/3)

探索条件を変更します。経由地を設定している場合は、経由地までの区間ごとに探索条件を変更することができます。



- **推奨**・**一般道**・**距離**・**道幅** をタッチすると、その区間のルート探索条件を変えて再探索します。
- 設定した目的地や経由地の近くに一般道または有料道路がある場合に **一般**・**有料** をタッチすると、目的地や経由地を一般道路上または有料道路上に切りかえます。
- すでに通過した区間は表示されません。
- 走行中は安全のため、条件変更画面はスクロールできません。

周辺迂回

自車位置から一定の距離を迂回するルートを探します。前方の道路が工事などで通行できないときなどに利用します。

- 迂回地点をあらかじめ登録しておくこともできます(35ページ参照)。
- 案内中のルートから外れている場合は、迂回ルートは探索できません。
- 周辺の道路によっては迂回できない場合があります。

5ルート

5つのルート候補をもう一度探索し、他のルートに切りかえます。

- **5ルート** とは推奨・一般・距離・道幅・別ルートの5つのルートと言います。お好みのルートを選択することができます(27ページ)。
- 走行中は安全のため **5ルート** をタッチすることはできません。
- 経由地がセットされている場合は、5ルートの再探索はできません。

リルート

目的地案内中にルートから外れると、その位置から目的地までのルートが自動的に再探索されます。自動で再探索されないときは **リルート** にタッチし、ルートを再探索・目的地案内を開始することができます。

経由地タッチ

案内中の経由地を、通過済みにします。次の経由地、または目的地への案内を開始します。

- 経由地への近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも経由地への案内を繰り返す場合があります。そのような場合に経由地をスキップしてください。

ルート消去

現在のルート・目的地・経由地を消去します。

- 目的地に近づくとルート案内を自動的に終了します。近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも目的地への案内を繰り返す場合があります。そのようなときはルートを消去してください。

3.6 ナビゲーション機能 ルート案内中の画面や音声案内について(1/3)

目的地までのルート案内中は、さまざまな表示や音声によって目的地までナビゲーションします。



デフォルト 3D 交差点拡大表示



3Dイラスト情報のある交差点が近づくと拡大して表示されます。

- ・約700m手前から案内されます。
- ・デフォルト3D交差点拡大図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」105ページ)。

リアル 3D 交差点拡大表示



リアル3D交差点情報のある交差点が近づくと、実物のような立体的な交差点が表示されます。

- ・約700m手前から案内されます。
- ・リアル3D交差点拡大図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」105ページ)。

高速入口案内図



情報のある都市高速の入り口が近づくと拡大して表示されます。

- ・約700m手前になると案内されます。
- ・高速入口案内図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」105ページ)。

高速分岐案内



有料道路や高速道路を走行中に情報のある分岐点(JCT)が近づくと表示されます。レーンごとに方向が表示されます。

- ・約2000m手前になると案内されます。

ETC レーン表示



ETCレーン情報のある料金所が近づくと表示されます。ETC車載器(別売)にETCカードが装着されている場合はETCレーンに矢印が表示されます。

- ・ETCレーンを表示するかどうかを設定できます(「料金所ゲート案内」106ページ)。

3.6 ナビゲーション機能 ルート案内中の画面や音声案内について(2/3)

レーンガイド表示



次の交差点以降の右
左折交差点のレーン
ガイド

レーン情報がある交差点は ● が、右左折
する場合は、交差点拡大図が表示されるタ
イミングで ① が表示されます。

レーン情報のある分岐交差点が近づく(約10km以内)、交差点までの距離と走行レーンが表示されます。

- レーンガイドを表示するかどうかを設定できます(「レーンガイド表示」105ページ)。

方面看板表示



方面看板情報のある交差点の約500m手前になると方面看板が表示されます。

- 方面看板を表示するかどうかを設定できます(「方面看板表示」105ページ)。

ハイウェイモード表示



高速道路に入ったら自動的にハイウェイモードに切りかわります。ハイウェイモードではインターチェンジやサービスエリアの情報が表示されます。

- ハイウェイモードを解除するには **地図切換** をタッチし、地図切換画面で **1画面 2画面 クレージングマップ** のいずれかを選択してください。
- ハイウェイモードを自動で表示するかどうかを設定できます(「自動ハイウェイモード」104ページ)。

方向誘導線表示



自転車位置からの目的地や経由地の方向が直線で表示されます。

- 方向誘導線を表示するかどうかを設定できます(「誘導方向表示」103ページ)。

フェリー航路表示



フェリーが利用できる場合はフェリーターミナルまでルート案内されます。フェリーを降りるとルート案内が再開されます。

- フェリー航路は --- (破線) で表示されます。画面にフェリー航路が表示されていてもルート検索の対象外航路の場合があります。
- ルート探索のときにフェリー航路を含まないように設定することもできます(「フェリー使用」107ページ)。

細街路案内表示



細街路を走行すると自動で2画面表示に切りかわり、右画面に25m市街地図を表示して細街路案内を行います。

- 細街路案内表示を解除するには、現在地 スイッチを押してください。
- 細街路案内地図を自動で表示するかどうかを設定できます(「細街路オートスケール」103ページ)。

英語案内表示



地図表示と音声案内を英語で行うことができます。

- 英語案内を行うかどうかを設定できます(「英語設定」111ページ)。

3.6 ナビゲーション機能 ルート案内中の画面や音声案内について(3/3)

到着情報表示



ルート案内中に目的地までの残距離と到着予想時刻が表示されます。

- ・ 経由地やフェリー航路が設定されている場合はタッチするとそれぞれの残距離と到着予想時刻が表示されます。
- ・ 経由地の場合は  が  (数字は経由地の数による) に、フェリー航路の場合は  が  に変わります。

音声案内について

ルート案内中は案内ポイントの音声案内に加えて、以下のような音声案内を行うことができます。音声案内を聞き逃したときなどは、任意のタイミングで **(現在地)** スイッチを押すと聞くことができます。

- ・ 音声案内の確認は **(現在地)** スイッチを押すタイミングによって案内の内容が変わります。

料金案内

有料道路や高速道路の出口料金所前で料金が音声で案内されます。

- ・ 正しい料金が案内されるようあらかじめ車種の情報を登録してください(車両情報)106ページ)。
- ・ 高速道路走行中にルートを変更したときやETC車載器を装着している場合は料金案内はされません。

合流案内・踏み切り・事故多発地点

合流地点・踏み切り・事故多発地点がある場合に音声とアイコンでお知らせします。

合流案内	 
踏み切り	
事故多発地点	

- ・ 合流地点・踏み切り・事故多発地点を案内するかどうかを設定できます(「合流案内」「踏み切り案内」「事故多発警告案内」105ページ)。

県境

都道府県の県境を越えるときに音声でお知らせします。

- ・ 県境を案内するかどうかを設定できます(「県境案内」105ページ)。

案内地点までの残距離

案内地点までの残距離が10km以内になったときに音声でお知らせします。

- ・ 案内地点までの残距離を案内するかどうかを設定できます(「残距離音声案内」105ページ)。

到着予想時刻

目的地や経由地の到着予想時刻を音声でお知らせします。

- ・ 到着予想時刻を案内するかどうかを設定できます(「到着予想時刻音声案内」105ページ)。

3.7 ナビゲーション機能 地点登録について(1/4)

あらかじめ地図上に地点を登録しておくと、目的地や経由地の設定が簡単にできます(最大700か所)。登録した地点に近づいたときに音声案内が流れるようにしておくこともできます。

地点登録には地図上の任意の地点を登録する方法、「いつもNAVI」のホームページで設定したドライブプランの地点を登録する方法の2つがあります。



・登録した地点は、SDカード・USBメモリーに保存することができます(120ページ参照)。

▶ 地図上の任意の地点を登録

地図上でタッチした地点・目的地メニュー画面から検索した地点を地点登録します。地点登録画面では自宅・特別地点・迂回する地点なども登録できます。



▶ ドライブプランから

「いつもNAVI」のホームページで作成したドライブプランの目的地や経由地などをパソコンに取り込んでおくと、SDカードやUSBメモリーを使って本機に地点登録することができます。

・ドライブプランについては61、65ページを参照してください。

▶ 地点登録画面について

地点登録画面は目的地メニュー(24ページ)で検索したあと「登録」をタッチするか、地図上の任意の場所をタッチしたあと「登録」にタッチすると表示されます。地点は目的地メニューの登録地点・カメラ表示地点・現在地・迂回する地点・特別地点に登録することができます。

・登録した地点は登録地点編集画面で内容を変更することができます「登録地点編集画面について」(36ページ)。



3.7 ナビゲーション機能 地点登録について(2/4)

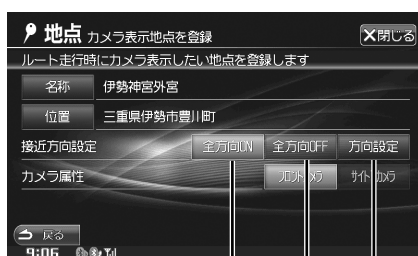
地点登録

カーソルのある地点を目的地メニューの登録地点として登録します。

カーソルのある地点をカメラ表示地点に登録します。走行中カメラ表示地点に接近したときにフロントカメラまたはサイドカメラの映像を表示します。

カメラを表示する方向を設定する

設定した地点にどの方向から近づけばカメラ映像を表示するかを設定します。

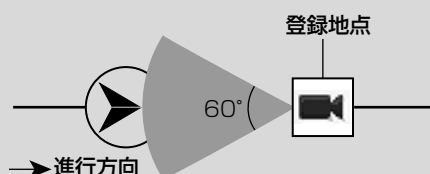


すべての方向に設定されます
すべての方向でカメラ映像は表示されません
進行方向を設定することができます

カメラ表示地点

最大700か所まで登録することができます。

- 最大50か所まで登録することができます。
- 名称・位置・接近方向を変更することができます。
- フロントカメラ/サイドカメラ共に未接続のときは**カメラ表示地点**は表示されません。カメラ接続については「フロントカメラ接続」「汎用カメラ接続」(113ページ)を参照してください。
- 地点にカメラ属性を設定します。**フロントカメラ**または**サイドカメラ**にタッチして、その地点が近づいたときにどちらのカメラ映像を表示するか設定することができます。カメラ属性は、地点リストに (フロントカメラ)、 (サイドカメラ)で表示されます。
- カメラ映像を表示するのは、登録地点の半径50m以内になります。
- 方向設定**をタッチするとノースアップの地図画面が表示されます。 または をタッチして方向を指定し、**完了**にタッチし設定を保存します。指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。



現在地

カーソルのある地点を現在地(自転車位置)に登録します。GPS受信状況の変化により画面上の自転車マークの位置・方向が実際の車の向きと異なったときに修正します。

- 自転車マークの向きは または にタッチして修正し、**登録**にタッチします。
- 修正しなくても走行を続ければ、情報が補正され正しい位置・方位になります。

迂回する地点

カーソルのある地点を迂回する地点に登録します。狭くて走りにくい道や普段から渋滞が多い場所などは迂回地点に登録しておくと、ルート探索の際にそのエリアを避けたルートが設定されます。

- 最大10か所まで登録することができます。
- 名称・位置・迂回範囲を変更することができます。迂回範囲は迂回地点を中心として、何m四方のエリアを迂回するのか範囲を設定することができます。**300m** **500m** のいずれかをタッチします。設定した範囲に合わせて地図画面上に赤色の四角で迂回するエリアを表示します。

特別地点

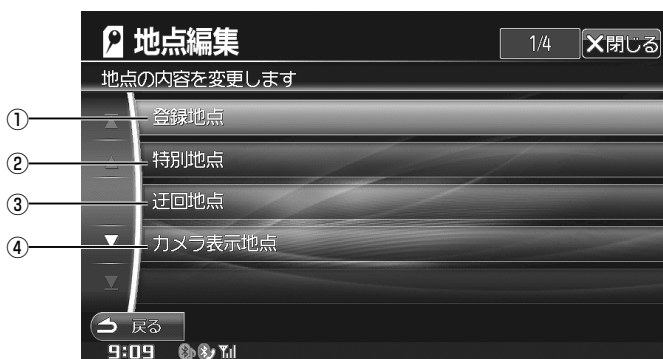
カーソルのある地点を特別地点に登録します。特別地点を3か所と自宅を登録することができます。特別地点に登録しておくことで目的地や経路が簡単に設定できます。

- 地点1** **地点2** **地点3** **自宅** のいずれかにタッチします。

3.7 ナビゲーション機能 地点登録について(3/4)

▶ 登録地点編集画面について

登録地点編集画面は **(設定)** スイッチを押して **設定・編集** → **地点編集** の順にタッチすると表示されます。また、各地点を登録したときにも編集することができます。



①登録地点

登録地点の消去や並べかえができます。詳細情報を表示すると、名前の変更やマークの編集などができます。

- リストから登録地点を選んで **消去** をタッチすると、選択した地点を消去できます。 **消去** をタッチし続けるとすべての登録地点を消去できます。
- **並び順変更** をタッチすることにより、新しく登録した順 → マークの種類ごと → 現在地から近い順にリストが並べかえられます。
- **詳細情報** をタッチすると基本情報・マーク情報・位置情報・詳細情報を編集することができます「登録地点詳細情報画面について」(37ページ)。

②特別地点

特別地点の登録や消去ができます。詳細情報を表示すると、名前の変更やマークの編集などができます。

- リストから特別地点を選んで **消去** をタッチすると、選択した地点を消去できます。 **消去** をタッチし続けるとすべての特別地点を消去できます。
- **探して登録** をタッチすると地点検索画面が表示されるので、地点を探して特別地点を登録してください。
- **詳細情報** をタッチすると基本情報・マーク情報・位置情報・詳細情報を編集することができます「登録地点詳細情報画面について」(37ページ)。

③迂回地点

迂回地点の消去ができます。詳細情報を表示すると、名前や位置の変更などができます。

- リストから迂回地点を選んで **消去** をタッチすると、選択した地点を消去できます。 **消去** をタッチし続けるとすべての迂回地点を消去できます。
- **詳細情報** をタッチすると迂回地点の名称・位置・範囲を編集することができます(37ページ)。

④カメラ表示地点

カメラ表示地点の消去ができます。詳細情報を表示すると、名前や位置の変更などができます。

- リストからカメラ表示地点を選んで **消去** をタッチすると、選択した地点を消去できます。 **消去** をタッチし続けるとすべてのカメラ表示地点を消去できます。
- 「フロントカメラ接続」(113ページ)を「あり」、「汎用カメラ接続」(113ページ)を「サイドカメラ」に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。
- **詳細情報** をタッチするとカメラ表示地点の名称・位置・接近方向・カメラ属性を編集することができます(37ページ)。

3.7 ナビゲーション機能 地点登録について(4/4)

▶ 登録地点詳細情報画面について

■ 登録地点・特別地点

基本情報画面

登録情報の基本情報(名称・読み・電話番号)を確認・変更することができます。

- ・メモにコメントを50文字まで入力することができます。

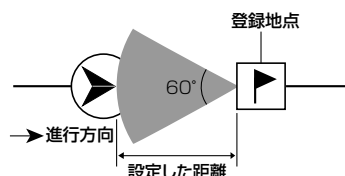
マーク情報画面

地図上に表示される登録地点マークと、登録地点に近づいたときに接近音を鳴らすかどうかや、接近距離・接近方向を確認・変更することができます。

< 接近方向設定で **方向設定** を設定する場合 >

🔄 または 📍 をタッチして方向を指定し、完了 にタッチし設定を保存します。

- ・方向を指定したときは、指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。



位置情報画面

登録地点の位置情報と地点属性(未設定・一般道路・有料道路)の確認・変更することができます。

詳細情報画面

登録地点や施設の詳細な情報を確認することができます。

3.8 ナビゲーション機能 マルチゲート画面について

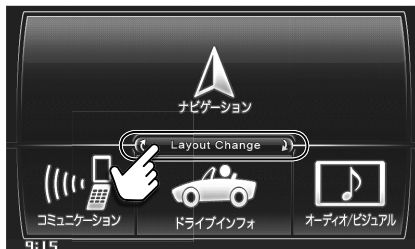
ひとつの画面を4分割して、ナビゲーション・ドライブインフォ・オーディオビジュアル・コミュニケーションの各画面を同時に表示することができます。マルチゲート画面は、ドライブインフォ画面など各画面の右上にある  をタッチすると表示されます。



▶ 画面の位置を変えるには

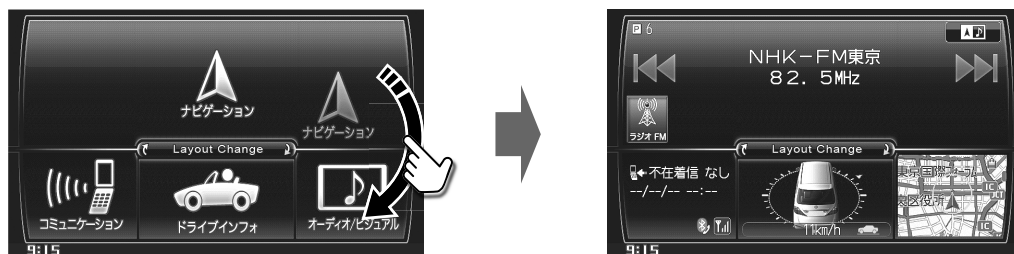
Layout Change をタッチ

マルチゲート画面中央の **Layout Change** をタッチすると、タッチするごとにそれぞれの画面が時計回りに入れかわります。



ドラッグ&ドロップで移動

移動したい画面にタッチしたまま希望の位置まで移動し、指を画面から離すと画面が入れかわります。



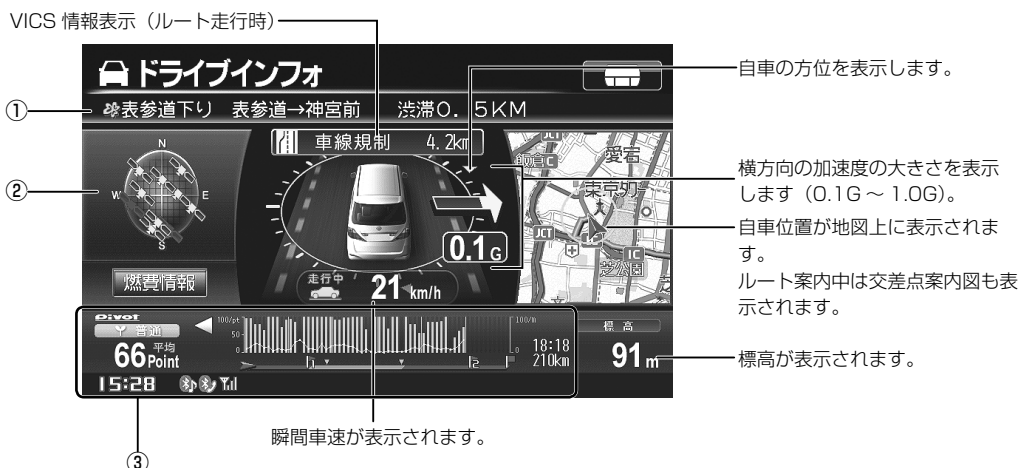
▶ 画面を1画面に戻すには

4分割された画面のいずれかをタッチすると、その画面が1画面で表示されます。

3.9 ナビゲーション機能 ドライブインフォ画面について(1/2)

ドライブインフォでは車速・GPS・ジャイロなどの情報をもとに、ドライブに役立つ車の様々な情報を表示します。
ドライブインフォ画面は **設定** スイッチを押して **ドライブインフォ** をタッチすると表示されます。

▶ ドライブインフォについて



- ・ 本機の標高表示機能はGPSデータを元にした目安です。直前に走行した一定区間の平均表示であり、リアルタイムでの表示ではありません。また、GPS信号の受信状態等により、実際と異なる標高を示す場合があります。
- ・ トンネルの中や高層ビル等の間など、GPSの受信状態が悪い場所では標高表示を行うことができない場合があります。

① 交通情報/ 「いつもNAVI」情報	VICS文字情報、またはいつもNAVI情報(お知らせ・特集)が表示されます。 情報部分をタッチすることにより、VICS文字情報といつもNAVI情報の表示が切りかわります。	・ VICS交通情報については「VICSについて」(41ページ)、いつもNAVI情報については「いつもNAVIメニュー画面について」(62ページ)を参照してください。 ・ アイコンと最大30文字の文字情報が表示され、情報が複数存在する場合は10秒ごとに切りかわります。
② GPS情報	GPS測位状況を衛星配置図で表示します。受信中の衛星は点灯し、サーチ中の衛星はトーンダウンして表示されます。	・ 衛星は最大12個表示します。
③ エコガイド	エコ判定を点数とグラフで表示します。 点数表示： 走行中の加速度から走行状態を採点します。横加速度が大きいと低く採点されます。車速が30km/hを超えると1つの区間として採点し、車速が28km/hを下回ると区間終了になります。また、2km走行した時点でも区間終了になります。より低燃費になる運転のために、エコガイド機能をご利用ください。	停車中：「区間」と表示され区間毎の採点結果を表示します。 走行中：「平均」と表示され平均採点結果を表示します。 0 ~ 20 Point: 悪い(赤色) 21 ~ 80 Point: 普通(黄緑色) 81 ~ 100 Point: 良好(青色) ・ グラフ表示について詳しくは「エコガイドについて」(40ページ)を参照してください。
燃費情報	タッチすると燃費情報画面を表示します。平均燃費がリストとグラフで表示されます。	・ 詳しくは「燃費情報画面について」(40ページ)を参照してください。

3.9 ナビゲーション機能 ドライブインフォ画面について(2/2)

エコガイドについて

標高折れ線グラフ

1kmごとに計測した50km分の標高値を折れ線グラフで表示します。

エコ判定棒グラフ

1kmごとに判定した50km分の区間得点を棒グラフで表示します。棒グラフの色はエコ判定と同じ基準です。

エコ判定・点数

自車位置アイコン

走行路線

青色は一般道、緑色は高速道路と有料道路を表示しています。

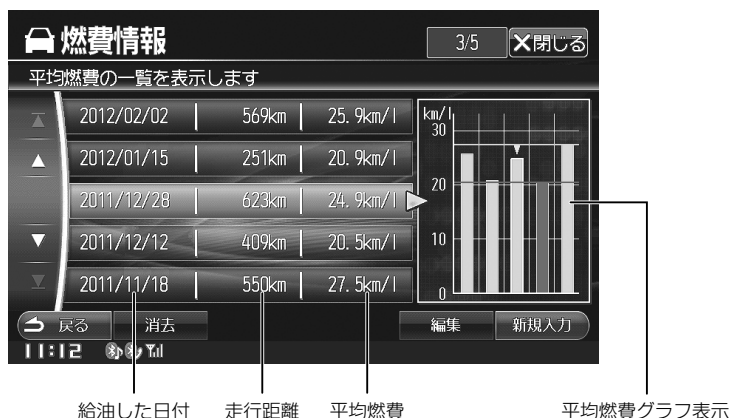
地点アイコン

目的地・経由地・フェリー乗り降り地点をアイコンで表示します。

到着予想時間・
目的地までの残距離

- ・ にタッチすると前後のグラフデータを表示します。
- ・ 急加速・急減速を行うと警告音が鳴ります。警告音はOFFにすることができます。
- ・ 時速10km/h以下では警告音は鳴りません。
- ・ 本機の数値表示機能はあくまで目安であり、スピードメーターと異なる場合があります。実際の速度はお車のスピードメーター等で確認の上、制限速度を守り安全運転を心がけてください。
- ・ エコガイドは実測による参考値で、燃費向上を保証するものではありません。
- ・ 運転中は本機能の指示はあくまで参考とし、安全・交通の流れなどを配慮した運転を行ってください。

燃費情報画面について



- ・ 最高燃費のグラフは青、最低燃費のグラフは赤、それ以外は緑で表示されます。

新規入力

平均燃費を算出するために走行距離と給油量を入力してください。

編集

選択している燃費情報の走行距離と給油量を修正できます。

消去

燃費情報は20件まで保存されます。20件を超えると古いデータから削除されますが、不要なデータを選んで消去できます。タッチし続けると、全データを消去します。

3.10 ナビゲーション機能 VICISについて(1/4)

「楽しいドライブなのに突然渋滞。なんでこんなに混んでいるの？ 空から見下ろしてみたい！」

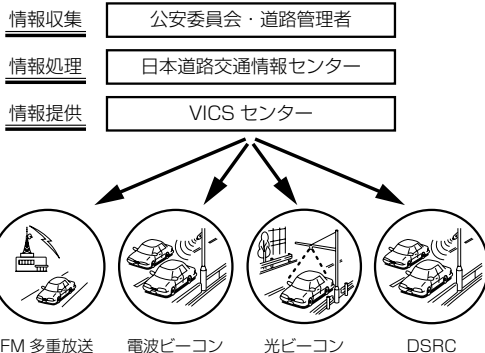
この要求に答えたのがVICIS(ビークル インフォメーション アンド コミュニケーションシステム)です。VICISは渋滞や障害・規制、駐車場などのさまざまな交通情報をリアルタイムに提供します。この情報を利用すれば渋滞を減らすことができ、交通の流れが分散されます。さらにイライラによる精神的なストレス・経済的なロス・排気ガスの削減なども期待できるのです。

VICISによる渋滞・混雑などの情報を地図上に表示するためあらかじめ「地図」に情報提供用の道路単位(VICISリンク)を設定しています。道路形状や交通情報収集施設の変化にともない、より正確な情報提供表示を行うために毎年情報提供単位が追加・変更されます。

このためにVICISによる地図情報表示は「本製品」発売後およそ3年程度で一部のエリアでVICISの地図情報が表示されなくなる場合があります。より正確な情報を表示するためには最新の「地図」をご使用ください(本製品の道路単位は2011年11月版です)。

●VICIS 交通情報システム●

渋滞・事故情報・区間の所要時間など



VICIS は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
VICIS リンクデータの著作権は(財)デジタル道路地図協会、
(財)日本交通管理技術協会にあります。

提供されるVICIS情報

VICIS情報には次のような情報があります。

■ 文字情報

文字情報を表示します。

<表示例>



■ 図形情報

簡易な道路図形などを表示します。

<表示例>



■ 地図表示情報

地図上に渋滞情報などを表示します。

<表示例>



■ 画像・音声情報(DSRCのみ)

画像を表示したり、音声情報を読み上げます。

<表示例>



3.10 ナビゲーション機能 VICSについて(2/4)

情報を提供する媒体

情報を提供する媒体には次のような種類があります。

■ FM多重放送

FM放送局から音声のすき間を使って配信されます。FM局を受信していれば利用でき、広域で情報を受けられます。

■ 電波ビーコン

主に高速道路に設置されています。ビーコンが設置された場所で周辺の情報を受けることができます。

■ 光ビーコン

一般道路に設置されています。ビーコンが設置された場所で周辺の情報を受けることができます。

■ ITSスポット(DSRC)

主に高速道路に設置されています。ITSスポットが設置された場所で情報を受けることができます。

- FM多重放送によるVICS情報を利用するにはVICS情報を放送している放送局を選局してください。放送局の選局については「VICS地域選択」(46ページ)を参照してください。
- 電波・光ビーコンによるVICS情報を受けるためには、別売のビーコンユニットが必要です。
- ITSスポット(DSRC)によるVICS情報を受けるためには、別売のDSRC車載器が必要です。

表示されるVICS情報

VICS情報は次のように表示されます。

■ VICS情報表示

FM多重放送で受信した文字／図形情報を呼び出して見ることができます。

■ VICS割込み情報表示

電波・光ビーコンまたはITSスポット(DSRC)から情報を受信した時、または指定される地点で図形・文字・画像情報を自動的に表示します。

- ITSスポット(DSRC)からの情報に音声情報が含まれる場合は表示と共に自動的に読み上げを行います。
- 情報を割込み表示しないようするには「情報割込み」109ページを参照してください。
- VICS割込み情報には以下のような種類があります。
 - 緊急メッセージ：地震や災害時の停車、避難等の行動指示(最優先で表示します)
 - 安全運転支援：走行中経路の安全運転支援情報(優先して表示します)
 - 注意警戒情報：工事・規制などの情報
 - ネットワーク障害／ことわり情報：VICSセンターなどからのお知らせ
 - 長文読み上げ情報：交通状況や気象情報などの音声情報
 - 多目的情報：道路交通情報詳細・施設関連情報などの様々な情報
 - 電子標識：標識などの案内情報
 - ビーコン図形情報：走行中経路の交通情報
 - ビーコン文字情報：広域の交通情報
- VICS割込み情報の表示画面は、「割込み時間」(109ページ)で設定した時間を経過するか、音声読み上げが終了すると解除されます。
- 緊急メッセージ・注意警戒情報は 割込み設定時間などにかかわらず解除されません。
- VICS割込み情報の表示中に、 をタッチすることで表示画面を解除することができます。
- VICS割込み情報の表示画面が複数ページある場合は  または  にタッチすると前後のページが表示されます。
- ビーコンユニットまたはDSRC車載器が必要です(緊急情報を除く)。

■ 渋滞・混雑/空き道表示

渋滞地点や渋滞区間などを地図上に矢印で表示します。混雑具合や混雑方向は右図のように表示されます。

渋滞・混雑/空き道表示は地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

渋滞情報・渋滞度	表示	内容
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態
空き道	緑色	交通の流れが良い状態

- 情報を表示しないように設定できます(「渋滞・混雑表示」「空き道表示」102ページ)。



3.10 ナビゲーション機能 VICISについて(3/4)

■ 駐車場情報の表示

VICSで提供された駐車場等のマークを地図上に表示します。さらにマークにタッチすると詳しい情報が表示されます。また、見たいときに周辺のVICIS提携駐車場を探すこともできます(「VICIS駐車場情報」46ページ参照)。

駐車場マークは地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

駐車場情報例

状況	表示(マーク)	内容
空車	(青) P	利用が可能な状態
満車	(赤) P	ほぼ満車の状態
混雑	(橙) P	利用率が高い状態
不明	(黒) P	駐車場情報がない状態

- ・ 情報を表示しないように設定できます(「VICIS駐車場マーク表示」103ページ)。

■ 規制マーク表示

速度・車線・チェーンなど、さまざまな規制情報を規制マークとして進行方向の左側に表示します。

対象区間は黄色線で地図上(道路上)に表示します。さらにマークにタッチすると詳しい情報が表示されます。

マーク	表示(マーク)
●	進入禁止
鎖	入口閉鎖
✕	事故
工	工事

規制マークをタッチすると、詳しい情報が表示されます。

情報 をタッチすると規制の詳細情報が表示され、**次へ** をタッチすると近くの規制マークを選択します。



- ・ 情報を表示しないように設定できます(「規制マーク表示」103ページ)。
- ・ VICIS情報の更新中は情報を表示することができません。また正確に情報を表示しない場合があります。
- ・ 地図画面に表示されるVICIS道路交通情報マークについては「VICIS道路交通情報マーク一覧」(161ページ)を参照してください。

音声情報読み上げについて

VICS割り込み情報に音声情報が含まれる場合は、表示と共に自動的に読み上げを行います。

- ・ VICIS割り込み情報内容が音声情報のみの場合、「音声のみの情報です」と表示されます。
- ・ 音声情報読み上げ中に画面遷移した場合、読み上げは中断されます。
- ・ 音声情報読み上げ中に **停止** をタッチすると読み上げは中断されます。また **読み上げ** をタッチすると最初から情報読み上げを行います(途中からの再生にはなりません)。
- ・ ナビ音声案内中に優先される音声情報が含まれるVICIS割り込み情報がある場合、ナビ音声案内は中断されます。
- ・ 自動的に読み上げを行わないように設定することができます(「音声自動読み上げ」109ページ)。
- ・ 別売のDSRC車載器が必要です。



3.10 ナビゲーション機能 VICSについて(4/4)

■ FM VICS情報が受信できる代表的な周波数

全国のNHK FM放送局と同一周波数で放送しています。

- ・ 情報提供地域の違いによって情報内容が異なります。詳しくはVICSのホームページをご覧ください。

■ VICSに関するお問い合わせ

- ・ VICSの概念・計画、表示された情報内容、文字・図形情報の表示内容については
VICSセンター(財団法人 道路交通情報通信センター)

【窓口】サービス・サポート・センター

TEL (0570)00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP電話等からはご利用になれません。

電話受付時間 9:30 ~ 17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

FAX (03)3562-1719(24時間受付)

※ VICSについては、以下のホームページでも確認できます。

<http://www.vics.or.jp>

- ・ 地図表示のサービスエリア・受信可否・車載機の調子・機能・使いかたについては
アルパイン インフォメーションセンター

＜一般回線ご利用のお客様用＞

TEL (0570)00-6636

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

＜携帯電話・IP電話・光電話等をご利用のお客様用＞

TEL (048)662-6636

電話受付時間(日、祝日、弊社休業日を除く)

月～金: 9:30 ~ 17:30

土曜日: 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

FAX (048)662-6676 (24時間受付)

※ アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

3.11 ナビゲーション機能 VICS交通情報画面について(1/2)

VICS交通情報画面は **(設定)** スイッチを押して **情報** → **交通情報** タブの順にタッチすると表示されます。



FM多重情報を見ることができます。表示されている放送局を選択してください。

- 表示できる情報は放送局によって異なります。
- 他の放送局を探す場合は、**再サーチ** をタッチすると自動で放送局をサーチします。手動で探すときは **▲** または **▼** をタッチして **受信開始** をタッチします。



VICSで受信した文字情報・図形情報を呼び出して見ることができます。

見たい番組の番号にタッチすると、情報を受信します。

- VICS情報を受信していないときは操作できません。
- VICS情報画面が複数ページある場合は **前頁** または **次頁** をタッチすると前後のページが表示されます。
- 図形** または **文字** をタッチすると、図形情報/文字情報画面に切りかわります。



別売のビーコンユニットまたはDSRC車載器で割込みされたVICS割込情報を呼び出して見ることができます。

- 別売のビーコンユニットまたはDSRC車載器が接続されていれば、自動で割込まれるように初期設定されています(「情報割込み109ページ」)。自動割込みを解除することもできます。
- 地図画面で **DSRC** (VICS受信マーク)(10ページ)をタッチしてもVICS割込み情報を呼び出すことができます。
- VICS割込み情報画面が複数ページある場合は **前頁** または **次頁** をタッチすると前後のページが表示されます。
- 図形** または **文字** をタッチすると、図形情報/文字情報画面に切りかわります。

3.11 ナビゲーション機能 VICS交通情報画面について(2/2)

VICSと提携している駐車場リストを、高速道路ではサービスエリア(SA)/パーキングエリア(PA)のリストを表示します。駐車場やSA/PAを選択して詳細情報を確認することができます。



- 走行中は安全のため駐車場リストは2行のみ表示されます。
- リスト表示画面で **並び順変更** をタッチすると、駐車場リストとSA/PAリストを切りかえることができます。
- 施設を選択して **詳細情報** をタッチすると、施設の詳細情報を見ることができます。
- 地図上の駐車場マークをタッチしても情報を表示することができます。 **情報** をタッチすると詳細情報を表示します。 **次へ** をタッチすると近くの駐車場を選択できます。
- VICS駐車場マークについては「VICS駐車場マーク一覧」(160ページ)を参照してください。

FM多重放送局は地域によって異なります。受信する地域を選択できます。地域を自動(オート)で選ぶか特定の地域を選択できます。

初期設定値：オート



- **オート**：移動中に受信電波が弱くなると自動で受信できる放送局に切りかわります。
- **オート** にしないときは、都道府県を選択します。



3.12 ナビゲーション機能 地図更新について(1/5)

地図の更新には地図用SDカードで全国の地図データを更新する方法と、路線別に変更された更新データだけをダウンロードする方法の2つがあります。さらに、路線別データの更新もパソコンでダウンロードして本機にコピーする方法と、携帯電話を接続して直接本機に取り込む方法の2つがあります。

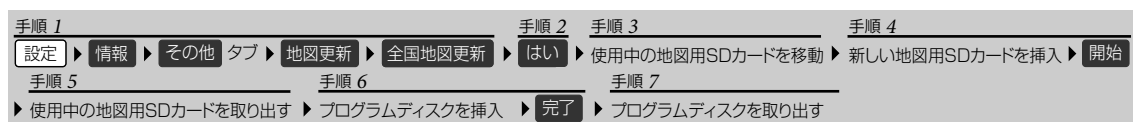
・全国版の地図更新については地図用SDカードに付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

「路線別データ」では「道路・案内」情報が更新されます。下記の制約がありますので、あらかじめご了承ください。

- ・市街地図・一方通行データは更新されません。
- ・一部エリアでは簡易的な案内となります(詳細音声・レーン情報・ジャンクション案内図などは更新の対象外となります)。
- ・新規に追加されたETCゲート名称はETC履歴の表示対象外となります。
- ・SA・PA以外の施設データは更新されません。
- ・本サービスは、弊社都合により将来終了または内容を変更する可能性があります。

▶ 地図用SDカードで地図を更新する

地図用SDカードを使って全国地図を更新します。

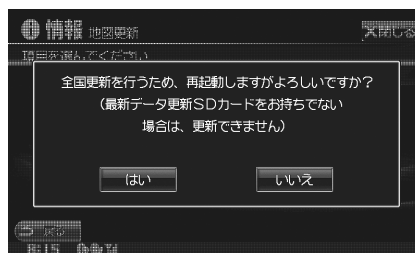


- 1 **設定** スイッチを押し、**情報** → **その他** タブ → **地図更新** → **全国地図更新** の順にタッチする



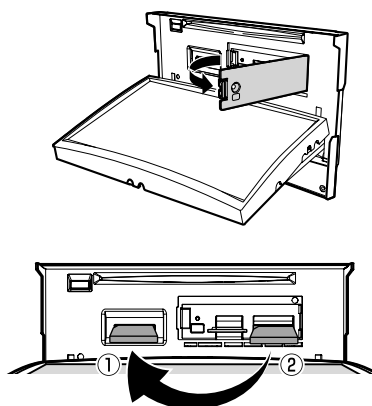
- 2 更新を確認するメッセージが表示されたら、**はい** をタッチする

- ・本機は自動的に再起動します。



- 3 ディスプレイを開いてカバーを外し、使用中の地図用SDカードを②地図用SDカード挿入口から取り出し、①SDカード挿入口に挿入する

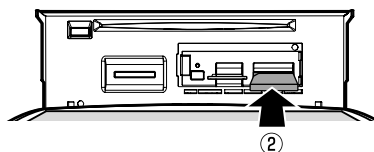
- ・SDカードを取り出すときはSDカードを押すとSDカードが押し出されますので、そのまま引き抜いてください。



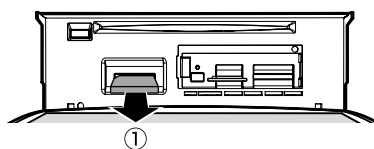
3.12 ナビゲーション機能 地図更新について(2/5)

- 4** 新しい地図用SDカードを②地図用SDカード挿入口に挿入後、カバーを閉じた後にディスプレイを閉じて **開始** をタッチする

- 使用中の地図用SDカードから、新しい地図用SDカードに下記データがコピーされます。
登録地点/検索履歴/目的地履歴
登録BLUETOOTH機器情報/電話帳/発着信履歴/短縮ダイヤル
- データコピー中は電源ON状態のまま、一切の操作を行わないでください。
- カバーは右側のツメをはめ込んでから、左側をカチッと音が出るように押し込みます。

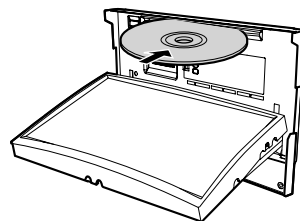


- 5** ディスプレイを開いて使用中の地図用SDカードを①SDカード挿入口から取り出す



- 6** DVD/CD挿入口にプログラムディスクを挿入後、**完了** をタッチする

- 本機は自動的に再起動します。再起動後、プログラムアップデートが行われます。
- アップデート中は電源ON状態のまま、一切の操作を行わないでください。
- もう一度再起動すると、更新は完了です。



- 7** ディスプレイを開いてプログラムディスクを取り出す

3.12 ナビゲーション機能 地図更新について(3/5)

▶ パソコンでダウンロードして路線別データを更新する

パソコンを利用して路線別データをダウンロードし、SDカード・USBメモリーに保存して本機に接続するとデータを更新することができます。

手順 1 手順 2 手順 3 手順 4 手順 5
PCのユーザーズルームで本機を選択 ▶ SDカードまたはUSBメモリーに保存 ▶ メディアを挿入する ▶ はい ▶ 地図更新 ▶ メディアを取り出す

1 パソコンでアルパインホームページのユーザーズルームにログインし、VIE-X009の「製品サービス」を選び、「高速道配信」から地図バージョンを選択する

2 取得したいデータを選択してダウンロードし、SDカードまたはUSBメモリーに保存する

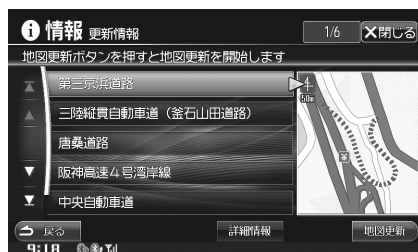
- ・SDカードはお客様で自身で用意したものをご使用ください。添付のSDカードにダウンロードしたデータを保存することはできません。

3 本機にSDカードを挿入またはUSBメモリーを接続し、更新を確認するメッセージが表示されたら **はい** をタッチする

- ・SDカードまたはUSBメモリーが接続または挿入されていて更新データが自動的に表示されない場合には、**設定** スイッチを押し、**情報** → **その他** タブ → **地図更新** → **高速道差分更新** の順にタッチしてください。

4 更新する内容を確認し、**地図更新** をタッチする

- ・データの詳細を見る場合には **詳細情報** をタッチします。



5 更新データが地図用SDカードにコピーされ、自動的に本機が再起動されたらSDカード・USBメモリーを取り外す

- ・コピーが終了すると、自動的に本機がリセットされて再起動します。
- ・更新中は電源ON状態のまま、一切の操作を行わないでください。

3.12 ナビゲーション機能 地図更新について(4/5)

▶ 携帯電話をつないで路線別データを更新する.....

路線別データを携帯電話で本機にダウンロードして、地図更新することができます。

- ・ 更新にはお客様IDとパスワードが必要です。あらかじめパソコンまたは携帯電話でアルパインホームページにアクセスし、ユーザーズルームでユーザー登録を行ってください。
- ・ 更新データをダウンロードするには携帯電話とBLUETOOTH接続する必要があります。
- ・ 携帯電話の通信費はお客様負担になります。

手順 1 設定 ▶ 情報 ▶ その他 タブ ▶ 地図更新 ▶ 高速道差分配信 ▶ IDとパスワードを入力 ▶ 手順 2 地図更新 ▶ 手順 3 地図更新 ▶ 手順 4 承諾する

- 1 **設定** スイッチを押して、**情報** → **その他** タブ → **地図更新** → **高速道差分配信** の順にタッチする

- ・ 認証が行われていない場合はIDとパスワード入力画面が表示されます。手順2にお進みください。すでに認証が行われている場合は、手順3にお進みください。



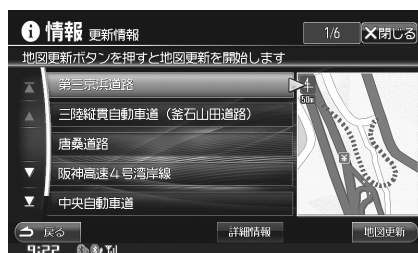
- 2 IDとパスワードを入力し、**完了** にタッチする

- ・ IDはお客様登録したメールアドレス、パスワードはその際にお客様が設定したパスワードになります。



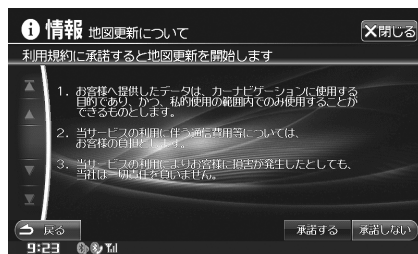
- 3 リスト表示された地図更新データの内容を確認し **地図更新** をタッチする

- ・ 地図更新についての説明画面が表示されるのでご確認ください。
- ・ データの詳細を見る場合には **詳細情報** をタッチします。



- 4 地図更新についての説明を読み、**地図更新** をタッチすると利用規約が表示されます。ご承諾いただける場合は **承諾する** をタッチする

- ・ データのダウンロードが開始されます。
- ・ 更新中は電源ON状態のまま、一切の操作を行わないでください。
- ・ コピーが終了すると、自動的に本機がリセットされて再起動します。



3.12 ナビゲーション機能 地図更新について(5/5)

▶ 地図更新画面について

地図更新画面は (設定) スイッチを押して 情報 → その他 タブ → 地図更新 の順にタッチすると表示されます。



路線別データの更新を行います。



全国地図データの更新を行います。



路線別データ更新の履歴が表示されます。



• 全国地図更新後は、更新履歴は表示されません。

4.1 通信機能 携帯電話と接続すると



かんたん操作ガイド

本機はBLUETOOTH(ブルートゥース)規格対応の携帯電話と無線で接続することができます。携帯電話と接続すると、本機のマイクやスピーカーを使ってドライブ中に手ぶらで通話ができます(ハンズフリー通話)。登録した携帯電話が音楽機能つきの場合は、携帯電話の音楽も再生できます。またドライブ中でもインターネットサービス「いつもNAVI」を利用することができます。さらに、SDカードに取り込んだ曲のアルバム名やアーティスト名などをGracenoteデータベースにアクセスして取得することができます(89ページ)。



アドバイス

- BLUETOOTHは、近距離にある機器の間で無線でデータ交換を行うための世界標準規格です。
- 本機はNTTドコモ・au・ソフトバンクの携帯電話に対応しています。
動作確認済みの携帯電話の機種についてはアルパインのホームページ(<http://www.alpine.co.jp>)を参照してください。
- 交通量の多い市街地や狭い道でのご利用は避けてください。
- 携帯電話を直接操作しないでください。事故の原因になります。
- 本機に接続した状態で携帯電話の電源をON/OFFしないでください。

■ 本機で利用できるプロファイルは以下の通りです。

- HFP：ハンズフリー通話を行うためのプロファイル
- DUN：携帯電話などを經由してインターネットに接続するためのプロファイル
- OPP/PBAP：電話帳のデータなどを送受信するためのプロファイル
- A2DP：音声データを送信するためのプロファイル
- AVRCP：ポータブルオーディオプレーヤーで音楽再生の操作を行うためのプロファイル

ハンズフリー電話

BLUETOOTH対応の携帯電話を本機とBLUETOOTH接続することでハンズフリー通話ができます。ハンズフリー電話を使うと、本機から電話をかけたり・受けたりすることができ、運転中でも携帯電話を持たないで通話することができます。また本機に携帯電話の電話帳を読み込んで電話をかけることもできます。

ハンズフリー電話については54～58ページを参照してください。

「いつもNAVI」について

いつもNAVIとは、携帯電話の通信機能を利用したドライブに役立つ様々な情報を提供する登録制のサービスです。ドライブ中、場所や時間を考慮したドライブに役立つ情報を提供します。

「いつもNAVI」については59～65ページを参照してください。

- 本サービスは、弊社都合により将来終了または内容を変更する可能性があります。

Gracenoteについて

CDを再生すると本機に保存されているGracenoteデータからアルバム・曲名・アーティストなどの情報を表示します。本機のデータベースにないタイトルデータ(本機の発売以降に発売されたCDなど)をインターネットでGracenoteメディアデータベースにアクセスしてダウンロードすることができます。

- タイトルデータのダウンロードは、SDカードに録音後、SD AUDIO編集画面で行います。89ページを参照してください。
- Gracenoteデータベースの更新は、SDカードまたはUSBメモリーを使用して行うこともできます。128ページを参照してください。
- 本サービスは、弊社都合により将来終了または内容を変更する可能性があります。

4.2 通信機能 携帯電話を接続する

初めてお使いになるときは、お使いの携帯電話を以下の手順に従って本機に登録してください。登録した携帯電話は、そのBLUETOOTH機能がONになっていれば、エンジンキーをACCまたはONにするだけで本機と自動的に接続されます。

手順 1 設定 → 設定・編集 → Bluetooth設定 → 変更 → 未登録 → 機器登録 → Bluetooth機器から探索 → 接続サービスを選択 → 携帯電話で本機を検索 → パスキー入力 → はい → 接続先を選択 → 登録

1 **設定** スイッチを押し、**設定・編集** → **Bluetooth設定** の順にタッチする

2 **変更** → **未登録** → **機器登録** の順にタッチする

- ・ **変更** をタッチした後にBLUETOOTH機器との接続解除のメッセージが出てきた場合は **はい** を選択してください。
- ・ 本機にはBLUETOOTH機器を5台まで登録できますが、2台以上の携帯電話をハンズフリー機器として同時に使うことはできません。複数台を登録したときは、利用する携帯電話を切りかえてお使いください。



3 **Bluetooth機器から探索** をタッチし、**ハンズフリー** **オーディオ** **ハンズフリー+オーディオ** のいずれかにタッチする

- ・ **MITM設定** をタッチするとMITM(中間者攻撃)Protection設定を一時的に変更することができます。 **OFF** にすることにより、機器設定ができない機器の登録が可能となる場合があります。

4 携帯電話のBLUETOOTH機能をオンにし、携帯電話で本機を検索する

5 携帯電話にパスキーの入力画面が表示されたら本機と同じパスキーを入力する

- ・ 携帯電話によってはパスキーの入力が不要な機種もあります。
- ・ パスキーの初期値は"1234"です。

6 接続先設定のメッセージが表示されたら **はい** をタッチする

- ・ 「いつもNAVI」など携帯電話を使ったデータ通信をしない場合は **いいえ** を選択してください。

7 NTT docomoやauなど通信の接続先を選択し→ **登録** をタッチする

- ・ 上記の手順で接続できない場合は携帯電話のBLUETOOTH機能をオンにし、手順3で **ナビから探索** をタッチし画面の説明にしたがって登録してください。
- ・ 接続した携帯電話のBLUETOOTH機器リストには「ALPINE」と表示されます。
- ・ 登録した携帯電話が音楽機能つきの場合は、携帯電話の音楽も再生できます。

4.3 通信機能 電話をかける・受ける

アドバイス ハンズフリーで通話するときは窓を閉め、大きめの声ではっきりお話しください。

▶ 電話をかける

手順 1 設定 ▶ 電話 ▶ 電話方法の選択 ▶ 発信

1 **設定** スイッチを押し、**電話** をタッチする

2 電話をかける方法を選ぶ

- ・走行中は短縮ダイヤルとリダイヤル以外は無効です。
- ・短縮ダイヤルとリダイヤル発信のときは手順3は不要です。
- ・電話メニューについては56ページを参照してください。



3 電話をかけたい相手を選び、**発信** をタッチする

- ・通話を切るには **終了** をタッチしてください。地図画面などを表示しているときは、**電話** をタッチして通話中画面に切り替え、**終了** をタッチします。

▶ 電話を受ける

手順 1
電話がかかってきたら ▶ 開始

1 電話がかかってきたら **開始** を押す

- ・電話がかかってくるとAVソースをAV OFFモードにし、着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。着信メッセージ画面の大きさを変更することができます(「着信全画面割込み」123ページ)。
- ・通話を切るには **終了** をタッチしてください。地図画面などを表示しているときは、**電話** をタッチして通話中画面に切り替え、**終了** をタッチします。通話を終了すると自動で元のソースに切りかわり、元の画面に戻ります。
- ・かかってきた電話に出られないときは **応答保留** をタッチしてください。
- ・かかってきた電話を自動的に受けるように設定することができます「自動着信」(123ページ)。
- ・相手が電話番号を通知して発信した場合、本機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておくと、相手の名前・電話番号が画面に表示されます。
- ・携帯電話で応答時間を設定している場合は携帯電話の設定が優先されます。

着信全画面割込み設定が「する」の場合:



着信全画面割込み設定が「しない」の場合:



4.4 通信機能 通話中画面について

通話中は下記の通話中画面が表示されます。



①名前	本機の電話帳に登録されている名前が表示されます。	- 相手が電話番号を通知して発信した場合や電話帳に登録した相手・登録地点・検索した施設に電話をかけた場合に 표시됩니다。 - 画面に名前を表示できなくすることもできます(「着信・通話画面情報表示」123ページ)。
②電話番号	相手の電話番号が表示されます。	- 相手が電話番号を通知してこない場合などは、何も表示されません。 - 画面に電話番号を表示できなくすることもできます(「着信・通話画面情報表示」123ページ)。
③通話時間	通話時間が表示されます。	
④送話音量/受話音量	現在の音量が表示されます。	◀ または ▶ をタッチすると音量を調整できます。
戻る	前の画面に戻ります。	
終了	電話を切ります。	
ナビ/携帯	本機のハンズフリー機能で通話するか、携帯電話で通話するかを切りかえます。	- ハンズフリー通話の場合： - 携帯電話での通話の場合： - 着信時に携帯電話で通話になっている場合でも、着信音は携帯電話・ナビゲーションの両方で鳴ります。
トーン	トーン発信用の数字入力画面を表示します。	音声ガイダンスなどに従って数字を入力する必要があります。あるときなどにタッチしてください。
開始		通話中は無効です。

4.5 通信機能 電話メニュー画面について(1/2)

電話メニュー画面は、**(設定)** スイッチを押して **電話** をタッチすると表示されます。



BLUETOOTHで接続中に表示されます。
電池残量や電波受信レベル表示は携帯電話の表示と異なる場合があります。

かかってきた相手に電話をかけます。



- 最大30件まで履歴として残ります。30件を超えた場合は古いものから削除されます。
- 着信履歴を消去したいときは、着信履歴画面で消去したい相手を選び、**消去** をタッチします。**消去** をタッチしたままにすると着信履歴をすべて消去できます。
- 走行中は使用できません。

以前にかけた相手に電話をかけます。



- 最大30件まで履歴として残ります。30件を超えた場合は古いものから削除されます。
- 発信履歴を消去したいときは、発信履歴画面で消去したい相手を選び、**消去** をタッチします。**消去** をタッチしたままにすると着信履歴をすべて消去できます。
- 走行中は使用できません。

相手の電話番号を入力して電話をかけます。電話番号は市外局番から入力してください。



- 走行中は使用できません。

携帯電話の電話帳を本機に読み込んでおくと、本機の電話帳から電話をかけることができます。



- 電話帳画面で **並び順変更** をタッチすると、50音順・メモリー番号順・グループ順に並べかえできます。
- 走行中は使用できません。
- 取り込んだ電話帳を消去したいときは、電話帳画面で消去したい相手を選び、**消去** をタッチします。**消去** をタッチしたままにすると取り込んだ電話帳をすべて消去できます。本機の電話帳を消去しても携帯電話からは消去されません。
- 電話帳の読み込みについては58ページを参照してください。

4.5 通信機能 電話メニュー画面について(2/2)

他の電話帳

他の携帯電話から登録した電話帳を呼び出して、電話をかけることができます。

短縮ダイヤルに登録した相手に電話をかけます。



5



リダイヤル

直前にかけた相手に電話をかけます。

再接続解除

再接続

BLUETOOTH接続を解除します。接続を解除すると **再接続** に変わります。再度BLUETOOTH接続を行うときは **再接続** をタッチしてください。

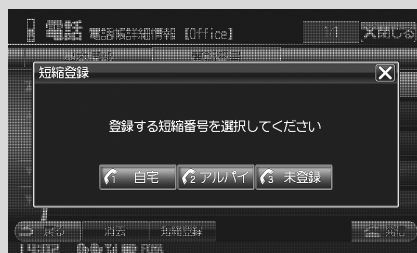
機器変更

登録している携帯電話がリストで表示されます。新しい携帯電話を選択します。

・短縮ダイヤルを登録するには：

本機に読み込んだ電話帳から短縮ダイヤルに登録します。

- ① **設定** スイッチを押し→ **電話** → **電話帳** の順にタッチ
- ② 短縮ダイヤルに登録したい相手を選択
- ③ **詳細情報** → **電話番号** タブの順にタッチ
- ④ 登録したい電話番号を選択し→ **短縮登録** をタッチ
- ⑤ 登録する短縮ダイヤルを選択



- ・短縮ダイヤルに登録されている電話番号には / / のアイコンが表示されます。
- ・登録済みの短縮ダイヤルを選ぶと電話番号が上書きされます。

4.6 通信機能 電話帳を読み込むには

本機の電話帳は携帯電話の電話帳を読み込んで登録します。本機に電話帳を登録しておく、電話帳から電話をかけたり、短縮ダイヤルを登録したりすることができます。

▶ 携帯電話から電話帳を読み込む

手順 1 電話を接続する ▶ 手順 2 設定 ▶ 電話 ▶ 電話帳 ▶ 電話帳読込 ▶ 追加 ▶ 手順 3 携帯電話から電話帳を転送 ▶ 手順 4 保存

1 電話帳を読みみたい携帯電話を本機と接続する

2 設定スイッチを押し、電話 → 電話帳 → 電話帳読込 → 追加の順にタッチする

- 電話帳を読み込む携帯電話がPBAPのプロファイルに対応している場合は、**追加**をタッチするかわりに**同期**をタッチすると、本機の電話帳がすべて更新されます。



3 携帯電話から電話帳を転送する

4 読み込みが完了したら 保存 をタッチする

- 本機の電話帳には携帯電話1台につき最大1000件まで登録できます。
- 電話帳1件あたり最大5つまで電話番号を読み込むことができます。
- 携帯電話の電話帳のグループを取り込むことができます(最大100件)。携帯電話から「全件送信」を行ったときのみグループ情報を取り込むことができます。
- 取り込み可能な名称/読み/グループ名称/電話番号は半角/全角30文字までです。携帯電話の電話帳でP(ポーズ)を付けて電話番号を登録している場合はP(ポーズ)の前まで取り込まれます。ハイフンを付けて登録されている電話番号はハイフンを削除して取り込まれます。
- 表示可能な文字数は、名称は全角14文字/半角29文字、グループ名称は全角21文字/半角30文字、電話番号は半角/16文字までです。
- 携帯電話でシークレット登録されている電話番号は取り込まれません。
- 携帯電話の発信履歴・着信履歴は取り込みできません。

4.7 通信機能「いつもNAVI」の準備

「いつもNAVI」を利用するには、はじめに下記の準備をしてください。その後は携帯電話を持ってクルマに乗るだけでいつでも「いつもNAVI」が利用できます。

アドバイス

- ・「いつもNAVI」を利用するには通信費が発生します。通信費はお客様負担になります。
- ・DUNプロファイル非対応の携帯電話では「いつもNAVI」を利用できません。

手順 1 パソコンでお客様登録をする ▶ 手順 2 携帯電話本機に登録 ▶ 手順 3 設定 ▶ 情報 ▶ いつもNAVI ▶ いずれかのメニューをタッチ ▶ 認証情報 (ID・パスワード) を入力 ▶ 完了

1 パソコンからアルパインのホームページ(下記)にアクセスし、お客様登録と本機の登録をする

- ・ https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html
- ・ 本機の型式はVIE-X009です。



2 本機に携帯電話を登録する

- ・ 53ページを参照して、お使いになる携帯電話を本機に登録してください。

3 「いつもNAVI」認証情報を本機に入力する

- 1 **設定** → **情報** → **いつもNAVI** タブの順にタッチ、「いつもNAVI」メニュー画面を表示する
- 2 「いつもNAVI」のいずれかのタッチスイッチをタッチする
- 3 IDとパスワードを入力する

IDは手順 1 のユーザーズルームで登録したお客様のメールアドレス、パスワードはそのときにお客様が設定した任意の文字列です。

- 4 **完了** をタッチする

通信を開始してサーバーとの認証確認を行います。認証情報確認が終了すると「いつもNAVI」が利用できるようになります。

■ いつもNAVIが提供するサービス

おすすめスポット	場所や時間に合わせたおすすめのスポットを、各界の著名人や地元の有名人が推薦人となって案内します。おすすめスポットがある場合、自動的に案内を表示することもできます。 おすすめスポットでは次のような情報が案内されます。 ・ 画像(外観、店内、メニューなど)/推薦人情報/紹介文/詳細情報
厳選ジャンル	任意の地点周辺の厳選したジャンルの検索を行うことができます。
ドライブプラン	自宅などで作成したドライブプラン(目的地・経由地リスト)をWeb上のいつもNAVIサービスに登録しておく、本機にダウンロードしてルートとして利用することができます。実行予定日を登録しておけば、当日にドライブプランを実行するかどうか案内を行うこともできます。
お知らせ・特集	その時々に関わった「アルパインからの商品情報」や「季節の特集」などの情報を配信します。
天気情報	任意の地点の天気情報を取得します。

通信機能

 アドバイス

- ▶ 手動で取得するには

1 **設定** スイッチを押し、**情報** をタッチする

3 「いつもNAVI」メニュー画面から取得したい情報のメニューをタッチする

-
- 情報** × 閉じる
- いつもNAVI 交通情報 その他
- お天気ボタン 航路リセット ドライブプラン お知らせ特集 天気情報
- 戻る 10:00 航路確認

▶ 「いつもNAVI」スイッチを使う

「いつもNAVI」スイッチ

-

4.9 通信機能「いつもNAVI」メニュー画面について(1/5)

「いつもNAVI」メニュー画面は(設定)スイッチを押して 情報 → いつもNAVI タブの順にタッチすると表示されます。



- ・ リスト画面で ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が1行ずつスクロールし、⬆ または ⬆ をタッチすると画面ごとスクロールします。

現在地・目的地・経由地・ルート周辺などのおすすめスポットを取得することができます。取得した情報の推薦者コメントを確認したり目的地・経由地・登録地点などに設定することができます。



- ・ **ルート周辺取得** は案内中のルート周辺にあるおすすめスポット情報を取得できます。タッチするとサーバーと通信を開始してルート周辺のおすすめスポットリストを表示します。地点を選択して **推薦コメント** をタッチします。推薦コメント画面については63ページを参照してください。
- ・ **地点周辺取得** は現在地・目的地・経由地周辺にあるおすすめスポット情報を取得できます。地点を選択して **実行** をタッチするとサーバーと通信を開始しておすすめスポットリストを表示します。スポットを選択して **推薦コメント** をタッチします。推薦コメント画面については63ページを参照してください。
- ・ **おすすめスポット履歴** は過去に取得したおすすめスポット履歴(100件まで)から地点を選択できます。おすすめスポット履歴画面については63ページを参照してください。
- ・ 地点周辺におすすめスポットがない場合は、おすすめスポット情報を表示できない場合があります。
- ・ おすすめスポットをルート探索後か指定時間毎に自動で取得するかどうかを設定することができます(126ページ)。

おすすめスポットを厳選したジャンル別に検索することができます。

取得した情報を確認したり、目的地・経由地・登録地点などに設定することができます。



- ① **厳選ジャンル** をタッチ → ジャンルリストを表示
 - ② 希望のジャンルを選択 → 施設ジャンルリストを表示
 - ③ 希望の施設ジャンルを選択 → ジャンルにあったスポットを30件までリスト表示
 - ④ 希望の施設を選択 → スポット詳細画面を表示
- ・ 情報を取得するためにサーバーとの通信が開始されます。 **切断** **回線切断** をタッチすると通信を解除します。
 - ・ スポット詳細画面で **完了** をタッチすると目的地・経由地・登録地点に設定することができます。 **発信** をタッチすると施設に電話をかけることができます。

本機にダウンロードしたドライブプランを利用して、ルートを引くことができます。



- ・ ドライブプランは、パソコンからアルパイン・ホームページのユーザーズルームであらかじめ登録が必要です。
- ・ パソコン上でドライブプランの案内日を設定し、「ドライブプラン通知」(126ページ)を「する」に設定しておくと、案内日の最初の起動時に自動的に通知されます。手動で取得する場合は、「いつもNAVI」メニュー画面で **新着確認** をタッチすると取得することができます。
- ・ ドライブプラン名を選択し **実行** をタッチして **はい** をタッチするとルート計算を開始します。ドライブプラン画面については65ページを参照してください。

4.9 通信機能 「いつもNAVI」メニュー画面について(2/5)

取得したお知らせ・特集は20件まで本機に記憶されます。また、1つの情報に対する地点情報は20件までです。

お知らせ・特集登録日



既: 既読アイコン
未: 未読アイコン
📍: 地点情報アイコン
NEW: Newアイコン



<インジケータバーでの表示例>

■ 現在地画面



■ マルチゲート画面



■ ドライブインフォ画面



■ コミュニケーション画面



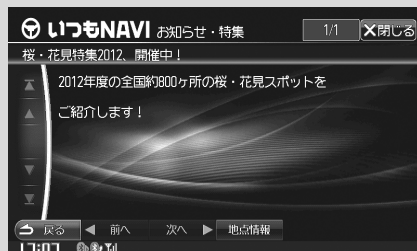
現在地・目的地・経路地周辺などの天気予報を確認することができます。



新着確認

「いつもNAVI」の新着情報をまとめて取得することができます。

- 「起動時新着確認」「新着確認項目設定」(126ページ)を「する」に設定しておく、最新の情報がその日最初の起動時に自動的に通知されます。手動で取得する場合は、「いつもNAVI」メニュー画面で **新着確認** をタッチして取得します。
- 消去** をタッチすると選択した項目を消去することができます。すべての項目を消去するには **消去** をタッチし続けます。
- 希望の項目を選択して **完了** をタッチするとお知らせ・特集画面が表示されます。



◀前へ 次へ▶ をタッチすると前後の情報画面へ切りかえます。

地点情報 をタッチするとスポット詳細画面を表示します。リストから希望する地点名称をタッチして選んでください。

- スポット詳細画面で **完了** をタッチすると目的地・経由地・登録地点に設定することができます。 **発信** をタッチすると施設に電話をかけることができます。
- 未読のお知らせ・特集情報のみ地図画面のインジケータバーなどに表示させることができます(「お知らせ・特集表示」127ページ)。
- インジケータバーのお知らせ・特集表示は20秒ごとに切りかわり、一巡すると終了します。ドライブインフォ画面ではインジケータバーをタッチするたびにVICS文字情報と表示が切りかわります。

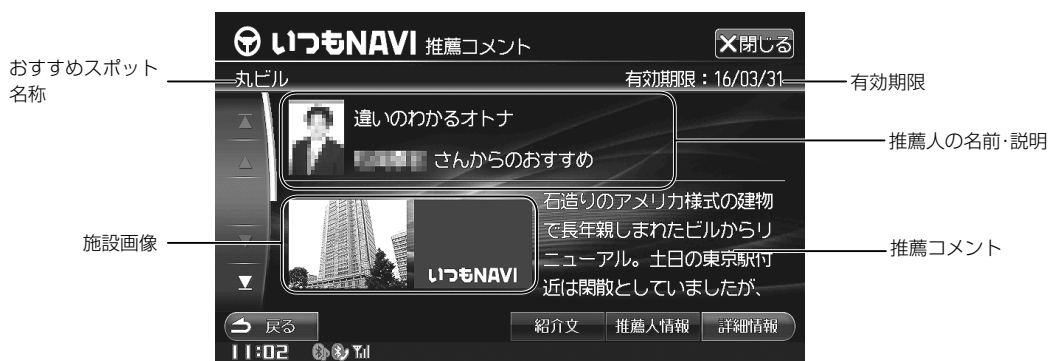
- 天気情報取得** は現在地・目的地・経路地周辺の情報を取得できます。地点を選択して **実行** をタッチすると通信を開始して情報を取得します。



- 天気情報履歴** は過去に取得した天気情報履歴一覧(10件まで)から履歴(日付と地域名)を選択できます。リストから履歴を選択して **完了** をタッチすると過去に取得した情報を表示します。 **消去** をタッチすると履歴を消去することができます。すべての履歴を消去するには **消去** をタッチし続けます。
- 当日6時と12時の天気情報は、情報を取得する時間によっては予報情報が表示されないことがあります。
- 情報を取得するためにサーバーとの通信が開始されます。 **切断** をタッチすると通信を解除します。

4.9 通信機能「いつもNAVI」メニュー画面について(3/5)

▶ おすすめスポット推薦コメント画面



紹介文	施設の説明文が表示されます。	
推薦人情報	推薦人の情報画面が表示されます。	
詳細情報	おすすめスポットの詳細情報画面が表示されます。	スポット詳細画面で 完了 をタッチすると目的地・経由地・登録地点に設定することができます。 発信 をタッチすると施設に電話をかけることができます。

・施設画像をダウンロードするかどうか設定することができます(「画像取得」127ページ)。ダウンロードしない場合は、施設画像は表示されません。

▶ おすすめスポット履歴画面

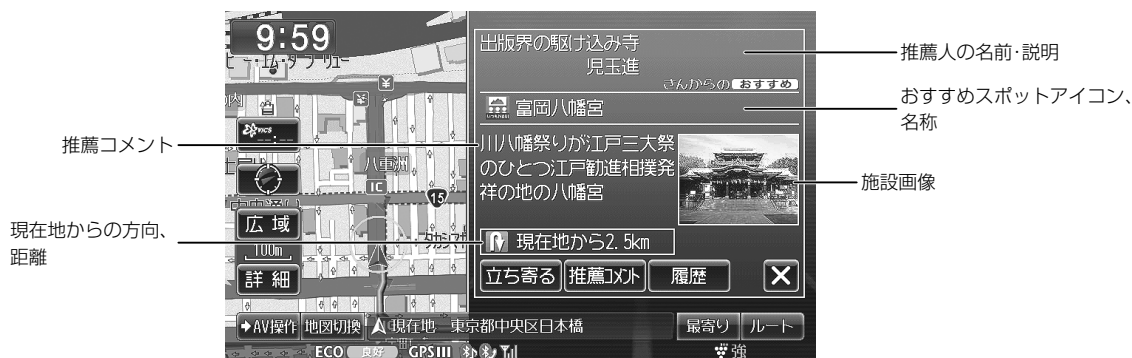


消去	おすすめ履歴を消去することができます。	消去 をタッチすると選択した履歴を消去することができます。すべての履歴を消去するには 消去 をタッチし続けます。
並び順変更	おすすめ履歴の並び順を現在地からの距離順か取得した日付順に並べかえることができます。	
推薦コメント	推薦コメント画面が表示されます。	詳しくは「おすすめスポット推薦コメント画面」(上項目)を参照してください。
案内設定	案内設定画面が表示されます。おすすめスポットの案内回数を設定することができます。	おすすめスポットの案内をする : 選択したスポットに近づくとき案内を行います。履歴画面に「案内アイコン」が表示されます。20件まで登録できます。 おすすめスポットの案内を1回する : 選択したスポットに近づくとき案内を一度だけ行います。履歴画面に「案内アイコン」が表示されますが、案内が終了するとアイコンは表示されません。 おすすめスポットの案内をしない : 選択したスポットに近づいても案内を行いません。

4.9 通信機能「いつもNAVI」メニュー画面について(4/5)

▶ おすすめスポットの自動表示

「おすすめスポット割込み案内」(127ページ)を「する」に設定していると、ルート走行中に自車位置や案内日時から判断した最適なおすすめスポット情報が自動時に割込み表示されます。



立ち寄る

選んだおすすめスポットが経由地1として設定されます。

・ 経由地がすでに5箇所設定されている場合には、上書きする地点を選ぶ画面が表示されます。上書きする経由地をタッチして選んでください。

推薦コメント

推薦コメント画面が表示されます。

・ 詳しくは「おすすめスポット推薦コメント画面」(63ページ)を参照してください。

履歴

おすすめスポット履歴画面が表示されます。

・ 詳しくは「おすすめスポット履歴画面」(63ページ)を参照してください。

- ・ おすすめスポット割込み案内画面は、「おすすめスポット割込み時間」(127ページ)で設定した時間を経過するか、☒ にタッチすると表示を終了します。
- ・ おすすめスポット割込み案内させる間隔を設定することができます(「おすすめスポット割込み間隔」127ページ)。
- ・ 施設画像をダウンロードするかどうかが設定することができます(「画像取得」127ページ)。ダウンロードしない場合は、施設画像は表示されません。

▶ おすすめスポットを地図画面から表示

おすすめスポットを取得すると地図画面におすすめスポットアイコンが表示されます。アイコンに十字カーソルを合わせるとおすすめスポットの情報を表示することができます。

地図をスクロールして、おすすめスポットアイコンに十字カーソルを合わせ **情報** にタッチすると推薦コメント画面が表示されます。



- ・ 推薦コメント画面については「おすすめスポット推薦コメント画面」(63ページ)を参照してください。
- ・ おすすめスポットアイコンが隣接している場合は、**次へ** にタッチしてアイコンを切りかえます。
- ・ アイコン情報は、地図スケールが200m以下の詳細な地図で表示されます。

<おすすめスポットアイコンリスト>



- ・ おすすめスポットアイコンを地図画面に表示できないように設定することもできます(「おすすめスポットアイコン表示」127ページ)。

4.9 通信機能「いつもNAVI」メニュー画面について(5/5)

▶ ドライブプラン



ドライブプランの詳細情報を表示します。

詳細情報

- **通知設定** をタッチして **する** をタッチするとドライブプラン実行予定日に通知してお知らせします。通知アイコンが表示されます。
- 一度通知済みのドライブプラン・実行済みのドライブプラン・実行予定日を過ぎたドライブプラン・実行予定日がないドライブプランは通知設定ができません。

実行

ルート計算を開始します。

- メッセージが表示されたら **はい** をタッチします。

通信機能

「いつもNAVI」メニュー画面について

5.1 オーディオビジュアル機能 テレビを見る



かんたん操作ガイド

地上デジタルテレビが視聴できます。走行中は安全のため映像が消えて音声だけになります。

手順 1 手順 2
MODE ▶ 地上デジタルテレビ ▶ プリセットスイッチをタッチ

- 1 **MODE** スイッチを押し、
AVソースメニューの **地上デジタルテレビ** を
タッチする

- ・ テレビを初めて使うときは初期設定画面が表示されます。
- ・ 地上デジタルテレビの操作については68ページを参照してください。



- 2 チャンネルを切りかえるには画面をタッチし、表示されたプリセットスイッチをタッチする

▶ 初期設定について

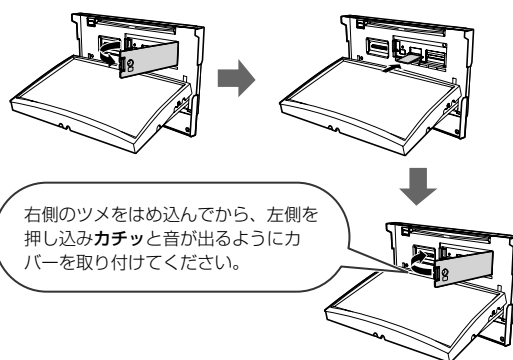
初めて地上デジタルテレビモードにすると初期設定画面が表示されます。画面に従ってお住まいの地域を設定し、最後に **ホームスキャン** をタッチしてください。

- ・ **ホームスキャン** をタッチしたあとスキャンが終了するまではしばらく時間がかかります。そのまましばらくお待ちください。
- ・ 初期設定はご自宅のある地域で実行してください。ホームスキャンしたチャンネルはホームモードのプリセット番号として記憶されます。
- ・ 引っ越しなどで居住地域が変わったときはホームスキャンをやり直してください。

▶ B-CASカードについて

B-CASカードは地上デジタル放送の視聴に必要なICカードです。付属のB-CASカードの表面を上にして“カチッ”と音が出るまで差し込んでください。

- ・ B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みください。
- ・ 付属のB-CASカードはほかの製品には使用しないでください
- ・ B-CASカードにはICチップが組み込まれています。取り扱いには十分注意してください。
 - ・ 折り曲げたり、変形させない。
 - ・ 水をかけたり、濡れた手でさわらない。
 - ・ 炎天下の車内や厳冬期の車内には長時間放置しない。
 - ・ 分解加工は行わない。
- ・ B-CASカードについてのお問い合わせ先はカードの台紙に記載されています。台紙は大切に保管しておいてください。



右側のツメをはめ込んでから、左側を押し込みカチッと音が出るようにカバーを取り付けてください。

<取付上の注意>

右側のツメをはめ込んでから、左側を押し込みカチッと音が出るようにカバーを取り付けてください。カバー裏側に突起部があり、パネル側の穴にきちんと挿入されないと、センサーが誤動作する可能性があります。

- ・ カバーを閉めたあと、本機は自動的に再起動します。

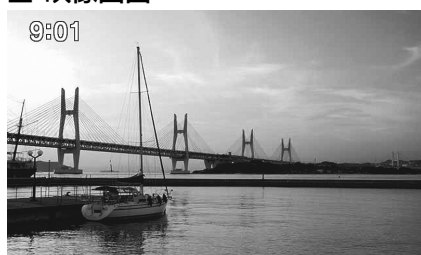
B-CASカードお問い合わせ先:

(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター TEL 0570-000250

5.2 オーディオビジュアル機能 テレビ画面について

テレビ視聴中に画面にタッチすると、番組情報および操作スイッチが表示されます。しばらく(約6秒)操作しないと、情報部分の表示が消えます。

■ 映像画面



画面にタッチ

■ 操作画面



約6秒後に情報表示
が消えます

■ 映像画面



■ 情報画面



映像部分にタッチ

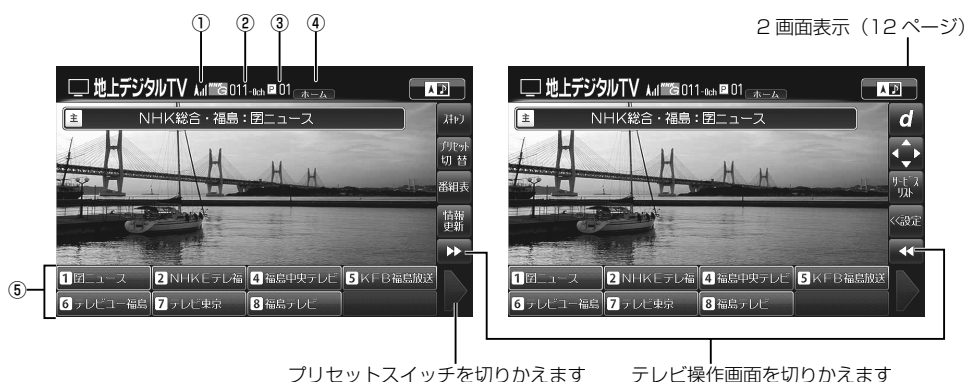
映像部分にタッチ

AV

テレビ画面について

5.3 オーディオビジュアル機能 テレビ操作画面について(1/2)

テレビを視聴中に画面をタッチするとテレビ操作画面が表示されます。操作画面は2画面あります。



①受信状態表示	受信電波の強弱がアイコンで表示されます。	・ 受信状態については「地上デジタルテレビ受信状態マーカー一覧」(161ページ)を参照してください。
②チャンネル番号	受信しているチャンネル番号が表示されます。	
③プリセット番号	受信しているプリセット番号が表示されます。	
④状態表示	状態によって表示されるアイコンが変わります。	・ ホーム: お住まいの地域のチャンネル設定(ホームモード)が有効のときに表示されます。 ・ お出かけ: お出かけ先のチャンネル設定(お出かけモード)が有効のときに表示されます。 ・ SCAN: 受信可能な放送局をスキャンしているときに表示されます。 ・ ワンセグ: ワンセグ放送を受信しているときに表示されます。 ・ SEARCH: 自動サーチ中に表示されます(71ページ)。
⑤プリセットスイッチ	記憶した放送局を呼び出すことができます。スキャン終了後、番組情報を表示します。受信状態によっては番組情報を表示しない場合があります。その場合は放送局名を表示します。	・ プリセットスイッチに放送局を記憶するには: 初期スキャン、またはお出かけスキャンを行うと、プリセットスイッチに放送局が最大12チャンネル記憶されます。 ・ プリセットした放送局を呼び出すには: いずれかのプリセットスイッチをタッチします。 ・ 受信中の放送局のプリセットスイッチにタッチすると、地上デジタル放送とワンセグ放送が切りかわります。 ・ 地上デジタル放送受信時は地上デジタル放送の番組情報が、ワンセグ放送受信時はワンセグ放送の番組情報が表示されます。 ・ ステアリングリモコンのアップ・ダウンキーでも、プリセット番号順にチャンネルの切りかえができます。
お出かけ	お出かけモードやホームモードでは受信できない地域でテレビを見るときは、タッチするとその地域で受信できる放送局をプリセットします(お出かけスキャン)。2秒以上タッチし続けると、視聴中の放送局の中継局や系列局をサーチします。	・ お出かけスキャンしたチャンネルはお出かけモードのプリセットスイッチに記憶されます。 ・ お出かけスキャンを実行するとお出かけモードすでに登録されているチャンネルは上書きされます。
プリセット切替	ホームモード/お出かけモードを切りかえます。	

5.3 オーディオビジュアル機能 テレビ操作画面について(2/2)

番組表	番組表を表示します(70ページ)。	受信状態によってはプリセットスイッチに放送情報が表示されない場合があります。表示させるには受信状態の良い場所で 情報更新 にタッチしてください。受信できない放送局の番組情報は更新されません。
情報更新	プリセットされている放送局の、現在放送中の番組情報または放送局名をまとめて取得します。	
d	データ放送に切りかえます。	
	データ放送受信画面で  をタッチするとデータ放送操作スイッチが表示されます。	キー OFF : 操作スイッチを非表示にします。非表示の状態画面をタッチすると操作スイッチが表示されます。 10キー : 10キーを表示します。数字を入力することができます。 ◀ ▶ ▲ ▼ : 項目を選択します。 青 赤 緑 黄 : 画面に従ってタッチすると、スイッチに割り当てられた操作を行うことができます。 決定 : 項目を決定します。 戻る : 前の画面に戻ります。 d : データ放送受信画面に戻ります。データ放送操作スイッチが一時的に非表示になります。 移動 : 操作スイッチの表示場所が変わります。 ×閉じる : データ放送操作スイッチ表示を終了します。
リビースリスト	現在視聴可能な放送局と番組名の一覧を表示します。 見たい番組を選んでタッチすると、選んだ番組を視聴できます。	
<<設定	タッチすると モード切換 画面設定 設定 スイッチを表示します。	
モード切換	モード切換画面を表示します。音声多重放送の音声や字幕/映像/音声が複数ある場合にそれぞれを切りかえることができます。	主/副 : 音声多重放送の主音声/副音声を切りかえます。 字幕 : 字幕を切りかえます。 映像 : マルチビュー放送のアングル、その他の複数映像を切りかえます。 音声 : 音声を切りかえます。 - 視聴している番組が音声多重放送かどうかなどについては、番組の詳細情報画面で確認できます。
画面設定	画質調整画面が表示されます。	画質調整については121ページを参照してください。
設定	地上デジタルテレビ設定画面が表示されます。	地上デジタルテレビ設定操作は71ページを参照してください。

5.4 オーディオビジュアル機能 番組表画面について

番組表画面はテレビの操作画面で **番組表** をタッチすると表示されます。



①日付	番組の日付が表示されます。	
②アイコン	放送の種類がアイコンで表示されます。	MV 多 音声 SD マルチビュー放送 音声多重放送 複数の音声を持つ放送 標準画質放送 字 映像 HV S 字幕放送 複数の映像を持つ放送 ハイビジョン放送 ステレオ放送
③番組名	番組名が表示されます。	
④放送開始時間/ 番組名	番組の放送開始時間/番組名が表示されます。	
⑤映像	選択している放送局で現在放送中の番組の映像が表示されます。	
⑥プリセット番号	放送局のプリセット番号が表示されます。	
 / 	前後の時間帯へ移動します。	
	前日の番組表を表示します。	
	翌日の番組表を表示します。	
	ワンセグ放送に切りかえます。 ワンセグ が 地上D に変わります。 地上D をタッチすると地上デジタル放送に戻ります。	- 地上デジタル放送の映りが悪いときはワンセグ放送に切りかえてください。 - 地上デジタル放送とワンセグ放送が自動で切りかわるように設定できます(71ページ)。
	視聴している番組の番組名やあらすじなどの番組情報を表示します。音声多重放送かどうか、マルチビュー放送かどうかなども確認できます。	
 / 	前後のプリセット番号へ移動します。	

5.5 オーディオビジュアル機能 地上デジタルテレビ設定画面について

テレビ設定画面はテレビの操作画面で **<<設定** → **設定** をタッチすると表示されます。設定画面は2画面あります。



①文字スーパー表示	文字スーパーを表示するかどうかを設定します。表示する場合は言語を選択できます。 初期設定値：言語 1	
②地上D⇄ワンセグ自動切換	受信レベルが低下したときに、地上デジタル放送とワンセグを自動で切りかえるかどうかを設定できます。 初期設定値：地上D優先	
③放送局自動選局	チャンネルのスキャンを行うときに、それまで視聴していた放送局と同じ系列の放送局を自動で受信するかどうかを設定できます。 初期設定値：する	お出かけモードのときサーチが行われるとお出かけモードのプリセットスイッチに上書きされます。ホームモードのときはプリセットスイッチに上書きされません。
④自動サーチ設定	一定時間放送局を受信できないときに、中継局や同系列局の放送局を自動で選局するまでのおおよその時間を設定できます。 初期設定値：5秒	お出かけモードの場合のみ、自動サーチしたチャンネルはお出かけモードの選択中のプリセット番号に記憶されます。
⑤自動サーチモード	自動サーチで中継局が受信できなかった場合、視聴局の系列局のみサーチを行うか、またはお出かけスキャンを実行してその地域で受信できる放送局をお出かけモードに登録するかどうかを設定します。 初期設定値：系列局サーチ	「自動サーチ設定」が「しない」設定の場合、本設定を行うことはできません。 「お出かけスキャン」に設定すると、隣県へ移動したときなどに、視聴中の放送局以外にもその地域で受信可能な放送局に登録します。 - お出かけスキャンを実行すると、すでに登録されているチャンネルがある場合は新しく登録した内容に書き換えられます。受信状況により放送局を受信できない場合は、スキャン開始前の状態に戻ります。
⑥地域設定	ホームモードで受信する放送局の地域を設定します。	
⑦県域設定	ホームモードで受信するデータ放送視聴のための県域を設定します。	
⑧郵便番号設定	ホームモードで受信するデータ放送視聴のための郵便番号を設定します。	
⑨緊急警報放送(EWS)の割込み	地震や津波などの災害が発生したときに、緊急警報放送(EWS-Emergency Warning System)を表示するかどうかを設定できます。 初期設定値：する	- 緊急警報放送(EWS)のメッセージが表示されたときは、はい または いいえ を選んでください。 - オーディオビジュアルソースが地上デジタルテレビ以外のときは緊急警報放送(EWS)のメッセージは表示されません。
⑩B-CAS ID情報表示	B-CASカードのIDなどを確認できます。 テスト をタッチするとB-CASカードが正しく動作しているかどうかを確認できます。	B-CASカードのテスト中はカードを抜いたり本機の電源をOFFにしたりしないでください。カードの破損や故障の原因になります。
初期値	地上デジタル放送の設定値をお買い上げ時の状態に戻します。	記憶したプリセットチャンネルもリセットされます。
ホームスキャン	お住まいの地域で受信できる放送局をスキャンしてホームモードに記憶します。	

5.6 オーディオビジュアル機能 ラジオを聴く・交通情報を聴く

AM放送・FM放送を受信します。

手順 1 手順 2
MODE ▶ ラジオ ▶ プリセットスイッチをタッチ

- 1 **MODE** スイッチを押し、AVソースメニューの**ラジオ**をタッチする

・ラジオの操作については73ページを参照してください。



- 2 プリセットスイッチをタッチする

・チャンネルが切りかわります。



▶ 交通情報を受信するには

手順 1 手順 2
MODE ▶ 交通情報 ▶ 1620kHz / 1629kHz

- 1 **MODE** スイッチを押し、AVソースメニューの**交通情報**をタッチする



- 2 **1620kHz** または **1629kHz** をタッチする

・交通情報を終了するには **戻る** をタッチします。



5.7 オーディオビジュアル機能 ラジオ操作画面について



①バンド表示	受信中のバンド(FM/AM)が表示されます。	
②状態表示	現在のSEEKモードと選択プリセットモード(マニュアル/オート/エリア)がアイコンで表示されます。 DX SEEK→SEEK→(表示なし)→DX SEEK→...	
③放送局名/周波数表示	受信中の放送局名と周波数が表示されます。	
④プリセットスイッチ	放送局を記憶したり呼び出すことができます。	・ 手で放送局を記憶するには: 記憶させたいプリセットスイッチを操作音がするまでタッチし続けます。 ・ プリセットした放送局を呼び出すには: いずれかのプリセットスイッチをタッチします。
 バンド切換 / 	ラジオバンド(FM/AM)を切りかえます。	
	プリセットで登録した放送局を選局します。	
	聴きたい放送局(周波数)を選局します。	
	放送局(周波数)を選局するときのモードを切りかえます。	・ DX SEEK: 受信可能な放送局を自動的に受信します(自動選局)。 ・ SEEK: 電波の強い放送局だけを自動的に受信します(自動選局)。 ・ 表示なし: 1段階ずつ周波数がかわります。タッチし続けると、連続で変化します。
	自動で受信できる放送局をプリセットスイッチに記憶します。	・ 受信感度のよい放送局を周波数の低い順にAM9局、FM9局まで自動的に記憶します。 ・ 受信電波の弱い地域ではオートメモリーでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合は、オートメモリー前の状態に戻ります。 ・ 受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
	放送局をプリセットスイッチに記憶するモードを切りかえます。	・ マニュアル: 手で選局した放送局を記憶するとき。 ・ オート: オートメモリーで放送局を記憶するとき。 ・ エリア: 本機に記憶されている各エリアの放送局を現在位置で判断してプリセットします。
	受信している放送局にお好みのタイトルを付けることができます。	・ FM/AM合わせて最大で50局までタイトルを付けることができます。 ・ 最大で全角18文字まで入力できます。 ・ 走行中はタイトルを付けることができません。

5.8 オーディオビジュアル機能 DVDを見る

DVDの高画質な映像とデジタルサウンドを再生することができます。

アドバイス

- DVDやソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が動かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- 再生できるディスクの種類などについては152ページを参照してください。

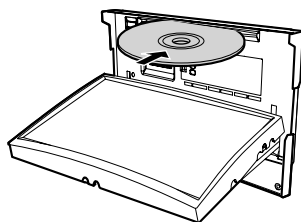
▶ ディスクが入っていないときは

手順 1

▲ ▶ ディスクを挿入する

- 1 ▲ スイッチを押してディスプレイを開き、レーベル面を上にしてDVD/CD挿入口にディスクを挿入します。

- ディスクが挿入されると、ディスプレイが自動的に閉まり再生が始まります。
- DVDの操作については75ページを参照してください。



▶ すでにディスクが入っているときは

手順 1

MODE ▶ DVD/CD

- 1 MODE スイッチを押す

- 2 AVソースメニューの **DVD/CD** をタッチする

- DVDの操作については75ページを参照してください。



■ ディスクを取り出すには

- 1 ▲ スイッチを押してディスプレイを開き、本体側の ▲ スイッチを押す
ディスクが排出されます。ディスクは必ず取り出してください。
- 2 ▲ スイッチを押してディスプレイを閉じる
ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。

5.9 オーディオビジュアル機能 DVD操作画面について(1/3)

再生中に画面をタッチすると操作画面が表示されます。DVDビデオとDVD-VRでは操作できる内容が異なります。それぞれの操作画面は2画面あります。

<DVDビデオ(DVD-V)>



<DVD-VR>



再生しているディスクの種類が表示されます。 ①再生ディスク表示	• DVD-V: 市販のDVDビデオディスク、またはビデオモードで記録されたDVD-R/DVDRW/DVD+R/DVD+RWのディスク。 • DVD-VR: DVD-VRモードで記録されたDVD-R/DVD-RWのディスク。
再生しているシーンの番号(チャプター番号など)が表示されます。 ②シーン番号	• DVD-V: タイトル番号(⏮️), チャプター番号(⏮️). • DVD-VR: プログラム番号/プレイリスト番号(⏮️), チャプター番号(⏮️).
リピート再生(繰り返し再生)の種類が表示されます。 ③リピート表示	• RPT: チャプターリピート • RPT TITLE: タイトルリピート • RPT PROGRAM: プログラムリピート • RPT PLAYLIST: プレイリストリピート
DVDの再生情報が表示されます。 ④DVD情報表示	• << 1: DVD情報表示が消えます。 • >> 1: DVD情報表示を表示できます。
再生中のチャプターの再生経過時間と総再生時間が表示されます。 ⑤チャプター再生時間表示	• 早送り/早戻し中は倍速が表示されます。
再生中にタッチすると現在のチャプターと前のチャプターの頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。 ⏮️	• 頭出し: 現在のチャプターの頭出しをします。続けてタッチすると前のチャプターの頭出しをします。 • 早戻し: タッチし続けると2倍速で早戻しします。さらにタッチすると早戻しの早さが変わります。 8倍速:2倍速時にタッチする 32倍速:8倍速時にタッチする ⏮️ をタッチする、または32倍速時に ⏮️ にタッチすると通常再生に戻ります。 • DVD-VRの場合、ディスクの先頭まで早戻ししたときはディスクの先頭から再生を開始します。
再生を一時停止(ポーズ)します。 ⏸️	• ⏸️ をタッチすると再生を開始します。

5.9 オーディオビジュアル機能 DVD操作画面について(2/3)

再生中にタッチすると次のチャプターの頭出しをします。タッチし続けると早送りします。

一時停止中にタッチするとコマ送り再生をします。タッチし続けるとスロー再生をします。



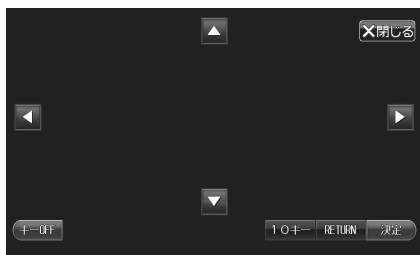
- ・ **頭出し:**
次のチャプターの頭出しをします。
- ・ **早送り:**
タッチし続けると2倍速で早送りします。さらにタッチすると早送りの早さが変わります。
8倍速:2倍速時にタッチする
32倍速:8倍速時にタッチする
▶▶ をタッチする、または32倍速時に **▶▶▶** にタッチすると再生を開始します。
- ・ **コマ送り:**
タッチするたびに1コマずつコマ送りします。
▶▶ をタッチすると通常再生に戻ります。
- ・ **スロー再生:**
タッチし続けると1/8倍速でスロー再生します。さらにタッチすると1/2倍速でスロー再生します。
▶▶ をタッチすると通常再生に戻ります。

再生を停止します。タッチする回数で停止モードが変わります。



- ・ **1回タッチ(PRE STOP):**
停止した位置を記憶(プレイポジションメモリ)しています。
▶▶ をタッチすると停止した位置から再生を開始します。
- ・ **2回タッチ、または2秒以上押し続ける(STOP):**
停止した位置を記憶しません。
▶▶ をタッチすると初めから再生を開始します。

DVDメニュー画面を操作するスイッチを表示します。



- ・ **◀ ▶**: カーソルを左右に移動します。
- ・ **▲ ▼**: カーソルを上下に移動します。
- ・ **10キー**: 10キーを表示します。数字を入力することができます。
- ・ **RETURN**: 前の画面に戻ります。
- ・ **決定**: 選択した項目を決定します。
- ・ **X閉じる**: メニュー操作画面を終了します。
- ・ **キーOFF**: 操作画面表示をOFFにします。
キーON スイッチをタッチするとメニュー操作画面を表示します。
↑移動 ↓移動 をタッチするとタッチスイッチを画面の上下に移動できます。

気に入った場面を繰り返し再生することができます(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。



- ・ **DVD-V:** チャプター→タイトル→OFF→チャプター→...
- ・ **DVD-VR:** チャプター→プログラム(プレイリスト)→全プログラム(全てのプレイリストに含まれる全チャプター)→チャプター→...
- ・ ディスクによっては切りかえできない場合があります。

DVDビデオのモード切換画面が表示されます。再生中に音声・字幕言語・アングルを切りかえることができます。



- ・ **音声**: タッチするたびにディスクに収録されている音声を切りかえます。
- ・ **字幕**: タッチするたびにディスクに収録されている字幕言語を切りかえます。
- ・ **アングル**: タッチするたびにディスクに収録されているアングルを切りかえます。
- ・ ディスクによっては切りかえできない場合があります。

チャプター番号・タイトル番号・プログラム番号・プレイリスト番号から観たいシーンを探すことができます。



10キーで観たいシーンの番号を入力します。

- ・ **チャプター番号サーチ:**
再生中・PRE STOP中・一時停止中に操作できます。
- ・ **タイトル番号・プログラム番号・プレイリスト番号サーチ:**
停止(STOP)中に操作できます。

5.9 オーディオビジュアル機能 DVD操作画面について(3/3)

メニュー	DVDメニュー画面を表示します。	- メニュー操作については  の項目を参照してください。 - 直接メニュー画面をタッチしても操作することができます。
トップメニュー	DVDトップメニュー画面を表示します。	- メニュー操作については  の項目を参照してください。 - 直接メニュー画面をタッチしても操作することができます。
◀ プロ グラム ▶ ◀ プレイ リスト ▶	DVD-VRでプログラムまたはプレイリストを選ぶことができます。タッチするたびに前後のプログラムまたはプレイリストに切りかわります。	
音声/字幕	DVD-VRの音声/字幕切換画面が表示されます。再生中に音声や字幕を切りかえることができます。	音声：タッチするたびにディスクに収録されている音声を切りかえます。多重音声記録されているディスクの場合は、音声 に2秒以上タッチするたびにLR→LL→RR→LR・・・の順に切りかわります。 字幕：字幕の表示/非表示を切りかえます。 - ディスクによっては切りかえができない場合があります。
プレイリスト	プレイリストサーチ画面が表示されます。再生したいプレイリストをタッチします。	
プログラム	プログラムリストサーチ画面が表示されます。再生したいプログラムをタッチします。	
初期設定	DVD初期設定画面が表示されます。	DVD初期設定操作は78ページを参照してください。
画面設定	画質調整画面が表示されます。	画質調整については121ページを参照してください。

5.10 オーディオビジュアル機能 DVD初期設定画面について(1/2)

DVD初期設定画面はDVDの操作画面で **初期設定** をタッチすると表示されます。設定画面は2画面あります。



- **初期設定** が表示されていないときは **機能** をタッチして操作スイッチを切りかえてください。
- DVD初期設定はDVD再生が停止中のみ行えます。DVDを再生中にDVD初期設定を行う場合は、DVD初期設定画面で **停止** をタッチして再生を停止させてから設定をしてください。



①メニュー言語

タイトルやメインメニューで表示される言語を設定します。画面から言語を選んでください。
初期設定値：オート

- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。
- **その他** を選択した場合は「言語コード一覧」(164ページ)を参照して4桁の言語コードを入力してください。

②音声言語

音声言語を設定します。画面から言語を選んでください。
初期設定値：オート

- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の音声言語で再生されます。
- **その他** を選択した場合は「言語コード一覧」(164ページ)を参照して4桁の言語コードを入力してください。
- DVDソフトによっては、設定した言語ではなくソフトに記録されている言語で再生される場合があります。

③字幕言語

字幕言語を設定します。画面から言語を選んでください。
初期設定値：オート

- **オート** に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。
- **その他** を選択した場合は「言語コード一覧」(164ページ)を参照して4桁の言語コードを入力してください。

④カントリーコード

視聴規制(パレンタルロック)をするときの規制レベル(国番号)を設定します。4桁の国番号を入力します。
初期設定値：7480(日本)

5.10 オーディオビジュアル機能 DVD初期設定画面について(2/2)

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴規制を設定します。4桁の暗証番号を設定し、視聴制限レベルを8段階から選択します。

初期設定値：OFF

⑤パレンタル

- DVDソフトによっては視聴制限レベルが記録されていない場合があります。
- 2回目以降は最初に設定した暗証番号を入力します。暗証番号は忘れないように注意してください。暗証番号を忘れてしまった場合はDVDの設定内容を初期化(79ページ)してから再度登録してください。
- 暗証番号を変更することもできます。DVD初期設定画面で **暗証番号変更** をタッチして元の暗証番号を入力後、新しい暗証番号を入力し **完了** をタッチします。
- 視聴制限レベルは以下の3種類に分類されます。
 - レベル1：** 子供向けのDVDソフトのみを再生します(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。
 - レベル2～7：** 子供向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。
 - レベル8：** すべてのDVDソフトを再生します。

※ DVDソフトを再生中にパレンタルレベルの変更メッセージが表示されたら **はい** をタッチして暗証番号を入力してください。視聴制限した映像が再生されます。

⑥ダウンミックス

ドルビーデジタル音声のDVDソフトを再生するときに有効です。タッチするたびにサラウンドとステレオの設定が切りかわります。

初期設定値：ステレオ

画面サイズを16:9(ワイド)・4:3(レターボックス)・4:3(パンスカン)から選択し設定します。タッチするたびに設定が切りかわります。

初期設定値：16:9

⑦スクリーン設定

- **16:9(ワイド)：** 通常のワイドサイズで表示されます。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。
- **4:3(レターボックス)：** 上下両端が黒く表示された映像になります。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズちょうど(4:3)で表示されます。
- **4:3(パンスカン)：** 左右両端がカットされた映像になります。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズちょうど(4:3)で表示されます。
- DVDソフトによっては、画面サイズが変更されない場合があります、通常は16:9(初期設定値)に設定してください。

注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮/引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

初期値

DVD初期設定の内容を工場出荷時の状態に戻します。

5.11 オーディオビジュアル機能 DVDの機能について

マルチ音声機能について

DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、テレビの音声多重放送のように、再生する音声言語を切りかえることができます。

サブタイトル(字幕)表示機能について

DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、再生する字幕言語を切りかえたり、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することができます。また、ソフトメニューの言語を切りかえることもできます。

マルチアングル機能について

DVDソフトには同じ場面が複数のアングルで記録されているもの(マルチアングル)があり、再生するアングルを切りかえることができます。

マルチストーリー機能について

DVDソフトにはメインストーリー以外にサブストーリーやバージョンの違う映像が記録されているもの(マルチストーリー)があり、お好みのストーリーを選択することができます。操作方法はディスクによって異なります。

マルチストーリーには次のようなものがあります。

メインストーリー/サブストーリー:

ディスクの中には番外編のストーリーが含まれていることがあります。例えば、主人公が友人と別れる場面があった場合に、サブストーリーでは別れた友人のその後のストーリーを紹介するというように、違うストーリーを再生することができます。

マルチバージョン:

劇場公開版・完全版・ディレクターズカットなど、1つの作品で複数のバージョンを再生することができます。

ハイライト・シーン・スキャン:

特定の人物やアニメのキャラクターの登場する場面だけを再生したり、音楽の場面だけを再生したりというように、特定の場面だけを再生することができます。

ブランディング・ストーリー:

ロールプレイングゲームのように、例えば登場人物の行動をメニューから選択して物語を展開しながら再生することができます。再生中に撮影のメイキングシーンを見ることもできます。

視聴制限について

DVDソフトには成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は以下の8段階のレベルがあり3種類に分類されます。

レベル1:

子供向けのDVDソフトのみを再生します(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。

レベル2～7:

子供向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。

レベル8:

すべてのDVDソフトを再生します。

OFF:

視聴制限しません。すべてのDVDソフトを再生します(初期設定)。

視聴制限はDVD初期設定の「パレンタル」から設定します(初期設定値は「OFF」)。設定の方法については、「パレンタル」(79ページ)を参照してください。

ディスクに関する用語について

タイトル:

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切る一番大きな単位です。

チャプター:

タイトルの内容を場面や曲ごとに小さく区切った単位です。

プレイリスト:

再生する映像の再生順を記録したリストです。

5.12 オーディオビジュアル機能 CDを聴く

CDやMP3/WMA/AACデータが記録されたディスクを再生することができます。



- 再生できるディスクの種類などについては152ページを参照してください。

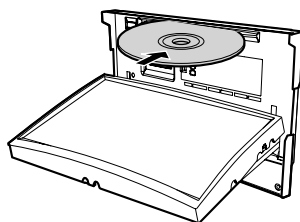
▶ ディスクが入っていないときは

手順 1

▲ ▶ ディスクを挿入する

- 1 ▲ スイッチを押してディスプレイを開き、レーベル面を上にしてDVD/CD挿入口にディスクを挿入します。

- ディスクが挿入されるとディスプレイが自動的に閉まり、再生が始まります。
- CDの操作については82ページを参照してください。



▶ すでにディスクが入っているときは

手順 1

MODE

手順 2

DVD/CD

- 1 MODE スイッチを押す

- 2 AVソースメニューの **DVD/CD** をタッチする

- CDの操作については82ページを参照してください。



■ ディスクを取り出すには

- 1 ▲ スイッチを押してディスプレイを開き、本体側の ▲ スイッチを押す
ディスクが排出されます。ディスクは必ず取り出してください。
- 2 ▲ スイッチを押してディスプレイを閉じる
ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。

5.13 オーディオビジュアル機能 CD再生画面について(1/2)

CDとMP3/WMA/AACでは操作できる内容が異なります。MP3/WMA/AAC操作画面は2画面あります。



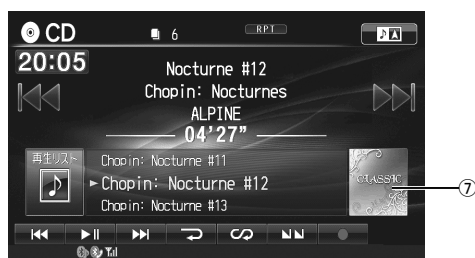
アドバイス

- SDカードへの録音中はCD操作を行うことはできません。CDからSDカードへの録音については85ページを参照してください。

<MP3/WMA/AAC>



<CD>



①再生ディスク表示	MP3/WMA/AACを再生すると「AUDIO」と表示されます。	
②曲番号	再生している曲の番号が表示されます。	
③状態表示	リピート再生(繰り返し再生)・スキャン再生・ミックス再生の状態が表示されます。	・リピート再生: RPT、RPT FOLDER ・ミックス再生: M.I.X.、M.I.X. FOLDER ・スキャン再生: SCAN、SCAN FOLDER
④曲情報表示	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	
⑤再生時間表示	再生中の曲の再生経過時間が表示されます。	
⑥曲名リスト表示	現在再生中の曲名と前後の曲名が表示されます。	
⑦ジャンルイメージ表示	アルバムのジャンルイメージ画像が表示されます。	
 再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。		・頭出し: 現在の曲の頭出しをします。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。 ・早戻し: 先頭曲の頭まで早戻しすると通常再生に戻ります。

5.13 オーディオビジュアル機能 CD再生画面について(2/2)

	再生を一時停止(ポーズ)します。	•  をタッチすると再生を開始します。
	次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。	
	気に入った曲を繰り返し再生することができます(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。	• CD: RPT→OFF→... • MP3/WMA/AAC: RPT→RPT FOLDER→OFF→... • RPT: 1曲のみを繰り返し再生します。 • RPT FOLDER: フォルダ内の曲のみを繰り返し再生します。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
	曲を順不同に再生することができます。タッチするたびにミックス再生の種類が変わります。	• CD: M.I.X.→OFF→... • MP3/WMA/AAC: M.I.X.→M.I.X. FOLDER→OFF→... • M.I.X.: ディスク内の曲を順不同に再生します。 • M.I.X. FOLDER: フォルダ内の曲のみを順不同に再生します。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
	曲のイントロ部分だけを聴いて聴きたい曲を探することができます。タッチするたびにスキャン再生の種類が変わります。	• CD: SCAN→OFF→... • MP3/WMA/AAC: SCAN→SCAN FOLDER→OFF→... • SCAN: フォルダ内の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。 • SCAN FOLDER: 全フォルダの最初の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
	再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。	• ミックス再生中は操作できません。
	MP3/WMA/AACでは聴きたいフォルダを選ぶことができます。タッチするたびに前後のフォルダに切りかわります。	
	MP3/WMA/AACでは聴きたい曲を探すことができます。リスト画面でフォルダ名と曲名をタッチします。	
	CDの曲をSDカードに録音することができます。	• 録音については85ページを参照してください。 • 録音中は  スイッチになります。  をタッチすると録音を停止します。

5.14 オーディオビジュアル機能 SD AUDIO—音楽を聴く

SDカードに記録されているデータの種類によって、本機のSDカード操作は2種類あります。

■ 本機でCDからSDカードに曲を録音した場合

あらかじめCDからSDカードに曲を録音してください。録音方法については85ページ、操作方法は本章SD AUDIO操作ページを参照してください。

・録音されるデータ形式は次の通りです。

- ・録音形式 : AAC
- ・サンプリングレート : 44.1MHz
- ・ビットレート : 96/128/192kbps(初期設定は128kbps)
- ・録音可能曲数 : 最大9,999曲(アルバム数/アーティスト数はそれぞれ最大999)

■ パソコン等を使用して、SDカードに音楽データを記録した場合

音楽ファイルの操作方法はCDディスクに記録されたMP3/WMA/AAC同様の操作となります。81ページを参照してください。

SDカードのご注意

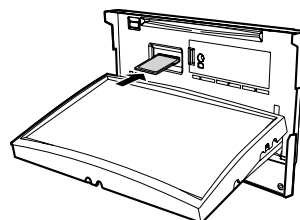
録音中/録音曲編集集中/初期化中は、絶対にエンジンを切ったり、SDカードを取り出したりしないでください。SDカード内のデータが破損する場合があります。

▶ SDカードにある音楽データを再生するには

手順 1 手順 2
SDカードを挿入 ▶ **MODE** ▶ **SD**

1 SDカードを本機に挿入し、 スイッチを押してディスプレイを閉じる

- ・“カチッ”と音がするまで差し込んでください。



2 **MODE** スイッチを押し、**SD** をタッチすると再生が始まります。

- ・再生できるSDカードおよびファイルの種類などについては154ページを参照してください。

- ・録音用SDカードは、ライトプロテクトされていると再生することができません。
- ・SDカードを取り出すときはSDカードを押すとSDカードが押し出されますので、そのまま引き抜いてください。
- ・ スイッチを押してディスプレイを開くとSDカードへのアクセスが中断されますのでご注意ください。

5.15 オーディオビジュアル機能 SDカードに曲を録音する

SDカードに最大9,999曲録音することができます。SDカードの容量や録音モードによって録音曲数は異なります。

▶ 録音用のSDカードを準備する

本機には録音用に初期化されたSDカードが挿入されていますので、そのまま録音を開始することができます。

添付の録音用SDカード以外に録音する場合はSDカードを録音用に初期化してください。詳しくは「メディア編集 画面について」(120ページ)を参照してください。

- ・初期化はCD再生画面でも行うことができます。挿入されているSDカードが録音用に初期化されていない場合は、録音操作を行うと初期化を確認する画面が表示されます。**はい** にタッチすると録音用SDカードを作成します。
- ・録音用のSDカードは、地点登録用とは別のフォーマットになります。
- ・録音用のSDカードは4GB ~ 32GBのSDHCカードが使用可能です。

▶ SDカードに曲を録音する



1 CD再生画面で **●** をタッチする

- ・SDカードが録音用に初期化されていない場合は、初期化を確認するメッセージが表示されます。**はい** をタッチすると、SDカードを録音用に初期化します。

2 録音したい曲を選び、**完了** をタッチする

- ・**全て選択** **全て解除** にタッチすると、リストの曲を全曲選択/解除することができます。

3 メッセージ画面が表示されたら **はい** をタッチする

- ・再生中の曲から録音が始まります。
- ・録音開始後はSDカード内の録音済の曲が再生されます。録音が終了すると、CDモードとなります。
- ・録音中はCD操作を行うことはできません。
- ・録音用初期化や録音開始までに時間がかかる場合があります。
- ・残容量 100MB以下のSDカードには録音できません。

▶ 録音の注意事項

- ・本機の故障・誤動作・不具合により録音できなかったデータおよび消失したデータについては補償できません。
- ・著作権法上、お客様が録音したものは個人として楽しむほかは権利者に無断で使用できません。
- ・録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
- ・エンジンキーがACCの状態で録音しているときにエンジンをかけると、録音したデータが消失する場合があります。
- ・ノンストップCD(曲と曲の間に無音部分がないCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され不自然な音切れが発生することがあります。録音するディスクに依存します。
- ・MP3/WMA/ACCは録音できません。
- ・録音中に以下の操作をすると録音を停止します。
 - ・**■** をタッチする(再生されている曲の頭からCDモードで再生します)
 - ・ディスプレイを開く(再生されている曲の頭からCDモードで再生します)
 - ・エンジンキーがACCの状態で録音していてエンジンをかける(再生されている曲の続きをCDモードで再生します)
- ・録音用に初期化したSDカードは本機以外に挿入しないでください。データが破損する可能性があります。尚、PC等に録音用SDカードを挿入するとフォーマットを促す場合がありますが、録音データが失われますのでキャンセルしてください。
- ・録音中、初期化中は絶対にSDカードを取り出さないでください。取り出すときは録音を停止するか、初期化終了を確認してください。SDカード内のデータが破損する可能性があります。

5.16 オーディオビジュアル機能 SD AUDIO再生画面について(1/2)

SD AUDIO再生画面は2画面あります。



SD AUDIO 再生画面を切りかえます

①曲番号	再生している曲の番号が表示されます。	
②状態表示	リピート再生(繰り返し再生)・スキャン再生・ミックス再生の状態が表示されます。	・ リピート再生: RPT ・ ミックス再生: M.I.X. LIST ・ スキャン再生: SCAN
③曲情報表示	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	
④再生時間表示	再生中の曲の再生経過時間が表示されます。	
⑤曲名リスト表示	現在再生中の曲名と前後の曲名が表示されます。	
⑥ダイレクトアップ / ダウンスイッチ	サーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムを繰り返し再生します。その場合ダイレクトアップ / ダウン機能を使用すると、簡単に別のアルバムを選ぶことができます。	・ 画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで決定したモードになります。 - ダイレクトアップ / ダウンスイッチの種類: ◀ ジャ ンル ▶ ◀ アーテ ィスト ▶ ◀ アル バム ▶ ◀ プレイ リスト ▶
⑦ジャンルイメージ表示	アルバムのジャンルイメージ画像が表示されます。	
	再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	・ 頭出し: 現在の曲の頭出しをします。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。 ・ 早戻し: 先頭曲の頭まで早戻しすると通常再生に戻ります。
	再生を一時停止(ポーズ)します。	・  をタッチすると再生を開始します。
	次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。	
	気に入った曲を繰り返し再生することができます(リピート再生)。	・ RPT: 1曲のみを繰り返し再生します。 ・ もう一度  をタッチすると通常再生に戻ります。 ・ リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。

5.16 オーディオビジュアル機能 SD AUDIO再生画面について(2/2)

	再生対象となっている曲リストの曲を順不同に再生することができます。	• M.I.X. LIST: SDカード内の曲を順不同に再生します。 • もう一度  をタッチすると通常再生に戻ります。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
	再生対象となっている曲リストの曲のイントロ部分だけを聴いて聴きたい曲を探すことができます。	• SCAN: SDカード内の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。 • もう一度  をタッチすると通常再生に戻ります。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
	再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。	• ミックス再生中は操作できません。
	アルバムやアーティストごとにリスト表示させて曲を選ぶことができます。	• 詳しくは88ページを参照してください。
	SDカードに録音させている曲の名称や演奏順などを編集できます。	• 詳しくは89、90ページを参照してください。

5.17 オーディオビジュアル機能 SD AUDIO音楽検索画面について

SD AUDIO再生画面で **サーチ** をタッチすると曲やアーティストの検索画面が表示されます。



ジャンルのリストが表示されます。
選んだジャンルの曲が繰り返し再生されます。

• 録音されているアルバムのジャンルのみが表示されます。



アーティストのリストが表示されます。
選んだアーティストの曲が繰り返し再生されます。



アルバムのリストが表示されます。
選んだアルバムの1曲目から繰り返し再生されます。



録音されている曲名リストが表示されます。



プレイリストのリストが表示されます。
選んだプレイリストの曲が繰り返し再生されます。

• プレイリストに曲を追加するには90ページを参照してください。

■ 効率よく検索するには

より効率良く検索するためにダイレクトサーチ機能が用意されています。各サーチモード時に利用することで、探したい曲などを素早く探し出すことができます。

例) 曲名サーチの場合

SDカードに100曲入っているとします。この全曲を10分割し、スライダバーに割り当てます。



例1: 探したい曲が50曲目位に入っていると予想したときは、スライダバーの「50%」をタッチします。50曲目前後のリストが表示されます。

例2: 探したい曲が80曲目位に入っていると予想したときは、スライダバーの「80%」をタッチします。80曲目前後のリストが表示されます。

5.18 オーディオビジュアル機能 SD AUDIO録音曲編集画面について

SD AUDIO再生画面から **編集** → **録音曲編集** の順にタッチすると録音曲編集画面が表示されます。編集したい曲が収録されているアルバムを再生してから操作を行います。



消去

SDカードに録音されている曲やアルバムを消去します。

- **消去** をタッチすると曲を削除します。 **消去** をタッチし続けると選択したアルバムを削除します。
- プレイリストに登録されているSDカードの曲を消去すると、プレイリストからも曲が消去されます。

演奏順UP /

演奏順DN

SDカードに収録されているアルバムの中の曲順を変更します。

再取得

録音終了時に自動的に設定されなかったアルバムのタイトルデータを手動で取得することができます。タイトルを取得したい曲が収録されているアルバムを再生してから操作を行います。

- 携帯電話を接続しているときは、**通信** をタッチするとインターネットからGracenoteメディアデータベースにアクセスしてタイトルデータをダウンロードすることができます。
- インターネットへアクセスした場合は通信費が発生します。通信費はお客様負担になります。

名称変更

SDカードに収録されている曲のアルバム名・アーティスト名・曲名・ジャンルを編集します。



- 走行中は安全のため編集を行うことはできません。

A V

SD AUDIO録音曲編集画面について

5.19 オーディオビジュアル機能 SD AUDIOプレイリスト編集画面について

SD AUDIO再生画面から **編集** → **プレイリスト編集** の順にタッチするとプレイリスト編集画面が表示されます。



- プレイリスト再生中はプレイリストの編集はできません。



名称変更	登録されているプレイリスト名を変更します。	
編集	プレイリスト内の曲の消去・演奏順変更を行うことができます。	• 消去 : 選択した曲を消去します。タッチし続けるとリスト内の曲をすべて消去します。 • 演奏順UP / 演奏順DN : プレイリストの曲順を変更します。 • プレイリストから曲を消去しても、SDカードの音楽データは消去されません。
曲を追加	再生中の曲をプレイリストへ登録します。	• 1つのプレイリストに登録できる曲数は最大999曲です。 • 同じ曲を違うプレイリストに登録することもできます。また、1つのプレイリストに何度も同じ曲を登録することができます。

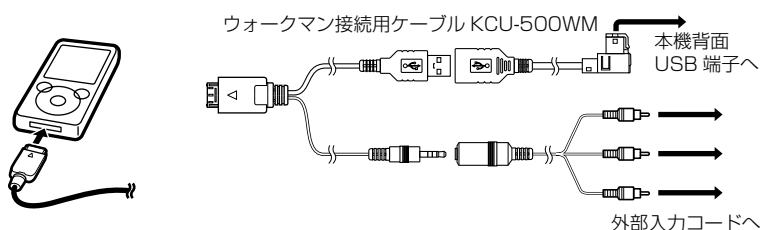
5.20 オーディオビジュアル機能 ウォークマン®をつないで使う

ウォークマン®を本機に接続して音楽やビデオを再生することができます。別売のウォークマン®接続ケーブル(KCU-500WM)をご用意ください。

■ 本機で対応しているウォークマン®については155ページを参照してください。

手順 1 手順 2 手順 3
ウォークマンを接続 ▶ 設定 ▶ 設定・編集 ▶ 各種設定 ▶ AV タグ ▶ 外部接続機器選択 ▶ ウォークマン(R) ▶ MODE ▶ ウォークマン(R)

1 ウォークマン®接続ケーブルで本機とウォークマン®を接続する



- ・取付説明書もあわせてご覧ください。
- ・運転中はウォークマン®を接続しないでください。事故やケガの原因になります。
- ・運転中はウォークマン®のイヤホンを使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- ・本機にウォークマン®を接続する前に、ウォークマン®のイコライザー機能を「オフ」に設定することをおすすめします。
- ・本機へウォークマン®を接続する際は、ウォークマン®本体のホームメニュー「各種設定」から下記の設定を行ってください。設定を行わないと、歌詞やジャケット写真またはビデオ映像を本機へ映し出すことができません。
 - ・「ビデオ設定」→「画面オフ設定」→「常時画面オン」
 - ・「ビデオ設定」→「テレビ出力(ビデオ)」→「オン」
 - ・「ビデオ設定」→「テレビ出力サイズ」→「16:9」
 - ・「音楽設定」→「テレビ出力(ミュージック)」→「オン」
- ・本機の「ソース別音量調整」設定(118ページ)のウォークマン®を必ず+14ステップに設定してください。
- ・運転中はウォークマン®を外さないでください。事故やケガの原因になります。
- ・ウォークマン®接続用ケーブルKCU-500WMでウォークマン®のバッテリーを充電できます。
- ・ウォークマン®接続用ケーブルKCU-500WMのUSBケーブルはUSBメモリー接続に使用できます。
- ・ウォークマン®の機種がビデオ出力非対応の場合には、音声のみでご使用ください。

2 外部機器接続選択画面で接続機器にウォークマン(R)を選ぶ

(設定) スイッチを押して 設定・編集 → 各種設定 → AV タグ → 外部接続機器選択 順にタッチし、ウォークマン(R)を選択して 完了 をタッチしてください。

3 (MODE) スイッチを押し、ウォークマン® をタッチする



4 ウォークマン®で音楽や映像の再生操作をする

- ・運転中はウォークマン®を操作しないでください。事故やケガの原因になります。
- ・ウォークマン®を聴いているときにエンジンをOFFにしてもウォークマン®の電源は切れません。ウォークマン®本体の電源をOFFにしてください。
- ・音楽再生画面・音楽サーチ画面・ビデオ再生画面以外は本機で表示できません。



5.21 オーディオビジュアル機能 iPodやiPhoneの音楽・ビデオを視聴する

iPod/iPhoneを本機に接続して、音楽やビデオを再生することができます。別売のiPod/iPhone接続ケーブル(KCU-460iV)をご用意ください。iPod/iPhoneは本機で再生操作ができます。

■ 本機で対応しているiPod・iPhoneについては155ページを参照してください。



- 機種によってはBLUETOOTHで接続できます(97ページ参照)。

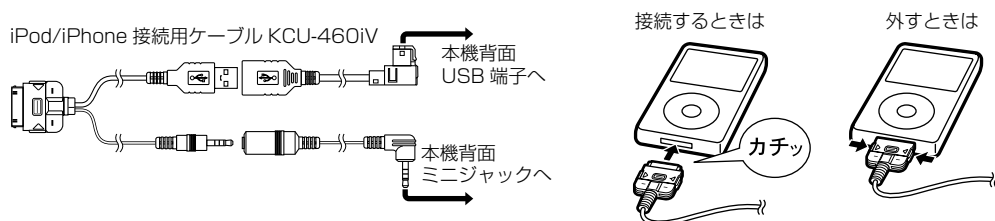
手順 1

iPod・iPhoneを接続

手順 2

MODE ▶ iPod

1 iPod/iPhone接続ケーブルで本機とiPod/iPhoneを接続する



- 取付説明書もあわせてご覧ください。
- 運転中はiPod/iPhoneを接続しないでください。事故やケガの原因になります。
- 運転中はiPod/iPhoneのイヤホンを使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- 再生中のiPod/iPhoneを本機に接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- iPod/iPhoneを接続しても音が出ないときや、iPod/iPhoneを認識できない場合は、一度iPod/iPhoneを外して再接続するか、iPod/iPhoneのリセットを行ってください。
- 本機にiPod/iPhoneを接続する前に、iPod/iPhoneのEQ機能を「オフ」に設定することをおすすめします。
- USBメモリー、iPod/iPhone、ウォークマン®を同時に接続することはできません。
- 運転中はiPod/iPhoneを外さないでください。事故やケガの原因になります。
- 本機とiPod/iPhone接続中はiPhoneのiPod機能とiPodは操作ができなくなります。
- iPod touchやiPhoneのインターネット機能や電話機能等は本機から操作することはできませんが、iPod touchやiPhone本体を操作して使用することができます。
- iPod/iPhone接続ケーブルKCU-460iVでiPod/iPhoneのバッテリーを充電できます。
- iPod/iPhone接続ケーブルKCU-460iVのUSBケーブルはUSBメモリー接続に使用できます。

2 MODE スイッチを押し、iPod をタッチする

- iPod・iPhoneの操作については93ページを参照してください。
- ビデオを再生中にエンジンをOFFにすると、次にエンジンをONにしたときは音楽データの先頭から再生が始まります。



5.22 オーディオビジュアル機能 iPod AUDIO・VIDEO再生画面について(1/2)

iPod再生画面は2画面あります。

<iPod AUDIO>



iPod 再生画面を切りかえます。

<iPod VIDEO>



iPod 再生画面を切りかえます。

①曲番号	再生している曲の番号が表示されます。	
②状態表示	リピート再生(繰り返し再生)、ミックス再生の状態が表示されます。	・リピート再生: RPT ・ミックス再生: M.I.X. SONGS, M.I.X. ALBUMS
③曲情報表示	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	・Podcast再生時は、エピソード名・番組名・放送日が表示されます。
④再生時間表示	再生中の曲の再生経過時間(左側)と総演奏時間(右側)が表示されます。	
⑤ビデオアイコン表示	ビデオファイルを音声出力のみ再生している場合、ビデオアイコンが表示されます。	
⑥ダイレクトアップ/ダウンスイッチ	サーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムを繰り返し再生します。その場合ダイレクトアップ/ダウン機能を使用すると、簡単に別のアルバムを選ぶことができます。	・画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで決定したモードになります。 ダイレクトアップ/ダウンスイッチの種類: ◀ジャ ニル▶ ◀アーテ イスト▶ ◀アル バム▶ ◀プレイ リスト▶ ◀Pod cast▶ ◀作曲 者▶ ・ビデオファイル再生時にも、ダイレクトアップ・ダウン機能を利用することができます。ビデオモードでのダイレクトアップ・ダウンスイッチはプレイリストモードの場合は◀プレイ▶リスト▶、その他の場合は◀▶と表示されます。

5.22 オーディオビジュアル機能 iPod AUDIO・VIDEO再生画面について(2/2)

iPodに登録しているアルバムのジャケット画像などが表示されます。

⑦アートワーク/イメージ表示

- アートワークデータを取得する間(最大3秒間)は操作を行うことができません。
- 1つの曲に複数のアートワークが設定されていても、取得できるアートワークは一つになります。カラーとモノクロのアートワークがある場合はカラーが、サイズの大きさに違いがある場合は大きなサイズのアートワークが優先して取得されます。
- 「アートワーク自動取得」(110ページ)を「する」に設定してある場合、曲が変わるたびにアートワークデータの取得が行われ、その間は操作を行うことはできません。

	再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	• 頭出し: 現在の曲の頭出しをします。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。 • 早戻し: 曲の頭まで早戻しすると通常再生に戻ります。
	再生を一時停止(ポーズ)します。	•  をタッチすると再生を開始します。
	次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。	• 曲の終わりまで早送りすると通常再生に戻ります。
	気に入った曲を繰り返し再生することができます(リピート再生)。	• RPT: 1曲のみを繰り返し再生します。 • もう一度  をタッチすると通常再生に戻ります。
	曲・アルバムを順不同(シャッフル)に再生することができます(ミックス再生)。タッチするたびにミックス再生の種類が変わります。	• M.I.X. SONGS: サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内の曲を全曲、順不同に再生します。 • M.I.X. ALBUMS: サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに再生します。 • もう一度  をタッチすると通常再生に戻ります。
	iPod/iPhone内のすべてのファイルを順不同に再生します(オールミックス再生)。	• ビデオモード中に本操作を行うことはできません。 • もう一度  をタッチすると通常再生に戻ります。 • iPod/iPhone内すべてのファイルの再生が終わってもミックス再生を解除するまではミックス再生を続けます。
	再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。	
	アルバムやアーティストごとにリスト表示させて曲を選ぶことができます。	• 詳しくは95ページを参照してください。
	画質調整画面が表示されます。	• 画質調整については121ページを参照してください。

5.23 オーディオビジュアル機能 iPod AUDIO・VIDEOサーチ画面について(1/2)

iPod AUDIO・VIDEO再生画面で **サーチ** をタッチすると曲やアーティストの検索画面が表示されます。

▶ 曲を探す



VIDEO サーチ画面を表示します。

 プレイリスト	プレイリストのリストが表示されます。 選んだプレイリストの曲が繰り返し再生されます。	本機は音楽データとビデオデータが混在しているプレイリストの再生には対応していません。再生すると不具合が生じる場合がありますので、自動的に音楽データとビデオデータが混在してしまう「トップ25」や「購入したもの」「最近再生した曲」などのプレイリストを選ぶときは注意してください。また、不具合が生じた場合にはiPodを取り外してリセットをしてください。
 アーティスト	アーティストのリストが表示されます。 選んだアーティストのアルバムが繰り返し再生されます。	
 アルバム	アルバムのリストが表示されます。 選んだアルバムの1曲目から繰り返し再生されます。	
 曲	登録されている曲名リストが表示されます。	
 ジャンル	ジャンルのリストが表示されます。 選んだジャンルのアルバムが繰り返し再生されます。	登録されているアルバムのジャンルのみが表示されます。
 Podcast	Podcastのリストが表示されます。	
 オーディオブック	オーディオブックのリストが表示されます。	
 作曲者	作曲者のリストが表示されます。 選んだ作曲者の曲が繰り返し再生されます。	

5.23 オーディオビジュアル機能 iPod AUDIO・VIDEOサーチ画面について(2/2)

▶ ビデオを探す



AUDIO サーチ画面を表示します。

① Video Playlist	プレイリストのリストが表示されます。	
②ムービー	ビデオのリストが表示されます。	
③ミュージックビデオ	ミュージックビデオのリストが表示されます。	
④テレビ番組	テレビ番組のリストが表示されます。	
⑤ビデオ Podcast	Podcastのリストが表示されます。	

・ iPod・iPhoneによっては、ビデオサーチ画面の項目が異なる場合があります。

■ 効率よく検索するには

より効率良く検索するためにダイレクトサーチ機能が用意されています。各サーチモード時に利用することで、探したい曲などを素早く探し出すことができます。

例) 曲名サーチの場合

iPod/iPhone内に100曲入っているとします。この全曲を10分割し、スライダバーに割り当てます。



例1: 探したい曲が50曲目位に入っていると予想したときはスライダバーの「50%」をタッチします。50曲目前後のリストが表示されます。

例2: 探したい曲が80曲目位に入っていると予想したときはスライダバーの「80%」をタッチします。80曲目前後のリストが表示されます。

5.24 オーディオビジュアル機能 BT AUDIOを接続する

携帯電話などのBLUETOOTHオーディオ機器(BT AUDIO)と本機をBLUETOOTHで接続すると、本機から曲を再生することができます。初めてお使いになるときは、お使いのBLUETOOTHオーディオ機器を以下の手順に従って本機に登録してください。



- ・ 1 台の携帯電話を通信用とBT AUDIO用に使う場合は「通信機能—携帯電話を接続する」(53ページ)の手順に従って登録してください。
- ・ 本機にBLUETOOTHオーディオ機器をBLUETOOTH接続する前に、BLUETOOTHオーディオ機器のEQ機能を「オフ」に設定することをおすすめします。

手順 1			手順 2			手順 3			手順 4		手順 5	手順 6	手順 7
設定	設定・編集	Bluetooth設定	変更	未登録	機器登録	Bluetooth機器から探索	接続サービスを選択	携帯電話で本機を検索	パスキー入力	いいえ	MODE	BT AUDIO	

1 **設定** スイッチを押し→ **設定・編集** → **Bluetooth設定** の順にタッチする

2 **変更** → **未登録** → **機器登録** の順にタッチする

- ・ **変更** をタッチした後にBLUETOOTH機器との接続解除のメッセージが出てきた場合は **はい** を選択してください。
- ・ 本機にはBLUETOOTH機器を5台まで登録できますが、BT AUDIO機器として2台以上を同時に使うことはできません。複数台を登録したときは利用するBT AUDIO機器を切りかえてお使いください。



3 **Bluetooth機器から探索** をタッチし、**オーディオ** **ハンズフリー+オーディオ** のいずれかにタッチする

- ・ **MITM設定** をタッチするとMITM(中間者攻撃)Protection設定を一時的に変更することができます。 **OFF** にすることにより、機器設定ができない機器の登録が可能となる場合があります。

4 相手機器のBLUETOOTH機能をオンにし→相手機器で本機を検索する

5 相手機器にパスキーの入力画面が表示されたら本機と同じパスキーを入力する

- ・ BLUETOOTH機器によってはパスキーの入力が不要な機種もあります。
- ・ パスキーの初期値は"1234"です。

6 接続先設定のメッセージが表示されたら **いいえ** をタッチする

7 **MODE** スイッチを押し、**BT AUDIO** をタッチする

- ・ BLUETOOTH機器によっては自動的に再生を開始します。自動的に再生を開始しない場合はBLUETOOTH機器または本機から操作してください。
- ・ BT AUDIOの操作については98ページを参照してください。

- ・ 上記の手順で接続できない場合は相手機器のBLUETOOTH機能をオンにし、手順3で **ナビから探索** をタッチし画面の説明にしたがって登録してください。
- ・ 接続したBLUETOOTH機器のリストには「ALPINE」と表示されます。

▶ **すでにBLUETOOTH接続されている場合には**

MODE スイッチを押し、**BT AUDIO** をタッチします。

- ・ 前回接続したBLUETOOTH機器の場合のみ接続することができます。

5.25 オーディオビジュアル機能 BT AUDIO再生画面について(1/2)

BT AUDIO再生画面は、BLUETOOTHオーディオ機器を接続して (MODE) スイッチを押して **BT AUDIO** をタッチすると表示されます。

以下の再生画面表示例はAVRCP ver.1.4対応の携帯電話と接続した際の表示です。携帯電話やBLUETOOTHオーディオ機器によっては再生画面に表示されるスイッチおよび操作が異なります。機器によっては操作できない場合があります。

■ 携帯電話・BLUETOOTHオーディオ機器の対応プロファイルが以下の場合の対応操作

BT 携帯電話の Ver.	音声伝送	選曲操作	情報表示	リスト表示
Ver. 1.0	○	△	×	×
Ver. 1.3	○	○	○	×
Ver. 1.4	○	○	○	○

○:可能 △:機種によって不可場合があります ×:対応していません

(注記) AVRCP非対応(A2DPのみ):音声再生のみとなります。

アドバイス

- BT AUDIO使用中にハンズフリー機能・通信機能・電話帳転送機能を使用すると一時的にBT AUDIO機能が停止したり音切れやAVプロファイルが切断される場合があります
- ハンズフリーとBT AUDIOをBLUETOOTH接続している携帯電話では、BT AUDIOを使用中にデータ通信を行えない場合があります。



BT AUDIO 再生画面を切りかえます

①曲番号	再生している曲の番号が表示されます。	
②状態表示	リピート再生(繰り返し再生)、スキャン再生、ミックス再生の状態が表示されます。	・ リピート再生: RPT、RPT GROUP、RPT ALL ・ ミックス再生: M.I.X. GROUP、M.I.X. ALL ・ スキャン再生: SCAN GROUP、SCAN ALL
③曲情報表示	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	・ 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
④再生時間表示	再生中の曲の再生経過時間が表示されます。	
⑤曲名リスト表示	現在再生中の曲名と前後の曲名が表示されます。	・ 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
⑥グループアップ / ダウンスイッチ	グループアップ/ ダウン機能を使用すると、簡単に別のグループを選ぶことができます。	・ 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。

5.25 オーディオビジュアル機能 BT AUDIO再生画面について(2/2)

	再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	• 頭出し: 現在の曲の頭出しをします。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。
	再生を一時停止(ポーズ)します。	•  をタッチすると再生を開始します。
	次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。	
	気に入った曲を繰り返し再生することができます(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。	• RPT: 1曲のみを繰り返し再生します。 • RPT GROUP: グループ内の曲のみを繰り返し再生します。 • RPT ALL: 全曲を繰り返し再生します。 • 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。 • 接続するBLUETOOTH機器によってRPT GROUP再生の範囲が異なります。
	曲を順不同に再生することができます。タッチするたびにミックス再生の種類が変わります。	• M.I.X. GROUP: グループ内の曲を順不同に再生します。 • M.I.X. ALL: 全曲を順不同に再生します。 • 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。 • 接続するBLUETOOTH機器によってM.I.X. GROUP再生の範囲が異なります。
	曲のイントロ部分だけを聴いて聴きたい曲を探することができます。タッチするたびにスキャン再生の種類が変わります。	• SCAN GROUP: グループ内の曲のイントロ部分が再生されます。 • SCAN ALL: 全曲のイントロ部分が再生されます。 • 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
 再生リスト / 	再生対象となっている曲名をプレイリスト・アルバムやアーティストごとにリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。	• 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
 再接続 または  接続解除	登録しているBT AUDIO機器との接続・接続解除をします。	
 機器変更	BT AUDIO機器を変更します。 登録しているBT AUDIO機器がリストで表示されますので、新しい接続先を選択します。	

5.26 オーディオビジュアル機能 その他のAVソースメニューについて

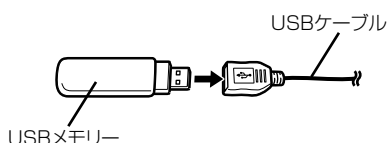
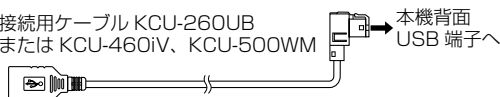
▶ USBメモリーにある音楽データを再生するには

手順 1 手順 2
USBメモリーを接続 ▶ **MODE** ▶ **USB**

1 USBメモリーを接続する

- ・ iPod/iPhone接続用ケーブルKCU-460iVを購入された場合は、KCU-460iVのUSBケーブルを使用できます。iPod接続ケーブルは外してご使用ください。
- ・ ウォークマン®接続用ケーブルKCU-500WMを購入された場合は、KCU-500WMのUSBケーブルを使用できます。ウォークマン®接続ケーブルは外してご使用ください。
- ・ iPod/iPhoneやウォークマン®を使用しないときは、USB専用ケーブルKCU-260UBを購入してください。
- ・ 取付説明書もあわせてご覧ください。
- ・ 運転中はUSBメモリーを接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- ・ USBメモリーを接続しても音が出ないときやUSBメモリーを認識しない場合は、一度USBメモリーを外して再接続してください。
- ・ USBメモリー、iPod/iPhone、ウォークマン®を同時に接続することはできません。

接続用ケーブル KCU-260UB
または KCU-460iV、KCU-500WM



2 **MODE** スイッチを押し、**USB** をタッチすると再生が始まります。

- ・ 音楽ファイルの操作方法是CDディスクに記録されたMP3/WMA/AACと同様になります。詳しくは82ページを参照してください。
- ・ 再生できるUSBメモリーおよびファイルの種類などについては154ページを参照してください。

- ・ USBメモリーを取り外すときは **設定** または **MODE** スイッチを押し、**USB解除** をタッチしてから取り外してください。

▶ 接続した外部機器(ビデオデッキやゲームなど)の映像を見るには

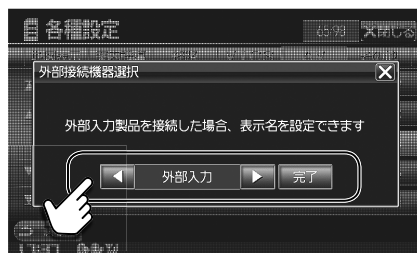
MODE スイッチを押し、**外部入力** をタッチします。

■ 外部接続機器を設定する

ビデオデッキやゲームなどを本機に接続したら、外部接続機器を設定してください。設定した表示名がソース名称として表示されます(初期設定は「外部入力」)。

- 1 外部接続機器選択画面は **設定** スイッチを押し、
設定・編集 → **各種設定** → **AV** タブ →
外部接続機器選択 の順にタッチする

- ・ 接続した機器に合わせて **外部入力** / **外部ビデオ** / **ゲーム** / **ウォークマン(R)** / **なし** から選択してください。
- ・ 選んだ表示名がAUXモードのソース名として表示されます。



▶ オーディオ・ビジュアルソースのON/OFFを切りかえるには

AV スイッチを2秒以上押し続けるか、**MODE** スイッチを押し **AV OFF** をタッチするとオーディオ・ビジュアルソースのみをOFFにすることができます。

- ・ ONに戻すには、AVソースメニューから再生したいソースを選択すると自動的にソースの再生に切りかわります。

5.27 オーディオビジュアル機能 フォトバンクについて

フォトバンクメニュー画面は **(設定)** スイッチを押して **フォトバンク** をタッチし、画面をタッチすると表示されます。SDカード、またはUSBメモリーに保存した好きな画像を閲覧することができます。



- 録音用のSDカードは、フォトバンクに使用することはできません。



①時計表示設定	時計表示を設定します。 時計1 / 時計2 / しない から選択してください。	
	一時停止中、前の画像を表示します。	
	スライドショーを一時停止します。	▶ をタッチするとスライドショーを再開します。
	一時停止中、次の画像を表示します。	
	SDカード内の画像をリスト表示させて、スライドショーを行う画像を選ぶことができます。	再生 にタッチするとスライドショーを開始します。
	USBメモリー内の画像をリスト表示させて、スライドショーを行う画像を選ぶことができます。	再生 にタッチするとスライドショーを開始します。
	画像表示を消します。解除するには画面をタッチします。	

▶ 再生できる画像データ

- ファイル形式: BMP、JPG(プログレッシブJPEG は非対応)
- ファイルサイズ:
 - BMP- 最大2MB、1024×768ピクセル
 - JPG- 最大10MB、4608×3456ピクセル
- フォルダの最大階層: 8階層
- ファイル名最大文字数: 63文字(拡張子含)
- 認識できるファイル数: 1000まで

6.1 設定・編集 各種設定—地図表示 設定画面について(1/3)



かんたん操作ガイド

各種設定—地図表示設定画面は (設定) スイッチを押して 設定・編集 → 各種設定 → 地図表示 タブの順にタッチすると表示されます。



- ・ ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が1行ずつスクロールし、▲ または ▼ をタッチすると画面ごとスクロールします。

ランドマーク表示

コンビニ・ガソリンスタンドなど、お好みの施設のランドマークを地図上に表示します。

初期設定値： する

- ・ ランドマークは200mスケール図以下の詳細な地図で表示されます。

ランドマーク表示ジャンル

「ランドマーク表示」を「する」設定時に、ジャンルごとに表示するブランド名を選択できます。

初期設定値： ガソリンスタンド・コンビニのみ 全てする

- ・ 最大20種類のジャンルを設定することができます。
- ・ 1つのジャンルに設定できるブランド名は最大5つです。6つ以上設定するときは、「全てする」に設定してください。

軌跡表示

走行した軌跡を地図上に「点(ピンク)」として表示するかどうかを設定します。

初期設定値： しない

- ・ 表示可能な距離(100km)を超えると古い軌跡から消えていきます。

軌跡情報を消去

地図上の軌跡をすべて消去します。

渋滞・混雑表示

VICS渋滞情報をもとに、渋滞している道路を矢印で表示します(渋滞：赤実線矢印、混雑：橙実線矢印)。

初期設定値： する

- ・ 渋滞・混雑表示は縮尺1km以下の地図で表示されます。
- ・ 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

空き道表示

VICS渋滞情報をもとに、空いている道路を緑実線矢印で表示します。

初期設定値： しない

- ・ 空き道表示は縮尺1km以下の地図で表示されます。
- ・ 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

渋滞推測 (渋滞・混雑)表示

渋滞統計・渋滞学習情報をもとに、渋滞が予想される箇所を地図に破線で表示します(渋滞：赤破線矢印、混雑：橙破線矢印)。

初期設定値： する

- ・ 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。
- ・ 渋滞推測線(渋滞・混雑)は縮尺1km以下の地図で表示されます。

渋滞推測機能について

- 本機能はJARTIC/VICSセンターから提供された現状情報をもとに、NTTデータが独自に作成した渋滞予測データを利用しています。
- 渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。

6.1 設定・編集

各種設定—地図表示 設定画面について(2/3)

渋滞推測 (空き道)表示	渋滞統計・渋滞学習情報をもとに、渋滞が発生しないと予想される箇所を緑破線矢印で表示するかどうかを設定します。 初期設定値：しない ・実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞推測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。 ・渋滞推測線(空き道)は縮尺1km以下の地図で表示されます。
VICS駐車場マーク 表示	VICSが提供する駐車場を地図上に表示するかどうかを設定します。 初期設定値：しない ・駐車場マークは縮尺1km以下の地図で表示されます。
規制マーク表示	規制マーク(工事・通行止めなど)を案内画面に表示します。 初期設定値：する ・規制マークは縮尺1km以下の地図で表示されます。ただし、通行止め・入り口閉鎖・オフランプ(出口)閉鎖は関連する事象も含めて20kmスケールの地図まで表示します。
VICS提供道路	VICS情報を提供する道路を全道路・高速道・一般道から選択することができます。 初期設定値：全道路
路上駐車場マーク表示	市街詳細地図に路上駐車場のマークを表示します。 初期設定値：する
渋滞線明滅表示	渋滞している区間の渋滞線(赤実線矢印)・混雑線(橙実線矢印)を点滅表示します。 初期設定値：する
地図色切換	昼画面と夜画面を切りかえることができます。昼・夜それぞれの地図表示色は4種類(標準(昼)・標準(夜)・道路強調(昼)・道路強調(夜))から選択することができます。 初期設定値：昼→標準(昼)、夜→標準(夜)
地図色昼/夜切換	スモールランプの点灯・消灯に連動して、昼画面/夜画面を切りかえるかどうかを設定します。 初期設定値：する
行政界色分け	市街地図で行政界(大字)の色を分けて表示します。 初期設定値：する
誘導方向表示	ルート案内中に目的地の方向を直線の誘導線で表示するかどうかを設定します。 初期設定値：しない
ビル立体表示	3Dマップでビルを立体的に表示します。 初期設定値：する
3Dランドマーク表示	主要施設のリアルな立体的アイコンを地図上に表示させることができます。 初期設定値：する ・3Dランドマークは縮尺200m以下の地図で表示されます。
冬期規制アイコン表示	冬に通行止めとなる箇所にアイコンを表示します。 初期設定値：する ・冬期規制アイコンは縮尺1km以下の地図で表示されます。 ・「する」に設定すると、冬期(11月～3月)の間、冬期規制アイコンが表示されます。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合がありますのでご注意ください。
細街路オートスケール	目的地案内中に細街路を走行すると、自動的に2画面表示に切りかわります。右画面には25mスケール市街地図が表示され、細街路の案内を行います。 初期設定値：する ・市街地図が収録されていない地域では50mスケール地図が表示されます。 ・音声案内は行われません。

6.1 設定・編集

各種設定—地図表示 設定画面について(3/3)

走行連動地図切換	走行中の市街詳細地図を、見やすく簡略化して表示します。 初期設定値： する
高速・有料モード地図	高速・有料道路走行中に、高速・有料道路を見やすく強調した地図を表示します。 初期設定値： する
自動ハイウェイモード	高速・有料道路を走行するときに、行程ガイドが自動的に表示されます。 初期設定値： する
スクロール方面表示	地図画面をスクロールしたときに、スクロールする方面の地名を画面上下左右に表示します。 初期設定値： する ・ スクロール方面表示は1kmスケール以下の地図で表示されます。 ・ 英語表示に設定している場合は、スクロール方面表示は行われません。
施設文字	地図上に表示される文字サイズをお好みに合わせて設定することができます。 初期設定値： 小
自転車マーク	自転車マークの表示をマーク1・マーク2・マーク3の中からお好みに合わせて変更することができます。 初期設定値： マーク1 ・ マーク3のイラストは「車種専用セッティング」「ドライブインフォの設定」で設定した車種に連動します。

6.2 設定・編集 各種設定—案内誘導 設定画面について(1/2)

各種設定—案内誘導設定画面は (設定) スイッチを押して 設定・編集 → 各種設定 → 案内誘導 タブの順にタッチすると表示されます。



- ・ ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が1行ずつスクロールし、▲ または ▼ をタッチすると画面ごとスクロールします。

県境案内	都道府県境を越えるときに音声で案内します。 初期設定値： する
合流案内	一般道路や高速道路のインターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)・SA/PA出口など、合流が近づいたときに警告するかどうかをそれぞれ設定することができます。 初期設定値：「一般道・する」「SA・PA・する」「IC・する」「JCT・する」
踏み切り案内	踏み切りに近づいたときに警告します。 初期設定値： する
事故多発警告案内	交通事故が多発している区間に近づいたときに警告するかどうかを設定します。 初期設定値： しない
残距離音声案内	案内地点までの距離が残り10kmになると音声で案内します。 初期設定値： する
到着予想時刻音声案内	目的地・経由地への到着予想時刻を音声案内します。 初期設定値： する
到着予想時刻速度設定	目的地・経由地到着時間予想のための条件(速度)を設定します。 初期設定値：「一般道・30km」「有料道・60km」「高速道・80km」
詳細案内図表示	3Dイラスト情報のある交差点の詳細案内図を表示します。 初期設定値： する
方面看板表示	交差点の手前で方面看板を表示します。 初期設定値： する
レーンガイド表示	ルート案内中に右左折専用などのレーン情報を表示します。 初期設定値： する
ナビ案内画面割込み	オーディオ・ビジュアルモードにナビの案内映像を割込み表示します。 初期設定値： する

6.2 設定・編集 各種設定—案内誘導 設定画面について(2/2)

ナビ音声案内時の AV音量ミュート

ナビ音声案内時、オーディオ音量を下げて音声案内を聞こえやすくします。
初期設定値：しない

料金所ゲート案内

インターチェンジの入口や出口でETCの情報を案内します。
初期設定値：する

車両情報

軽自動車や普通車などの車種を設定しておく、高速道路の通行料金を車種に合わせて表示することができます。さらに車のサイズもあわせて登録しておく、駐車場を探す際に立体駐車場など条件に合わないところを避けることができます。
初期設定値：「車両種別・普通」「駐車場条件・長さ450cm、幅160cm、高さ150cm」
・車両寸法は車検証を参照してください。

6.3 設定・編集 各種設定—経路 設定画面について(1/2)

各種設定—経路設定画面は(設定)スイッチを押して 設定・編集 → 各種設定 → 経路 タブの順にタッチすると表示されます。



- ・ ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が1行ずつスクロールし、▲ または ▼ をタッチすると画面ごとスクロールします。

アクティブルート サーチ	ルート案内中に、距離・時間・VICSの渋滞情報・スマートIC規制などあらゆる道路情報を常時演算し、最短時間で行けるルートを発見した場合、リアルタイムに新しいルートを表示します。 初期設定値： する ・ 最適なルートが見つからない場合はアクティブルートサーチ機能は働きません。 ・ 「アクティブルートサーチ短縮時間の設定」(次項目)で設定した時間よりも到着予想時刻が短縮できる場合のみ、アクティブルートサーチ案内が行われます。
短縮時間	アクティブルートサーチで短縮する時間の目安を設定します。5分刻みで時間を選択し 完了 をタッチすると設定されます。 初期設定値： 5分以上 ・ ここで設定した時間を短縮できない場合はアクティブルートサーチ案内は行われません。
アクティブルート サーチ案内音声 割込み	アクティブルートサーチが行われた際に音声案内を割込みします。 初期設定値： する
抜け道探索	抜け道道路データを使用して、渋滞地点を回避するルートを探索します。 初期設定値： する ・ アクティブルートサーチ設定が「する」の場合にのみ設定できます。
スマートIC利用	ルート探索時にスマートインターチェンジを利用するかどうかを設定します。 初期設定値： しない ・ スマートICを利用するにはETC車載器が必要です。 ・ スマートICには、営業時間・営業期間・対象車種・出入り方向などに制約があります。また社会実験として期間限定で開設されているスマートICもあります。ご利用の際はご注意ください。
時間曜日規制考慮	時間や曜日によって規制される区間を避けたルートを探索します。 初期設定値： する
フェリー使用	フェリー航路を利用したルートを探索することができます。 初期設定値： する
迂回エリア考慮	あらかじめ登録しておいた迂回地点を避けてルートを探索します。 初期設定値： する

6.3 設定・編集 各種設定—経路 設定画面について(2/2)

迂回距離

一般道と有料道路・高速道路に分けて設定できます。

初期設定値：「一般道5km」「有料・高速20km」

・「迂回エリア考慮」(107ページ)を「する」に設定した場合のみ、迂回距離を設定できます。

冬期閉鎖区間考慮

冬に通行止めとなる区間を避けてルートを探索することができます。

初期設定値：する

・冬期(11月～3月)の期間に考慮されます。4月～10月は通常ルートとなります。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。

・「しない」に設定すると、冬期閉鎖区間が発見された時点でメッセージが表示され、避けるかどうかを選択できます(「規制考慮」27ページ参照)。

ルート学習

よく通る道が優先してルート探索されるように、走行記録を記憶します。

初期設定値：する

・ナビが探索した推奨ルートを走行中にルートからの離脱と復帰をそれぞれ同じ地点で2回繰り返すと、次のルート探索を行う際にそのルートが推奨ルートとして探索されます。

・案内対象外道路はルート学習に反映されません。離脱・復帰地点が同じでも、途中のルートが案内対象外道路になると、学習結果は無効になります。

・ルート学習中に目的地や経由地を変更したり別のルートの選択や周辺迂回を行った場合は、ルート学習は中止されます。

・最大200ルートまで学習することができます。

ルート学習結果を消去

ナビに記憶した学習ルートをすべて消去します。

6.4 設定・編集 各種設定—VICS 設定画面について

各種設定—VICS設定画面は(設定)スイッチを押して 設定・編集 → 各種設定 → VICS タブの順にタッチすると表示されます。



- ・ ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が1行ずつスクロールし、▲ または ▼ をタッチすると画面ごとスクロールします。

渋滞学習	渋滞や混雑する地点を季節別・曜日別・時間帯別に記憶して、それらを避けてルート案内されるように設定します。 初期設定値： する ・ 同じ箇所を同じ時間帯に3回以上走行すると学習し記憶されます。
渋滞学習結果を消去	ナビに記憶した渋滞学習結果をすべて消去します。
情報保持時間	受信したVICS情報の保存時間を60分または30分に設定します。ここで設定した時間が経過すると情報は自動的に消去されます。 初期設定値： 60分
情報割込み	ビーコンによる図形・文字情報を画面に割込ませて表示します。 初期設定値： する
割込み時間	ビーコンの情報割込み画面の表示時間を5～20秒まで、5秒刻みで設定します。 初期設定値： 10秒 ・ 「情報割込み」を「する」に設定した場合のみ本項目を設定できます。
オーディオモード画面への割込み	ビーコンによる図形・文字情報を、オーディオ・ビジュアルモード画面に割込ませて表示することができます。 初期設定値： する ・ 「情報割込み」を「する」に設定した場合のみ本項目を設定できます。
プローブ	ナビ側からITSスポットへプローブ情報(走行履歴情報や車両挙動情報など)を送信します。 初期設定値： する ・ DSRC車載器が接続されていない場合は設定できません。 ・ プローブ情報についてはDSRC車載器の取扱説明書をご覧ください。
音声自動読み上げ	VICS音声情報を自動で読み上げます。 初期設定値： する ・ 「英語設定」(111ページ)を「する」に設定していても日本語で読み上げます。 ・ 音声自動読み上げはDSRC車載器の接続が必要です。

6.5 設定・編集 各種設定—AV 設定画面について

各種設定—AV設定画面は(設定)スイッチを押して 設定・編集 → 各種設定 → AV タブの順にタッチすると表示されます。



- ・ ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が1行ずつスクロールし、▲ または ▼ をタッチすると画面ごとスクロールします。

録音ビットレート

SDカードへ録音時の音質を96k/128k/192kの中から選択します。

初期設定値：128k

- ・ 録音ビットレートの数字が大きくなるほど音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

外部接続機器選択

ビデオやゲームなど、外部機器を接続する場合に設定します。設定した表示名がソース名称としてAVソースメニュー画面、ソース別音量調整画面に表示されます。

初期設定値：外部入力

アートワーク自動取得

iPodのファイルにアートワークデータがある場合は再生時に自動的に取得します。

初期設定値：する

- ・ 本設定に関わらず、映像再生時はアートワークデータを取得しません。
- ・ iPod classicとiPod nano 3rd generation接続時は、アートワーク取得時に正常に動作しませんので、「しない」に設定してください。

6.6 設定・編集 各種設定—その他 設定画面について(1/4)

各種設定—その他設定画面は (設定) スイッチを押して **設定・編集** → **各種設定** → **その他** タブの順にタッチすると表示されます。



- ・ ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が1行ずつスクロールし、▲ または ▼ をタッチすると画面ごとスクロールします。

時計表示	時刻の表示形式を12時間制または24時間制に設定します。 初期設定値：24H
ビッグ時計表示	表示する時計のサイズを設定します。 する に設定すると地図画面やオーディオ・映像画面で時計を大きく表示します。 しない に設定した場合は、画面下部インジケータ部分に時計を表示します。 初期設定値：する ・ 「する」設定時に、AV画面(DVD、テレビなど)で一時的に時計表示を消すことができます。時計にタッチすると表示が消え、表示されていた箇所にタッチすると再表示します。表示のON/OFFはソース毎に記憶することができます。ただし、表示を消していてもエンジンキーをOFF/ONするとまた時計が表示されます。
メニュー画面文字サイズ	メニュー画面文字の表示サイズを設定します。 大 に設定すると、AVソースメニュー画面、目的地画面、設定・情報画面で文字を大きく表示します。 初期設定値：標準 ・ 本設定を行うと、「施設文字」(104ページ)も自動的に変更されます(本設定「大」→施設文字「大」、本設定「標準」→施設文字「小」)。
英語設定	目的地メニュー画面や地図スクロール画面などのメニューの一部、および地図上の表示言語とナビ音声案内を英語に設定します。 初期設定値：しない ・ 「する」に設定してもVICS音声読み上げは日本語になります。
アニメーション表示	メニュー画面やAVメイン画面背景等にアニメーションを表示します。また、iPodのアートワークもアニメーション表示を行います。 初期設定値：する

6.6 設定・編集 各種設定—その他 設定画面について(2/4)

本機はGPSからの位置情報と車速パルス信号による計算上の走行距離とを比較し、それらの情報を蓄積・学習することで自車位置を補正しています。地図上の自車位置が実際の位置と大きくずれてしまう場合は、まず距離補正值を初期化して数十キロ程度走行してください。それでもずれてしまう場合には手動で距離補正を行ってください。

- ・通常は距離補正を行う必要はありません。
- ・走行距離は、タイヤ1回転ごとに発生させる車速パルスの数にタイヤの円周を乗じて計算します。このためタイヤを交換したときは自車位置がずれる場合があります。
- ・バッテリーを外すと距離補正值がクリアされます。このため再度使用を開始したときに自車位置が一時的にずれる場合があります。

■ 自動距離補正設定

距離補正を自動で行います。

初期設定値：ON(自動)

■ 自動距離補正值

自動距離補正を開始する値を設定します。

初期設定値：-1.2%

■ 手動距離補正值

自車位置が実際の位置と合うように計算上の走行距離を微調整します。

- ・はじめは0.5～1%程度の調整で様子を見ることをおすすめします。極端な補正は誤動作の原因になる場合があります。

■ 学習結果

距離補正の学習状況です。

■ 初期化

自車位置が大きくずれる場合やタイヤを交換したときは距離補正值を初期化してください。

距離補正

タッチパネル補正

画面のタッチした位置と反応する位置が大きくずれるときは、そのズレを調整してください。

モニター自動 CLOSE

エンジンキーをOFFにするとモニターが自動的に閉じます。

初期設定値：する

イルミネーション連 動設定

ヘッドライト点灯に連動してディスプレイと照光スイッチの明るさを切り替え、画面を見やすくすることができます。

初期設定値：する

夜用明るさ調整

イルミネーション連動設定 を **する** に設定すると夜用の画面の明るさを調整することができます。

初期設定値：0

夜用照光明るさ調整

イルミネーション連動設定 を **する** に設定すると夜用の本体スイッチの明るさを調整することができます。

初期設定値：標準

リアビジョン映像出力

リアビジョンにどの映像を出力するか設定することができます。リアビジョンを接続して「フロントリンク」または「映像のみ」を設定してください。

初期設定値：フロントリンク

リアビジョン プラ ズマクラスター設定

接続するリアビジョンにプラズマクラスター機能がある場合は **あり** に設定してください。

初期設定値：あり

リアビジョン イル ミネーション設定

接続するリアビジョンにイルミネーション切り替え機能がある場合は **あり** に設定してください。「リアビジョン イルミネーション色」(次項目)で色を設定することができます。

初期設定値：あり

リアビジョン イル ミネーション色

リアビジョンのイルミネーション色をホワイト、ブルー、グリーン、アンバー、レッド、パープル、スカイブルーの中から選択できます。OFFにすることもできます。

初期設定値：OFF

ステアリングリモ コン

車種専用セッティング後、ステアリングリモコン設定のみ変更したい場合、本設定を行ってください。

初期設定値：設定しない

- ・選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合は、本設定を行うことはできません。

6.6 設定・編集 各種設定—その他 設定画面について(3/4)

■ 車種タイプ選択

ドライブインフォ画面に表示するクルマのイラストを選択します。

■ エコガイドトーン

ドライブインフォ

エコガイドの警告音を出すかどうかを設定します。

初期設定値：する

■ エコ・標高情報初期化

エコ走行ガイドに表示されるエコ情報と標高情報を初期化します。

地上デジタルTV選択・ミュート・自宅に帰る(地図画面のみ操作可能)・画面OFF・画質調整・交通情報・VICS割込み情報のいずれかの機能を割り当てることができます。

カメラを接続している場合は、フロントカメラ・ルームカメラ・サイドカメラのいずれかを接続してそれぞれの接続設定をすると、**(地デジ)** (オプションキー)にカメラ機能が自動的に割り当てられ、**(地デジ)** (オプションキー)押すたびにカメラの映像が切りかえられます。

オプションキー

初期設定値：地上デジタルTV選択

- フロントカメラとルームカメラまたはフロントカメラとサイドカメラのように2台を接続している場合は、最初に押したときにどちらのカメラを表示するか設定してください。
- (地デジ)** (オプションキー)でフロントカメラを表示させた場合、「フロントカメラ速度連動表示」「フロントカメラ地点連動表示」設定(113ページ)が「する」になっていてもフロントカメラの映像は解除されません。

フロントカメラを接続する場合は **あり** に設定してください。

フロントカメラ接続

初期設定値：なし

- HCE-C212FDシリーズ接続時は自動的に **あり** に設定されます。

フロントカメラのガイドの調整を行うことができます。

(HCE-C212FDシリーズ接続時は **パノラマ トップ** を先に選択してください。コーナービューはガイド調整できません)

フロントカメラガイド調整

画面に表示される **▲ ▼** で調整したいガイドを選び、**↑ ↓ ← →** をタッチして位置を調整します。**OFF** または **ON** をタッチすると選択したガイド線を消したり表示することができます。最後に **セット** をタッチしてください。

- 調整中 **クリア** をタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作を行ってください。

フロントカメラ速度連動表示

速度が一定速度以下になったときに、フロントカメラの映像を自動的に本機に表示します。

初期設定値：しない

フロントカメラ地点連動表示

あらかじめ登録した地点に近づくとき、フロントカメラの映像を自動的に本機に表示します。

初期設定値：しない

- カメラ表示地点の登録については35ページを参照してください。

リアカメラ接続

リアカメラを接続する場合は **あり** に設定してください。

初期設定値：なし

- HCE-C210RDシリーズ接続時は自動的に **あり** に設定されます。

汎用カメラ接続

ルームカメラ・サイドカメラ・リアカメラを接続する場合に、接続するカメラの種類を設定します。

初期設定値：なし

- 「リアカメラ接続」(前項目)が **あり** に設定されている場合、**リアカメラ** に設定することはできません。

リアカメラのガイドの調整を行うことができます。

(HCE-C210RDシリーズ接続時は **パノラマ トップ バック** を先に選択してください。コーナービューはガイド調整できません)

リアカメラガイド調整

画面に表示される **▲ ▼** で調整したいガイドを選び、**↑ ↓ ← →** をタッチして位置を調整します。**OFF** または **ON** をタッチすると選択したガイド線を消したり表示することができます。最後に **セット** をタッチすると調整位置が記録されます。

- 調整中 **クリア** をタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整できません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作してください。
- 「車種専用セッティングをする」(2、119ページ)を設定した後はリアカメラガイド調整は行わないでください。お車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。

6.6 設定・編集 各種設定—その他 設定画面について(4/4)

サイドカメラのガイドの調整を行うことができます。

サイドカメラガイド調整

画面に表示される ▲ ▼ で調整したいガイドを選び、↑ ↓ ← → をタッチして位置を調整します。最後に **セット** をタッチすると調整位置が記録されます。

- 調整中 **クリア** をタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整できません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作してください。
- 「車種専用セッティングをする」(2、119ページ)を設定した後は、サイドカメラガイド調整は行わないでください。お車の状態により、ガイドの微調整が必要な場合は調整を行ってください。

サイドカメラ地点連動表示

あらかじめ登録した地点に近づくと、サイドカメラの映像を自動的に本機に表示します。

初期設定値：しない

- カメラ表示地点の登録については35ページを参照してください。

自車位置修正

地図上の自車マークの位置と向きが実際とは異なっている場合は手動で修正することができます。

自車位置修正 をタッチしたら自車マークが実際の位置にくるまで地図をスクロールし、**📍** または **📍** をタッチして向きを調整します。**登録** をタッチすると自車位置がセットされます。

スキン変更

AVメイン画面やドライブインフォ画面などの画面のフレームと背景の色を変更します。

■ フレーム

画面のフレームをクリア・ウッド・カーボン・メタルの中から選択できます。

初期設定値：クリア

■ 背景

画面の背景をホワイト・ライトブルー・レッド・アンバーの中から選択できます。

初期設定値：ホワイト

セキュリティ設定

セキュリティコードを設定します。バッテリーを外して再度使用を開始したときに、設定したセキュリティコードを入力しないと本機を使用することができなくなります。

する にタッチした後セキュリティコードを入力し、**完了** をタッチします。

初期設定値：しない

全設定項目初期化

本機で設定したすべての項目の設定値を初期化します。DVD/CDディスクや音楽用SDカード、USBメモリーを取り出してから操作を行ってください。

- 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

全情報初期化

登録地点や設定項目の設定値などすべての情報を初期設定値にします。DVD/CDディスクや音楽用SDカード、USBメモリーを取り出してから操作を行ってください。

- 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

6.7 設定・編集 音質調整—基本設定 画面について(1/2)

音質調整画面—基本設定画面は **(設定)** スイッチを押して **設定・編集** → **音質調整** → **基本設定** タブの順にタッチすると表示されます。



①サブウーファーレベル

「サブウーファー設定」(118ページ)でサブウーファーが「ON」に設定した場合のみ、出力レベルの調整が表示され、設定することができます。

設定値 : 0 ~ 15 (初期設定値は「0」)

車種専用セッティングで設定した後に、使用する条件(乗車人数など)によって車室内の音響を変更することができます。

登録されている車種名をリストから選択する方法と、**【その他車種】**では車内装備にあわせて、車種・ドライバーズシートの位置・フロントスピーカーのサイズ・ツイーターの有無・リアスピーカーの設置位置・サブウーファーの有無・シートの材質を順に選択し設定する方法があります。



・本設定は詳細設定 1 画面・詳細設定 2 画面からも操作することができます。

- ・車種専用サウンドの設定はMedia Xpander・Parametric EQ・T.CORR・X-OVER・サブウーファー設定の項目に反映され、BASS MAX EQの設定が解除されます。
- ・ディフュージョンがON のときは、操作を受けつけません。
- ・登録されている車種は、メーカー名→車種の順に選んでください。
- ・「車種専用セッティング中です」と表示されているときは電源をOFFにしないでください。
- ・車種専用設定中は、電話機能が使用できない場合があります。
- ・車種専用設定はステレオシステムの設定データです。サブウーファーやセンタースピーカーを接続している場合は、それぞれ設定を行ってください。
- ・お車のシートに皮製の生地が使われている場合は**レザー**に、クロス地の場合は**モケット**に、皮とクロスの両方を使用している場合は**ハーフレザー**にタッチしてください。
- ・スピーカーのサイズとシートタイプは必ず選択してください。
- ・フロントスピーカーのサイズ・ツイーターの有無・シートタイプについてご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

6.7 設定・編集 音質調整—基本設定 画面について(2/2)

映画などの音声を聞き取りやすくしたり、CDの音楽をメリハリのある音で再生するなど、音声や楽器の音をメディアごとに際立たせて再生することができます(Media Xpander)。

初期設定値：OFF

メディア	レベル			
	OFF	1	2	3
DVD	OFF	MOVIE	MOVIE	DVD MUSIC
CD	OFF			
COMPRESS MEDIA※	OFF			
FM	OFF			
AM	OFF	—	—	—
外部入力/外部ビデオ/ゲーム/ウォークマン®	OFF	圧縮オーディオ	MUSIC	MOVIE
地上デジタルテレビ※	OFF			
BT AUDIO※	OFF			



- MP3、WMA、AAC、iPod、SD、USBは「COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。
- DVDビデオ、DVD-VRは「DVD」に割り当てられます。
- 初期設定値はOFFになります。
- MXレベルは1→2→3の順で効果が大きくなります。
- AMラジオは「ON」に設定できません。
- デフィートがONのときは操作を受けつけません。
- CD録音中に視聴している音はSDカードに録音したAACであるため、COMPRESS MEDIAに割り当てられます。

※ COMPRESS MEDIA・地上デジタルテレビ・BT AUDIOは、いずれかの設定を変えたと同じMXレベルに設定変更されます。

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、お好みの音質に設定できます。

初期設定値：FLAT

設定値：FLAT、POPS、ROCK、NEWS、JAZZ、ELECTRICAL DANCE、HIP HOP、EASY LISTENING、COUNTRY、CLASSICAL



- デフィートがONのときは操作を受けつけません。
- BASS MAX EQ で各音響特性を選択すると選択したEQカーブがParametric EQへ反映されます。
- 右側画面に表示されているEQカーブはイメージです。

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

BALANCE：L15～R15(初期設定値は「0」)

FADER：R15～F15(初期設定値は「0」)

FAD./BAL.

- 微調整するときは、**▲フロント ▼リア ◀レフト ▶ライト▶** をタッチしてください。
- 初期設定値に戻すには **センター** をタッチします。
- 本設定は詳細設定1画面・詳細設定2画面からも操作することができます。

ONに設定すると、MXをOFF、EQを初期設定状態に戻します。OFFにすると、設定した値に戻ります(初期設定値は「OFF」)。

DEFEAT ON 表示：デフィートがONの時。

DEFEAT OFF 表示：デフィートがOFFの時。

DEFEAT OFF

- デフィートをONに設定すると **車種専用サウンド** **Media Xpander** **BASS MAX EQ** **Parametric EQ** はトーンダウンしてタッチできなくなります。
- 本設定は詳細設定1画面・詳細設定2画面からも操作することができます。

6.8 設定・編集 音質調整—詳細設定1 画面について

音質調整画面—詳細設定1画面は(設定)スイッチを押して 設定・編集 → 音質調整 → 詳細設定1 タブの順にタッチすると表示されます。



Parametric EQ(パラメトリックEQ)は、中心周波数・Q(帯域幅)・レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うことができます。

チャンネル：タッチすることにより1～9までのチャンネルに切りかわります。

- ・ディフェルトがONのときは、操作を受けつけません。
- ・隣り合うチャンネルの周波数を超えて設定することはできません。
- ・Parametric EQ設定時は、BASS MAX EQの設定は解除されます。



T.CORR(タイムコレクション)は音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。**補正時間**または**補正距離**にタッチすることにより補正モードが切りかわります。

補正時間：時間補正值で調整します(単位はms)。

補正距離：リスニングポジションと各スピーカーまでの距離で調整します(単位はcm)。

- ・1ch・9.9msまで、5ch合計20msまで調整することができます。
- ・サブウーファーを「OFF」に設定している場合は、タイムコレクションの設定画面に表示されません。



X-OVER(クロスオーバー)は、HPF(ハイパスフィルター)とLPF(ローパスフィルター)を設定し、カットオフ周波数(クロスオーバーポイント)を20Hz～200Hzから選び、スロープ値を0・6・12・18・24 dB/octから選ぶことで好みの音響空間を再現することができます。詳しくは159ページを参照してください。

チャンネル：タッチすることにより、フロントHPF → リアHPF → サブウーファーLPF → フロントHPFの順にチャンネルが切りかわります。

- ・サブウーファーがOFFモードのときは、サブウーファーのX-OVERは設定できません。
- ・接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。

- ・ **プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチし続けると調整した設定値を記憶し、タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。
- ・ **フラット** をタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。

6.9 設定・編集 音質調整—詳細設定2 画面について

音質調整画面—詳細設定2画面は (設定) スイッチを押して 設定・編集 → 音質調整 → 詳細設定2 タブの順にタッチすると表示されます。



サブウーファーのON/OFFを設定します。
初期設定値：OFF
「ON」に設定した場合は、PHASEでお好みの位相を設定することができます (初期設定値は「0°」)。



ソース毎に基準となる音量レベルを調整します (初期設定値はいずれも「0ステップ」)。

- CD録音中に視聴している音は「圧縮AUDIO」で調整します。
- ウォークマン®は必ず14ステップに設定してください。

6.10 設定・編集 車種専用セッティング 画面について

車種別設定画面は **(設定)** スイッチを押して **車種専用セッティング** の順にタッチすると表示されます。



- VIE-X009は、あらかじめお客様のお車に合わせて設定されていますので、あらためて車種専用セッティングを設定する必要はありません。但し、全設定項目初期化/全情報初期化(114ページ)を行った場合には、下記手順に従い車種専用セッティングを再設定してください。

リストから車種を選ぶだけで、音質・画質・背景などの項目を車種に合わせて設定することができます。車種はプリセットされているデータと、アルパインホームページからデータをダウンロードしSDカード・USBメモリー経由で設定する方法があります。

リストから選択：代表車種の車種データが登録されています。以下手順で、設定を行ってください。

- 1 **(設定)** スイッチ ▶ **車種専用セッティング** ▶ **車種選択** ▶ **リストから選択**
- 2 メーカーを選択 ▶ **決定** ▶ 車種を選択 ▶ **決定**
- 3 接続機器の設定 ▶ **決定**
 - リアカメラ接続※1：
カメラの製品名、または **カメラあり** **カメラなし**
 - サイドカメラ接続※1：
カメラの製品名、または **カメラなし**
 - サブウーファー： **あり** または **なし**
 - ステアリングリモコン※2：
設定する または **設定しない**
- 4 内容を確認 ▶ **決定** ▶ メッセージを確認 ▶ **閉じる**

※1 汎用カメラを接続する場合は「カメラあり」に設定してください。選択した車種にサイドカメラ設定がない場合、またリアカメラ接続を「カメラあり」に設定した場合は、サイドカメラ接続設定を行うことはできません。

※2 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合は、ステアリングリモコン設定画面は表示されません。

メディア選択：車種データの読み込み先を選択します。メディアを選択すると確認メッセージが表示され、**はい** を選択すると本機に車種データが設定されます。

• 車種別設定は下記の内容を登録します。

- 車種専用サウンド(音響空間の設定)
- 画質調整
- 画面背景
- 車種イラスト
- リアカメラ接続・ガイド線・コーション位置設定
- 汎用カメラ接続設定
- サイドカメラガイド線設定
- 車両情報(車種/サイズ)
- ステアリングリモコン設定
- 車種を選択、または車種データを読み込むとカメラ設定画面が表示されます。続けて設定を行ってください。
- 車種データをすでに読み込んでいて登録しなおす場合は **読み込み済の車種データ** を選択します。



車種選択



オープニング画像

オープニング専用データをSDカード・USBメモリー経由で設定することができます。

メディア選択：データの読み込み先を選択します。メディアを選択すると確認メッセージが表示され、**はい** を選択すると本機に設定されます。

- オープニング画像は本機専用データです。
- 追加可能なデータは1点です。すでにデータが読み込まれている場合は古いデータは削除されます。
- 追加したデータを選択している場合は新たにデータを読み込むことができません。アルパインに戻してから行ってください。

6.11 設定・編集 メディア編集 画面について

メディア編集画面は (設定) スイッチを押して **設定・編集** → **メディア編集** の順にタッチすると表示されます。



本機で設定した登録地点をSDカード・USBメモリーにコピーして保存することができます。



- 登録地点保存用のフォルダがSDカード・USBメモリー内に自動的に作成されます。
フォルダ名: NAVDATDR フォルダ - POIX フォルダ
地点ファイル拡張子: .poix
- 作成したファイルの削除とファイル名の変更はパソコンから行うことができます。ただし拡張子 .poix を変更するとファイルが認識されなくなりますので、拡張子の変更は行わないでください。なおファイル名に使用できる文字は半角英数字のみになります。
- 録音用SDカードに地点を保存することはできません。
- メディア内に同一登録地点が存在する場合は、上書き保存されます。
- 登録地点をメディアへコピーしている途中で他の画面に移動した場合、コピー処理はキャンセルされます。
- 本機で登録した登録地点はアルパインナビゲーションNVE-N555シリーズやNVA-HD55シリーズで使用することはできません。



SDカード・USBメモリーに保存した地点を本機 の地図用SDカードにコピーすることができます。

- 本機の登録地点の最大数(700か所)を超えた場合は、地点のコピーは行われません。
- 本機とメディアに同一地点のデータが存在した場合は、その地点のデータはコピーされません。

メディア情報

SDカード・USBメモリーの残容量を確認することができます。

- 残容量を確認することができるのは、地点保存用SDカードのみになります。

SD初期化

SDカード挿入口に挿入されているSDカードを初期化して、本機でできるようにします。
録音用SDカードを作成する場合や、何らかの原因によりSDカードが正常に動作しなくなった場合または本機でSDカードを認識しない場合は、本機でSDカードの初期化を行ってください。

- 初期化中は、絶対にエンジンを切ったり、SDカードを取り出したりしないでください。SDカード内のデータが破損する場合があります。

録音用SDカード初期化 :
SDカードを初期化し、録音用SDカードを作成します。

地点保存用SDカード初期化 :
SDカードを初期化し、地点保存等に使用するSDカードを作成します。

6.12 設定・編集 画質調整 画面について

画質調整画面は **(設定)** スイッチを押して **設定・編集** → **画質調整** の順にタッチすると表示されます。

画質調整は、すべての画面(映像ソース画面・カメラ画像以外)、オーディオ(映像ソース)画面、カメラ(接続設定がされているカメラ画像)によって調整できる項目が変わります。本項ではオーディオ(映像ソース)画面を例に説明しています。

画面例: <オーディオ>(映像ソース)



①画面サイズ	ワイド : 標準映像を水平方向に均等に広げ、画面いっぱいに表示します。 シネマ : 標準映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。画面の上下が少しカットされます。 ノーマル : 通常のテレビ放送の比率(4:3)で表示します。映像は中央に映ります。	・オーディオ(映像ソース)画面のみで調整ができます。
②プリセット	オーディオ(映像ソース)画面の調整内容を記憶・呼び出しができます。 プリセット1 または プリセット2 をタッチし続けると内容を保存します。	・オーディオ(映像ソース)画面のみで調整ができます。
ライブコントラスト	画面の明るすぎる部分や暗すぎる部分の明るさを自動的に調整し、自然な明るさに補正します。 設定値 : OFF/弱/強(初期設定値は「弱」)	・オーディオ(映像ソース)画面、カメラ画面のみで調整ができます。
VISUAL EQ	設定値 : フラット(OFF)/ナイトモード/ソフト/シャープネス/ハイコントラスト フラット(OFF) : 初期設定時設定 ナイトモード : 暗いシーンが中心の映画に最適 ソフト : CGやアニメーションの映画に最適 シャープネス : 映像がくっきりしていない古い映画に最適 ハイコントラスト : 最新の映画に最適	・オーディオ(映像ソース)画面のみで調整ができます。 ・お好みで映像の明るさや色の濃さなどを調整した場合はカスタムと表示されます。
明るさ	設定値 : -15 ~ +15(初期設定値は「0」) 最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。	・すべての画面、オーディオ(映像ソース)画面、カメラ画面で調整ができます。
色の濃さ	設定値 : -15 ~ +15(初期設定値は「0」) 最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。	・オーディオ(映像ソース)画面、カメラ画面で調整ができます。
コントラスト	設定値 : -15 ~ +15(初期設定値は「0」) 最大値時は「HIGH」、最小値時は「LOW」と表示します。	・すべての画面、オーディオ(映像ソース)画面、カメラ画面で調整ができます。
シャープネス	設定値 : -5 ~ +5(初期設定値は「0」) 最大値時は「HARD」、最小値時は「SOFT」と表示します。	・オーディオ(映像ソース)画面のみで調整ができます。

・カメラの画質調整については134ページを参照願います。

6.13 設定・編集 音量調整 画面について

音量調整画面は (設定) スイッチを押して 設定・編集 → 音量調整 の順にタッチすると表示されます。



操作音

スイッチを押した時の操作音の音量を7段階で設定します。操作音をOFFにすることもできます。
初期設定値：4

ガイド音声

ナビゲーション案内音声の音量を7段階で設定します。音声をOFFにすることもできます。
初期設定値：4

着信音量

電話着信音の音量を11段階で設定できます。
初期設定値：4

受話音量

受話音量を11段階で設定できます。
初期設定値：4

送話音量

送話音量を11段階で設定できます。
初期設定値：6

6.14 設定・編集 電話設定 画面について

電話設定画面は (設定) スイッチを押して 設定・編集 → 電話設定 の順にタッチすると表示されます。



着信全画面割込み	電話がかかってきたときに、着信全画面を自動で表示するかどうか設定します。 初期設定値： する	・「する」に設定していても、カメラ画面表示中は着信メッセージ表示となります。
着信・通話画面情報表示	着信時または通話時に、相手の電話番号や名前などを画面に表示するかどうか設定します。 初期設定値： する	
自動着信	電話がかかってきた時に、自動的に電話を受けるとどうか設定します。 初期設定値： しない	
自動着信時間	自動着信設定時に何秒経過したら電話を受けるとかを5秒刻み、5秒～20秒の範囲で設定することができます。 初期設定値： 10秒	・「自動着信」(前項目)を「する」に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。

6.15 設定・編集 BLUETOOTH設定 画面について

BLUETOOTH設定画面は (設定) スイッチを押して **設定・編集** → **Bluetooth設定** の順にタッチすると表示されます。



①変更	BLUETOOTH機器設定画面を表示します。	・ 設定変更する場合はBLUETOOTH接続を解除する必要があります。
②ハンズフリー	接続している携帯電話の名称と接続状況、通信接続先を表示します。 再接続 / 接続解除 をタッチすると接続状態が切りかわります。	
③オーディオ	接続しているBT AUDIO機器の名称と接続状況を表示します。 再接続 / 接続解除 をタッチすると接続状態が切りかわります。 また、自動接続をするかどうかを設定します。 初期設定値：しない	・ 「自動接続」を する に設定した場合、AVソースにBT AUDIOを選択すると自動的にBT AUDIO機器に接続します。前回接続したBLUETOOTH機器の場合のみ接続することができます。
自機情報編集	自機名称とパスキーを設定します。 自機名称初期設定値：ALPINE パスキー初期設定値：1234	・ 自機名称の最大入力文字数は英数記号合計32文字です。

6.16 設定・編集 BLUETOOTH機器設定 画面について

BLUETOOTH機器設定画面は **Bluetooth設定** 画面で **変更** をタッチすると表示されます。



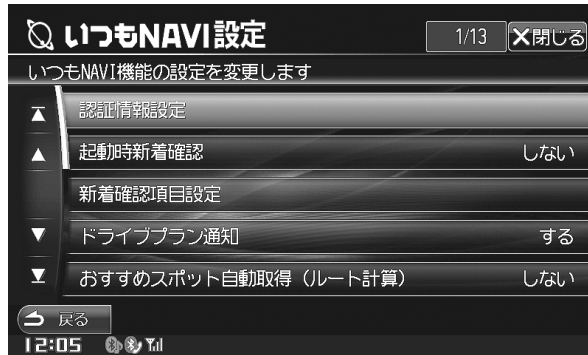
消去	登録BLUETOOTH機器を消去します。	
詳細情報	登録BLUETOOTH機器の詳細情報(機器名称・機器アドレス・機器種別・利用可能プロファイル)を表示します。	・ 暗証番号設定 をタッチすると暗証番号を登録できます。 ・ 暗証番号消去 をタッチすると暗証番号入力後に消去します。 ・ 機器情報取得 をタッチすると機器名称・機器種別・利用可能プロファイルを再取得します。 ・ 暗証番号は4桁～8桁の数字を登録します。 ・ 暗証番号を設定すると電話帳などを参照するときには暗証番号の入力が必要です。 ・ 暗証番号を忘れた場合は登録したBLUETOOTH機器を消去して再度登録してください。
通信接続先	データ通信の接続先の登録と変更をします。タッチをすると接続先リストが表示されるので携帯電話と契約内容にあった接続先を選択してください。通信接続先を設定すると通信接続先設定済みアイコンが表示されます。	・ 通信接続先リストは代表的な接続先が5件登録されています。通信接続先は合計で10件登録できます。 ・ 通信接続先を新規で登録する場合は接続先名称・電話番号・ユーザーID・パスワード・通信方式(回線交換またはバケット)・DNS設定(自動もしくは手動)を入力する必要があります。 ・ 通信接続先を初期設定時に戻す場合は、通信接続先リスト画面の 初期値 をタッチしてください。接続情報が初期化され通信接続先登録も解除されます。
接続機器変更	本機から接続機器を変更します。登録している機器をリストから選択し 接続機器変更 をタッチします。接続するサービス(ハンズフリー・オーディオ・ハンズフリー+オーディオ)から選択し変更します。	
機器登録	本機に接続するBLUETOOTH機器を登録します。接続する機器のBLUETOOTHバージョンにより接続方法が異なります。本機の画面に表示される案内に従って接続設定をしてください。	・ 未登録を選択しているときは 機器登録 のみ選択できます。

6.17 設定・編集 「いつもNAVI」設定 画面について(1/2)

「いつもNAVI」設定画面は (設定) スイッチを押して 設定・編集 → いつもNAVI の順にタッチすると表示されます。



- 「いつもNAVI」設定を行うには、あらかじめ電話設定・通信設定・認証情報の入力が行われていることが必要です。「携帯電話を接続する」(53ページ)、「いつもNAVIの準備」(59ページ)を参照してください。



認証情報設定	入力した「いつもNAVI」認証情報を変更します。最初に本機に認証情報を入力する時は情報画面から行います (59ページ)。	・ 完了 タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。 ・ IDとパスワードは、ユーザーズルームで設定したE-Mail/パスワードと同じです。
起動時新着確認	その日最初の本機起動時に、自動で新着情報の確認をするかどうか設定することができます。 初期設定値： しない	・ する に設定すると、新着情報があれば自動でダウンロードします。
新着確認項目設定	サーバーに接続して新着情報を確認する際に、どの項目について確認を行うかを設定します。お知らせ・特集とドライブプランについて設定することができます。 初期設定値： する	・ する に設定すると、新着情報があれば自動でダウンロードします。
ドライブプラン通知	アルパインホームページでドライブプランを登録する際に実行日を設定しておく、と、本機の電源をONにしたときに実行可能なドライブプランがあれば通知します。 初期設定値： する	
おすすめスポット自動取得 (ルート計算)	目的地を検索してルート案内開始時に、自動でおすすめスポットを取得するかどうか設定します。 初期設定値： しない	
おすすめスポット自動取得 (一定時間)	自動でおすすめスポットを取得するかどうか設定します。ルート案内中のみ、ルート周辺地点のおすすめスポットを取得します。 初期設定値： しない	・ する に設定した場合は取得時間の間隔を設定することができます (「おすすめスポット自動取得間隔」127ページ)。

6.17 設定・編集 「いつもNAVI」設定 画面について(2/2)

おすすめスポット 自動取得間隔	おすすめスポットを何分置きに取得するかを10分～90分のうちで10分刻みで設定することができます。「おすすめスポット自動取得(一定時間)」(前項目)が「する」設定時に、設定した時間間隔で自動的におすすめスポットを取得します。 初期設定値：60分	
画像取得	サーバーから情報をダウンロードする時に画像データを取得するかどうか設定します。 初期設定値：する	画像データを取得すると情報量が増えるため、ダウンロード時間・通信料が増加します。
お知らせ・特集表示	お知らせ・特集を地図画面(インジケーター)に表示することができます。 初期設定値：しない	
おすすめスポット 割込み案内	ルート走行中におすすめスポットまでの距離や案内日時を判断して、自動的に案内が割込み表示するよう設定します。 初期設定値：する	
おすすめスポット 割込み時間	割込み画面の表示時間を10秒～25秒の5秒間隔で設定します。 初期設定値：15秒	
おすすめスポット 割込み間隔	おすすめスポット割込み案内が割込む間隔を1分・3分・5分・7分の中から設定します。 初期設定値：7分	おすすめスポットが密集している地域をルート走行すると、連続しておすすめスポットが割込み案内される場合があります。そのような場合は、本設定で割込み間隔の設定を行ってください。
おすすめスポット アイコン表示	取得したおすすめスポットアイコンを地図上に表示するかどうか設定します。 初期設定値：する	

6.18 設定・編集 本機情報の確認

本機情報の確認画面は **設定** スイッチを押して **情報** → **その他** タブの順にタッチすると表示されます。



使用中のプログラムのバージョンやデータベースの情報を確認することができます。



録音用SDカードの総曲数と空き容量および、タイトルデータ(Gracenoteデータベース情報)を確認できます。

- ・ **更新** にタッチするとGracenoteデータベースを最新に更新することができます。Gracenoteデータベース更新には「お客様登録」が必要です。アルパインホームページからGracenoteデータベースファイルをお客様のPCにダウンロードし、SDカードまたはUSBメモリーに保存します。SDカードまたはUSBメモリーを本機に接続し、**更新** をタッチします。
- ・ 更新には最大15分程度かかります。更新中は絶対に電源を切らないでください。



GPS情報画面が表示されます。



GPSアンテナや周辺機器の接続状況、車速パルスなどの信号のON/OFF、距離補正学習やヨーレート学習の学習結果を表示することができます。

- ・ リアカメラは、HCE-C210RDシリーズ/HCE-C500シリーズを接続したときのみ **接続** と表示されます。
- ・ フロントカメラは、HCE-C212FDシリーズ/HCE-C500シリーズを接続したときのみ **接続** と表示されます。
- ・ **システム保存** をタッチするとシステム設定を保存します。電源OFF時に保存される情報ですので、通常はこの機能を使用する必要はありません。 **はい** をタッチすると再起動します。



地図の更新をすることができます。詳しくは47～51ページを参照してください。

7.1 オプション機器 ETC・DSRCについて



かんたん操作ガイド

ETC・DSRC画面は別売のETC車載器またはDSRC車載器を接続し、**(設定)**スイッチを押して **情報** → **ETC** タブ(DSRC車載器接続時は **DSRC** タブ)の順にタッチすると表示されます。



- DSRC車載器とETC車載器は同時に接続することはできません。

< ETC車載器接続の場合 >



< DSRC車載器接続の場合 >



ETCを利用した日時や料金をリスト表示したり、利用したインターチェンジ(IC)名などの詳細情報を確認することができます。

詳細情報：料金の詳細情報が表示されます。

- ETCカードを挿入していないときは利用できません。
- ETCカードより取得できる料金履歴は最大で100件です。100件を超えると古い順に消去されます。
- 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。



ETC車載器またはDSRC車載器に登録されているユーザー情報を確認します。車載器管理番号などのユーザー登録情報が表示されます。



▶ ETCについて

ETC(Electronic Toll Collection System: 有料道路自動料金収受システム) とは、自動車に装備した車載器と料金所に設置したアンテナとの間で無線通信により料金支払いに必要な情報がやりとりされ、ノンストップで自動的に通行料金をお支払いいただけるシステムです。

本機では別売のETC 車載器またはDSRC車載器を接続しETCカードを挿入することにより、料金所の手前でETC 専用レーンの案内を表示するなど、ナビゲーション機能に連動してETC 情報を提供します(31ページ)。

- ETC車載器またはDSRC車載器の取扱説明書も参照してください。

▶ DSRCについて

DSRC(Dedicated Short Range Communication)とは、高度道路交通システム(ITS)で採用されている双方向無線通信技術のひとつです。5.8GHz帯を使用し、数mから数十mでの狭い範囲で双方向通信を行い、通信範囲内では最大4Mbpsの高速通信が可能となっています。既にETCでも利用されており、様々なITSスポット(DSRC)サービスを提供することができます。

本機では別売のDSRC車載器を接続することにより、ITSスポットが設置された箇所(ITSスポット)で、ナビゲーション機能と連動し道路交通情報(VICS情報)などを提供します。

- VICSについては「VICSについて」(41ページ)を参照してください。
- DSRC車載器の取扱説明書も参照してください。
- ITSスポット(DSRC)サービスで提供される情報によっては対応できない場合があります。
- ITSスポット(DSRC)サービスについては、以下のホームページでも確認できます。
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html
国土交通省

7.2 オプション機器 カメラについて(1/5)

本機は別売のフロントカメラ・リアカメラ・サイドカメラ・ルームカメラなどを接続することができます。

- TOPVIEW マルチカメラシステム (HCE-C500 シリーズ) と組み合わせるお客様へ
本機からの操作については HCE-C500 側の取扱説明書を参照してください。また、以下の点に注意ください。
 - カメラのガイド線表示 (距離目安ガイド線) はフロントカメラ・リアカメラ共に必ず **ガイドOFF** に設定してください。
 - HCE-C500 シリーズではカメラ側にガイド線が用意されております。本機側のガイド線を **ガイドON** に設定してしまうとガイド表示の重複など運転操作に支障をきたす原因となります。
- タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。
- 本機起動直後は下記の表示・操作を行うことができません。
 - シフトレバーをバックギア (R) に入れたときのリアカメラガイド表示
 - シフトレバーをバックギア (R) に入れたときのリアカメラ映像パターン切り替え
 - フロントカメラの速度連動表示
 - フロントカメラ/サイドカメラの地点連動表示
- 接続しているカメラ側の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- カメラは障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- フロントカメラで映し出す範囲は限られていますので画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。必ず目視で確認し前方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラーやドアミラーを併用しながら目視で確認し、後方および周囲の安全を十分確保してください。
- 乗車人数や積載量により車両が傾き、画面のリアカメラガイドの示す位置と実際の路面上の距離や障害物との距離は変化します。必ず後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - 凍結したり、すべりやすい路面または雪道。
 - ドアが完全に閉まっていないとき。
 - タイヤチェーン・応急タイヤを使用しているとき。
 - 坂道など平坦でない道。

▶ リアカメラの映像

本機にリアカメラを接続した場合は「リアカメラ接続」を **あり** に設定してください (113 ページ)。また、RCA ケーブルで接続を行う場合は「汎用カメラ接続」を **リアカメラ** に設定してください (113 ページ)。

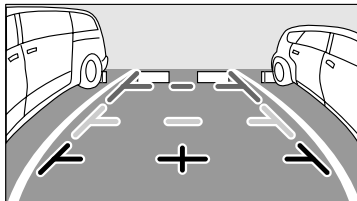
後方の映像はシフトレバーをバックギア (R) に入れると自動的に映し出されます。解除するにはシフトレバーをバックギア (R) 以外に入れるか、  以外の本体スイッチを押してください。再度リアカメラ映像を表示するときはシフトレバーをバックギア (R) に入れ直してください。

- HCE-C210RD シリーズ接続時には自動的に「リアカメラ接続」が **あり** に設定されます。
- 「汎用カメラ接続」を **リアカメラ** に設定すると **ルームカメラ** や **サイドカメラ** は使用できません。

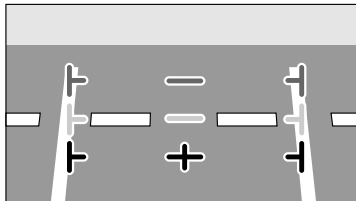
リアカメラガイド線について

映像パターンによってガイド線の表示のしかたが異なります。

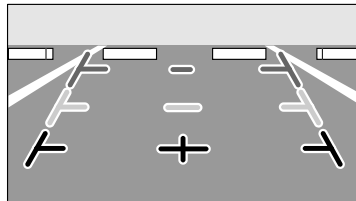
＜パノラマビュー表示例＞



＜トップビュー表示例＞



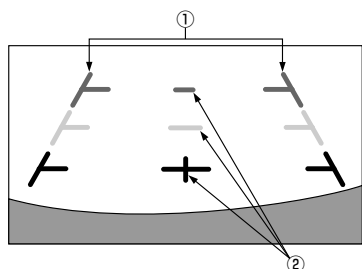
＜バックビュー表示例＞



- 映像パターンが「コーナー」に設定されている場合は、ガイド線は表示されません。
- ガイド線の調整は「リアカメラガイド調整」(113 ページ)を参照してください。
- 「車種専用セッティングをする」(2、119 ページ)を設定した後はリアカメラガイド調整は行わないでください。お車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合は調整を行ってください。

7.2 オプション機器 カメラについて(2/5)

■ ガイド線の見かた



① 車幅延長マーク(手前より赤色、黄色、緑色)

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

② 距離目安マーク

車の後方(バンパー後端から)の距離を示します。

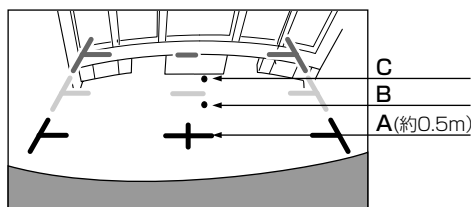
- ・ ハンドル操作とは連動しません。
- ・ それぞれの中心位置で、約0.5m先(赤色)・約1m先(黄色)/約2m先(緑色)を示します。

- ・ 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ・ カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ・ 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ・ 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

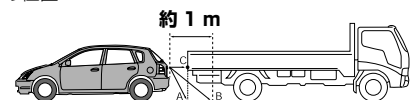
■ 距離目安マーク

距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

<画面>



<A,B,Cの位置>



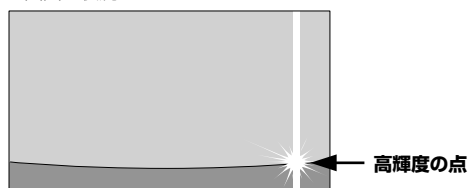
画面では距離目安マークにより約1m先(Bの位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退するとぶつかります。

画面ではA・B・Cの順に近く見えますが実際の距離はAとCは同じ距離で、BはAやCより遠い距離にあります。

- ・ 車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し込まれた場合は実際の距離感とは異なります。
- ・ 次のようなときは画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
 - ・ 暗いところ。(夜間など)
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
 - ・ カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - ・ CCDカメラ接続時は高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映るとCCDカメラ特有のスミヤ現象*が発生することがあります。

*スミヤ現象とは高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映ると右図のようにその点の上下(縦方向)に尾を引く現象です。

<画面の状況>

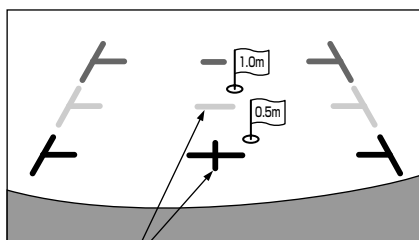


画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)。

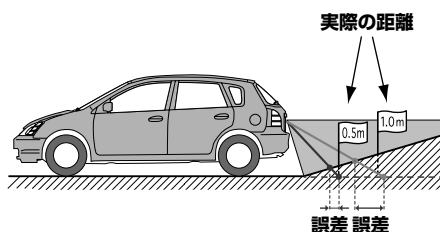
■ 急な上り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



距離目安マーク

<A,B,Cの位置>

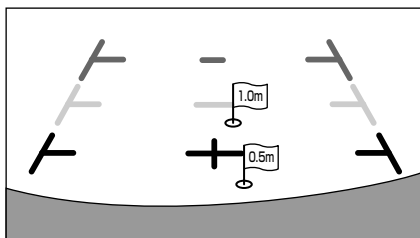


距離目安マークは平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。例えば上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

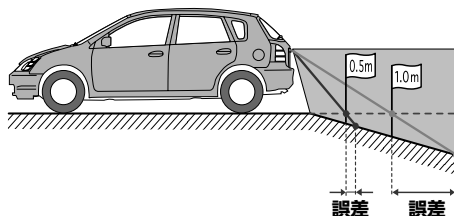
7.2 オプション機器 カメラについて(3/5)

■ 急な下り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、**実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。**

そのため下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ HCE-C210RDシリーズの映像パターンを切りかえる

HCE-C210RDシリーズ接続時は、本機から映像パターンの切り換え操作を行うことができます。

カメラ映像表示中に画面をタッチし、**パノラマ** **コーナー** **トップ** **バック** のいずれかをタッチすると映像パターンが切りかわります。

・映像パターンについて詳しくは、HCE-C210RDシリーズの取扱説明書を参照してください。

▶ フロントカメラの映像

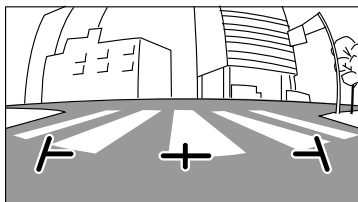
「フロントカメラ接続」を **あり** に設定してください(113ページ参照)。**地デジ** (オプションキー)を押すと映像が表示されます。

- ・フロントカメラをルームカメラまたはサイドカメラと同時に接続している場合は、**地デジ** (オプションキー)を2秒以上押して、**地デジ** (オプションキー)で起動させるカメラを選択してください。
- ・**×閉じる** をタッチする、または **地デジ** (オプションキー)を押すと元の画面に戻ります。または **▲** **△** **▽** 以外の本体スイッチを押すとフロントカメラ画像は解除されます。
- ・HCE-C212FDシリーズ接続時には自動的に「フロントカメラ接続」が **あり** に設定されます。

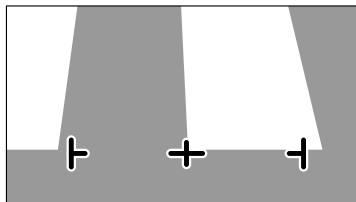
フロントカメラガイド線について

映像パターンによってガイド線の表示のしかたが異なります。

<パノラマビュー表示例>



<トップビュー表示例>



- ・映像パターンが「コーナー」に設定されている場合はガイド線は表示されません。
- ・ガイド線の調整は「フロントカメラガイド調整」(113ページ)を参照してください。

■ ガイド線の見かた



① 車幅マーク

車幅の目安を示します。

- ・ハンドル操作とは連動しません。
- ・中心位置で約0.5m先を示します。

- ・車や路面の状況で写る範囲が異なることがあります。
- ・カメラに写る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは写りません。
- ・映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ・車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

7.2 オプション機器 カメラについて(4/5)

■ 車の速度と連動して表示する

車が減速し停止前(8km/hくらい)になると、自動的にフロントカメラの映像が本機に表示されます(「フロントカメラ速度連動表示」(113ページ)が **する** に設定されている場合)。

■ 地点を登録してカメラ映像を表示する

あらかじめフロントカメラの映像を表示したい地点を登録しておく、その地点では自動的にフロントカメラの映像が本機に表示されます(「フロントカメラ地点連動表示」(113ページ)が **する** に設定されている場合)。

■ HCE-C212FDシリーズの映像パターンを切りかえる

HCE-C212FDシリーズ接続時は本機から映像パターンの切りかえ操作を行うことができます。

カメラ映像表示中に画面をタッチし、**パノラマ** **コーナー** **トップ** のいずれかをタッチすると映像パターンが切りかわります。

- ・映像パターンについて詳しくはHCE-C212FDシリーズの取扱説明書を参照してください。

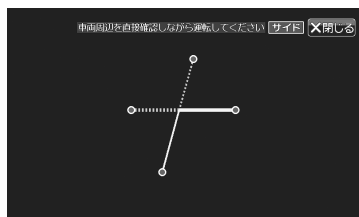
▶ サイドカメラの映像

サイドカメラを接続するときは「汎用カメラ接続」を **サイドカメラ** に設定してください(113ページ)。カメラの映像は **地デジ** (オプションキー)を押すと表示されます。

- ・サイドカメラをフロントカメラと同時に接続している場合は、**地デジ** (オプションキー)を2秒以上押して、**地デジ** (オプションキー)で表示させるカメラを選択してください。
- ・**×閉じる** をタッチする、または **地デジ** (オプションキー)を押すと元の画面に戻ります。または **▲** **△** **▼** 以外の本体スイッチを押すとサイドカメラ画像は解除されます。

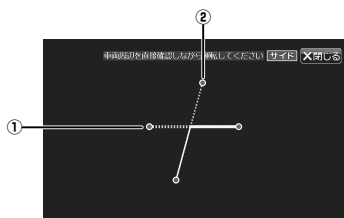
サイドカメラガイド線について

<表示例>



- ・ガイド線の調整は「サイドカメラガイド調整」(114ページ)を参照してください。
- ・「車種専用セッティングをする」(2、119ページ)を設定した後はサイドカメラガイド調整は行わないでください。お車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。

■ ガイド線の見かた



- ① 車両左右:約15cmの距離目安ガイド
- ② 車両前方:約30cmの距離目安ガイド

- ・車や路面の状況で写る範囲が異なります。
- ・映像は実際の色合いと異なる場合があります。

■ 地点を登録してカメラ映像を表示する

あらかじめサイドカメラの映像を表示したい地点を登録しておく、その地点では自動的にサイドカメラの映像が本機に表示されます(「サイドカメラ地点連動表示」(114ページ)が **する** に設定されている場合)。

▶ ルームカメラの映像

ルームカメラを接続するときは「汎用カメラ接続」を **ルームカメラ** に設定してください(113ページ)。カメラの映像は **地デジ** (オプションキー)を押すと表示されます。

- ・ルームカメラをフロントカメラと同時に接続している場合は、**地デジ** (オプションキー)を2秒以上押して、**地デジ** (オプションキー)で表示させるカメラを選択してください。

7.2 オプション機器 カメラについて(5/5)

▶ カメラ画像の調整

■ カメラ画質を調整する

カメラ映像表示中に画面をタッチし、**画質調整** をタッチすると画質調整画面が表示されます。各項目の **設定** をタッチし調整します。

ライブコントラスト	映像の表示輝度をOFF・弱・強の中から選択します。周囲の明るさに応じて画像の明暗を自動的に調整します。 初期設定値：弱
明るさ	映像の明るさを－15(MIN)～＋15(MAX)の間で調整します。 初期設定値：0
色の濃さ	映像の色の濃さを－15(MIN)～＋15(MAX)の間で調整します。 初期設定値：0
コントラスト	映像コントラストを－15(LOW)～＋15(HIGH)の間で調整します。 初期設定値：0

■ ガイド表示のON/OFF

カメラ映像表示中に画面をタッチし **画質調整** をタッチすると画質調整画面が表示されます。フロントカメラ・リアカメラ・サイドカメラの場合 **ガイドOFF** をタッチするとすべてのガイド表示が消えます。再び **ガイドON** をタッチするとガイドが表示されます。

フロントカメラ・リアカメラの個別のガイド表示・非表示を切りかえるときは113ページを参照してください。

・TOPVIEWマルチカメラシステム(HCE-C500シリーズ)と組み合わせの場合、必ず **ガイドOFF** に設定してください。

・ルームカメラでは、ガイド表示ON／OFF設定はできません。

■ コーション(画面に表示される注意文)表示位置の調整

カメラ映像表示中に画面をタッチし、**画質調整** をタッチすると画質調整画面が表示されます。 **コーション↑** または **コーション↓** をタッチすると表示位置が変わります。

7.3 オプション機器 リアビジョンについて

リアビジョン画面は (MODE) スイッチを押して **リアビジョン** をタッチすると表示されます。



- ・ 本機の外部入力へDVD再生機器を接続しコピーガード情報のあるDVDを再生した場合、リアビジョンへの映像出力は行われず、リアビジョンは黒画面表示のままとなりますが故障ではありません。このような状態になってしまった場合は、本機のAVソースを切りかえて解除してください。解除しないまま外部入力に機器を接続し映像を再生しても、リアビジョンが黒画面表示となる場合があります。

①イルミネーション色

リアビジョンのイルミネーション色を、ホワイト、ブルー、グリーン、アンバー、レッド、パープル、スカイブルーから選ぶことができます。OFFにすることもできます。

- ・ イルミネーション色は、イルミネーション色切換機能つきリアビジョン接続時に操作することができます。「リアビジョン イルミネーション設定」(112ページ)を **あり** に設定してください。
- ・ 設定画面からも操作することができます(「リアビジョン イルミネーション色」112ページ)。

運転切換/切

リアビジョンのプラズマクラスター機能を操作します。タッチすることにより「弱」→「強」→「OFF」に風量設定が切りかわります。

- ・ 「リアビジョン プラズマクラスター設定」(112ページ)が **あり** 設定時に表示されます。
- ・ 設定した風量はインジケーターに表示されます。

フロントリンク

映像のみ

タッチすることにより、リアビジョンへの映像出力設定を切りかえます。

「フロントリンク」設定時は本機に表示されている映像がリアビジョンに出力され、「映像のみ」設定時は映像ソースのみ出力されます。

- ・ 「フロントリンク」設定時、交差点拡大図や電話着信画面などの割り込み表示は、リアビジョンに表示されません。
- ・ 「映像のみ」に設定されている場合、リアビジョンに出力されるソースは以下の通りです。
 - ・ DVDビデオ
 - ・ DVD-VR
 - ・ iPod/iPhone(ビデオファイル再生時)
 - ・ ウォークマン®
 - ・ 地上デジタルテレビ
 - ・ 外部機器
- ・ 上記映像ソース以外は壁紙が表示されます。
- ・ リアビジョンがフロントリンク機能に対応していない場合は本設定を行うことはできません。
- ・ 設定画面からも操作することができます(「リアビジョン映像出力」112ページ)。

前席のみ

前席のみ : フロントスピーカーのみ音声を出力します。後席でお子さんが寝ているとき等に使用してください。

前後座席

後席のみ : リアスピーカー / サブウーファのみ音声を出力します。後席モニターで視聴中のソースを前席では聞かないときに使用してください。

後席のみ

前後座席 : 設定されているすべてのスピーカーから出力されます。

- ・ **前席のみ** または **後席のみ** を選択中は音質調整操作を行うことはできません。また設定した音質調整は無効になります。音質調整操作については「音質調整」(115ページ)を参照してください。
- ・ **後席のみ** に設定した場合でもナビ音声案内・電話・操作音はフロントスピーカーから出力されます。

前席優先

後席優先

タイムコレクション(158ページ)の状態を表し、車種専用セッティングを設定すると表示されます。

通常は運転席を中心とした **前席優先** に設定されています。リスニングポジションを後部座席にすると **後席優先** に設定します。

- ・ サウンドを **前後座席** に設定している場合のみ、本設定を行うことができます。
- ・ **前席優先** は、運転席に最適な設定値になっています。

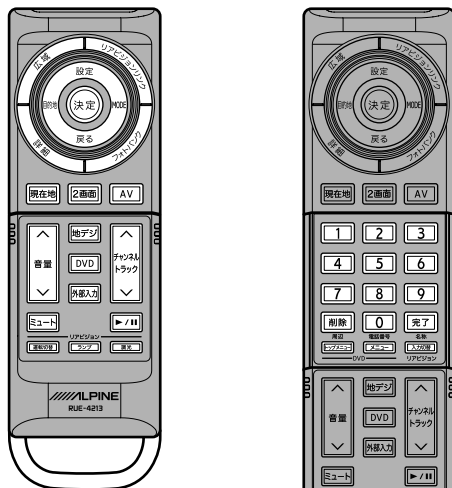
7.4 オプション機器 リモコン(RUE-4213)の使い方(1/2)

別売リモコンRUE-4213で、走行中でもリアビジョン側で本機を操作できます。



アドバイス

- 本機を直接リモコン操作することはできません。



ジョイスティック	画面に表示される項目を選びます。 地図の移動を行います。押し続けると高速でスクロールします。押し込むことで最速でスクロールします。
決定	選択した項目を決定します。 スクロールした地図の地点を決定します。
設定	設定・情報画面を表示します。
MODE	AVソースを切りかえます。 長押しすると瞬時に音量が下がります。再度長押しすると元の音量に戻ります。
戻る	一つ前の画面に戻ります。 地図表示画面時のみ :押し続けると自宅地点を表示します。
目的地	目的地画面を呼び出します(地図画面または2画面AV+Navi表示中のみ)。
リアビジョンリンク	押すごとにリアビジョン映像出力設定を切りかえます。
フォトバンク	フォトバンク画面を表示します。
広域	広い範囲の地図を表示します。 リスト画面ではリストを5件ずつ戻します。
詳細	狭い範囲の地図を表示します。 リスト画面ではリストを5件ずつ送ります。
現在地	現在地画面を表示します。 ・現在地画面では音声案内を出力し(ルート案内中のみ)、路線名/現在地名の表示切りかえを行います。長押しすると路線名/現在地名の表示切りかえのみを行います。
2画面	押すごとにマルチゲート画面 → 2画面AV+Naviを切りかえます。
AV	AVソース画面に切りかえます。長押しするとAVソースをOFFにします。
音量ハ	音量が大きくなります。
音量V	音量が小さくなります。
チャンネルトラックハ (AV操作のみ)	テレビ・ラジオ :プリセットが1つずつアップします。押し続けると連続して変化します。 DVD :映像の頭出しをします。押し続けると早送りをします。 テレビ・ラジオ以外 :曲の頭出しをします。押し続けると早送りをします。

7.4 オプション機器 リモコン(RUE-4213)の使い方(2/2)

チャンネル トラック▼ (AV操作のみ)	テレビ・ラジオ: プリセットが1つずつダウンします。押し続けると連続して変化します。 DVD: 映像の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。 テレビ・ラジオ以外: 曲の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。
地デジ	ソースをテレビに切りかえます。
DVD	ソースをDVD/CDに切りかえます。
外部入力	ソースを外部入力に切りかえます。
ミュート	瞬時に音量が下がります。再度押すと元の音量に戻ります。
▶/II (AV操作のみ)	テレビ: ホームモード/お出かけモードを切りかえます。押し続けるとお出かけスキャンを実行します。お出かけスキャン実行中に押すと、お出かけスキャンを中止します。 ラジオ: バンドを切りかえます。長押しするとオートメモリーを行います。 テレビ・ラジオ以外: 一時停止/再生をします。
1 ~ 9	数字の1 ~ 9を入力します。 テレビ: プリセット1 ~ 9の放送局を受信します。 ラジオ: プリセット1 ~ 9の放送局を受信します。押し続けるとプリセットスイッチに放送局を記憶します。
0	数字の0を入力します。 テレビ: プリセット11の放送局を受信します。
削除	入力した文字を1つ削除します。 テレビ: プリセット10の放送局を受信します。
完了	数字入力を完了します。 目的地メニューの「名称で探す」画面を呼び出します。 テレビ: プリセット12の放送局を受信します。

▶ DVD操作

トップメニュー	トップメニュー画面を表示します。
メニュー	メニュー画面を表示します。

▶ リアビジョン操作

運転切替	プラズマクラスターの風量設定を切りかえます。
ランプ	リアビジョンルームランプのON/OFFを切りかえます。
調光	リアビジョンルームランプの調光を切りかえます。
入力切替	リアビジョンの入力を切りかえます。

▶ ナビゲーション操作

1	地図の方位(ノースアップ/3Dマップ/ヘディングアップ)を切りかえます。
2	現在地画面の、ナビ操作/オーディオ操作スイッチを切りかえます。
3	地図切換画面を表示します。
4	「現在地周辺から探す」、「カーソル周辺から探す」または「ルート周辺から探す」(ルート走行中)画面を呼び出します。
5	ルート画面を表示します。
0(電話番号)	目的地メニューの「電話番号から探す」画面を呼び出します。
削除(周辺)	「現在地周辺から探す」、「カーソル周辺から探す」または「ルート周辺から探す」(ルート走行中)画面を呼び出します。
完了(名称)	目的地メニューの「名称で探す」画面を呼び出します。

8.1 付録 文字入力のしかた(1/2)



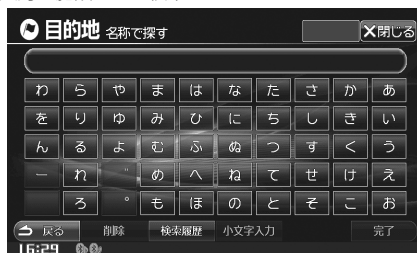
かんたん操作ガイド

文字の入力は登録操作や場所の検索などが必要になります。使用する機能によって表示される画面や手順が多少異なりますが基本的な入力方法は以下のとおりです。

＜登録地点の名称を入力するとき＞



＜50音入力で施設などを検索するとき＞



▶ 文字を入力する

ここでは登録地点の名称を入力する操作を例に説明します。

手順1 文字の種類を選ぶ ▶ 手順2 文字や記号をタッチして入力 ▶ 手順3 変換 (漢字変換) ▶ 手順4 確定 (漢字確定) ▶ 手順5 完了

1 入力したい文字の種類をタッチする

- ・選択できる文字種は **かな** **カナ** **英数** **記号1** **記号2** です。さらに英数字や記号の場合は **半角** を選択できます。
- ・拗音(ょ)や促音(っ)などを入力するときは **小文字** をタッチします。
- ・グレーアウトしているスイッチは操作できません。

2 入力したい文字や記号をタッチする

- ・間違って入力した場合は **削除** をタッチして入力しなおします。**削除** をタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。**削除** をタッチし続けると入力したすべての文字が削除されます。
- ・カーソルは、**◀ ▶ ▼ ▲** をタッチして移動します。

3 漢字に変換する場合は **変換** をタッチし目的の漢字を表示させる

- ・漢字変換しない場合は手順4へ進んでください。
- ・変換前の状態に戻すには **削除** をタッチします。
- ・別の漢字に変換するには、もう一度 **変換** をタッチします。
- ・1つ前の漢字に戻すには **前変換** をタッチします。
- ・文節区切りを変更するには **◀ ▶** をタッチします(「文節区切りを変更する」139ページ)。

4 **確定** をタッチする

- ・漢字が確定されます。
- ・確定したあとで修正する場合は **削除** をタッチして文字を削除し入力しなおします。**削除** をタッチするたびに、カーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。**削除** をタッチし続けると入力したすべての文字が削除されます。

5 **完了** をタッチする

- ・文字入力を終了し元の画面に戻ります。

8.1 付録 文字入力のしかた(2/2)

▶ 文節区切りを変更する

変換後(確定前)に ◀ ▶ をタッチすると変換対象とする文節の区切りを変更します。

1 ▶ ◀ ▶ をタッチして区切り位置を変更する

- ・ ▶ ◀ をタッチするたびに文節の長さが1文字ずつ増減します。
- ・ 以降の操作は138ページ「文字を入力する」の手順3に戻ります。

▶ 検索履歴を使用する

以前入力した文字列を利用して入力することができます。

1 検索履歴 をタッチする

- ・ 以前入力した文字列がリスト表示されます。

2 リストから希望の名称をタッチする

3 完了 をタッチする

- ・ 選んだ文字列が入力されている状態で文字入力画面に戻ります。
- ・ 20件を超えた場合は古いものから順に削除されます。
- ・ 選択した検索履歴を消去するには 消去 をタッチします。すべての検索履歴を消去するには 消去 をタッチし続けます。

▶ 数字を入力する

1 入力したい数字をタッチする

- ・ 間違えて入力した場合は 削除 をタッチして入力し直します。 削除 をタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ数字が削除されます。 削除 をタッチし続けると入力したすべての数字が削除されます。
- ・ 無効な数字や入力可能文字数以上を入力しようとするとエラーメッセージが表示されます。

2 完了 をタッチする

- ・ 数字入力を終了します。

※ ビーコン情報については別売のビーコンユニットを接続した場合の説明になります。

Q 自車位置って何？

A 現在、自分の車がいる場所のことです。どの画面からでも現在地(自車位置画面)を表示できます。

Q どうして自車位置(現在地)がわかるの？

A 自車位置は「GPS信号とジャイロ/車速センサー」を組み合わせたシステムで割り出します。

● GPS(グローバル・ポジショニング・システム)とは

高度21000kmの宇宙空間に浮かぶ3個以上のGPS衛星の電波を受信して、自車位置を割り出すシステムです。

4個以上の衛星を受信すると、3次元側位(高度/経度/緯度)となり、3個の場合は2次元(経度/緯度)となっております。この情報は、米国国防総省によって管理されており、意図的に精度をかえる場合があります。

● 高い精度で使い続けるために次のような利用をおすすめします。

- ①ナビ画面でGPS信号が受信できていることを確認してから走行する
- ②良好な信号が受信できるようにアンテナをきれいにする
- ③アンテナ、車速信号の接続に異常が無い定期的に確認する
- ④やさしくていねいに扱う

● ジャイロ・車速センサーとは

ジャイロセンサーとは航空機や船舶などの移動体の方向変化を計測するためのもので、カーナビゲーション用に使用する場合は車速センサーと共に用います。ジャイロセンサーで方向を車速センサーで走行距離を検出して自車位置を算出します。

● 使い始めの自車位置精度について

ジャイロ・車速センサーはその車の走行情報を蓄積しなければ本来の性能を発揮できません。今までの情報が無いシステムの取り付け直後、今までの情報が生かせないタイヤ交換直後などは、自車位置が正しく表示されないことがあります。そのまま走行を続けると、センサーの情報から算出した位置とGPSの位置の誤差量を学習して次第に精度が上がっていきます。

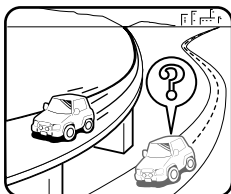
このシステムの場合、GPS信号を受信できない場合でも測位が続けられますし、ジャイロセンサーだけの走行で表われる「ずれの積み上げ」も発生しないメリットがあります。

Q どうして自車位置がずれるの？

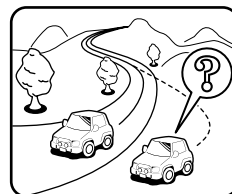
A 記憶されている車速信号情報は、車やタイヤの種類で違います。別の車に付けかえる/タイヤを履きかえる/タイヤローテーションを行うと、車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまうのです。このような場合は距離補正値を一度初期化して、再度、自動距離補正を行う必要があります(「距離補正」112ページ)。

・GPS衛星はアメリカの国防総省により管理されており衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは自車位置マークがずれることがあります。多少の「ずれ」は本機性能の限界も考えられます。またGPSが受信できない場合や次のようなときにも自車位置がずれることがあります。

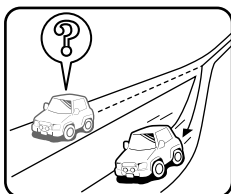
高速道路を走行している場合、その側道に自車位置マークがのるときがあります。またその逆もありです。



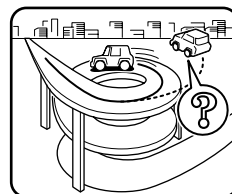
勾配の急な山岳等を走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



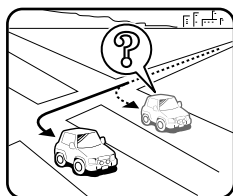
角度の小さなY字路や平行路を走行しているとき他方の道路に自車位置マークがのることがあります。



螺旋状の道路やヘアピンの道路などを走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



碁盤目状の道路を走行している場合、隣の道路に自車位置マークがのるときがあります。



雪道や舗装していない道路などの滑り易い道路を走行しているとき、自車位置マークがずれることがあります。また、タイヤチェーン等を装着して走行している場合でも、自車位置マークがずれることがあります。



直線または、緩やかなカーブを長い距離走行した直後。

立体駐車場などで切り返しや旋回をした場合。

混雑や渋滞で低速発進や停止を繰り返した場合。

これらは故障ではないので、そのまましばらく走行を続ければ自動的に修正します。

ただし、高速道路と一般道路が重なっているときなどでは、自動的に修正できない場合があります。このようなときは、自車位置を修正してください(「自車位置修正」114ページ)。

Q 画面上に表示された「十字カーソル」を消すには？

A 地図をスクロールしたときの「十字カーソル」を消すには、**〔現在地〕**スイッチを押して現在地画面に戻してください。

Q 止まっているのに、どうして自車位置が勝手に動き回るの？

A 車速の接続が正しいか確認してください。接続が正しいときは、スピードセンサーコード(車速信号線)にノイズが乗っている可能性があります。ナビのACCやバッテリーコードにノイズサプレッサーを入れたり、スピードセンサーコードを車両配線から離してください。

Q 正しい案内がされなくなった

A 以下の事項を確認してください。

- タイヤを交換していませんか？
タイヤ交換後、記憶されている車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまう場合がありますが、走行すると自動で補正されます。それでもずれが生じる場合には、距離補正值を初期化してください(「距離補正」112ページ参照)。
- スピードセンサーコード(車速信号線)は外れていませんか？
「車両情報」(128ページ)で確認し、お買い上げの販売店へご相談ください。
- GPSアンテナを確認する。
「車両情報」(128ページ)で確認し、お買い上げの販売店へご相談ください。

Q 音声案内が遅れるのは？

A 自車位置と現在地に誤差が生じるためです。

本機は距離係数などを学習し、自動補正を行いますので、走行するごとに自車位置精度が向上していきます。どうしても案内が遅れる場合には手動補正する必要があります(「距離補正」112ページ)。

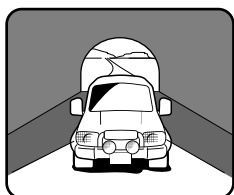
Q VICS渋滞情報の一部がいつのまにか表示されなくなった

A 道路交通情報をナビゲーションなどに的確に表示できるよう、VICSリンク(主要交差点毎に道路を区切った単位)というデータ方式を採用しています。このため、道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況に変化をきたす場合は、VICSリンクの追加や変更を行っています。この結果、新しいVICSリンクにより情報の提供が行われると、ごく一部の地域ですが、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。

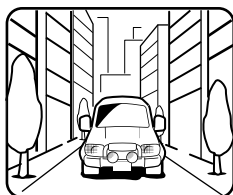
ただし情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。そのため、地図ソフトの発売時期から3年間程度経過すると、地図画面上で渋滞情報(赤・橙・緑色の矢印等)などを表示できない場所が、徐々に出てきます。この現象はVICS地図表示でのみ発生します。VICSリンクは随時更新されますので、出来るだけ新しい地図のご利用をおすすめします(本製品の道路単位は2011年11月版です)。

Q どうしてGPSが受信できないの？

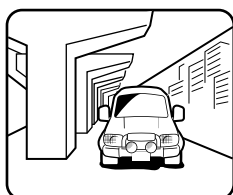
A GPSアンテナ近くで携帯電話などを使用したり、次のような場所では受信できないことがあります。



トンネルの中



高層ビル等の間



高架道路の下



樹木の間

- ルーフキャリアなど使用時には、GPS衛星の電波がさえぎられて自車位置を測位できなくなることがあります。このようときは、アンテナとルーフキャリアを離して設置してください。
- ナビ本体のアースの接続は確実でしょうか？
お買い上げの販売店へご相談ください。

Q ナビゲーションを高い精度で使うには？

A 使いはじめなどは、受信感度の良い状態で100km以上走行することをおすすめします。

Q VICSサービスの提供区域なのに受信されない

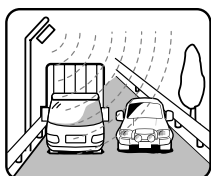
A VICSサービスの提供区域は、全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲です。ただし、そのサービスの提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

Q どうしてFM多重放送、VICS情報が受信できないの？

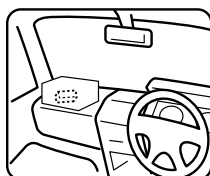
A FM多重放送は、FM放送の音声のすき間に文字情報(見えるラジオ)やVICS情報を盛り込みます。利用する場合は、情報を提供している放送局に周波数を合わせなければなりません。また、情報を取り込んでから表示しますので、受信状態になって直ちに表示されるわけではありません。受信しにくいときは、受信エリアの確認をしてください。

さらにVICSには、狭い範囲を対象にした「光ビーコン」「電波ビーコン」「DSRC」があります。

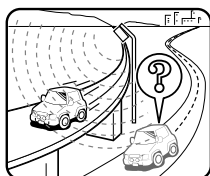
この情報は次のようなとき受信できないことがあります。



大型車と並走



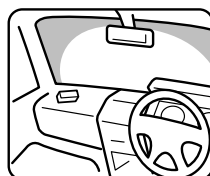
アンテナの上に物を置く



高速高架道路の下



雪などの悪天候



アンテナ受光部の汚れ
フロントガラスの汚れ

※ 高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコンを受信してしまう場合があります。

Q VICSの渋滞情報ってなに？

A VICS渋滞情報は、地図上に渋滞地点や渋滞区間を「矢印」で提供します。方向は矢印で、混み具合は色(渋滞は赤)で表します(「渋滞・混雑/空き道表示」42ページ)。

Q 今まで表示されていたVICS情報が、ビーコンを受信したら消えてしまった

A 試験運用中等で、ビーコンによっては情報のない信号を出している場合があります。このような信号を受信すると、VICS情報がない状態になり表示が消えますが不具合ではありません。次に情報のあるビーコンを受信することで、正常に表示されます。

Q ルートを外れたらどうするの？

A ルートの外れには「測位誤差」によるもの「運転ミス」によるものの二つがあります。ルートを走行中に自車位置が近接する道路に移動してしまうのが「測位誤差」によるものです。

この場合、そのまま走行を続ければ自車位置は「本来の道路」に戻ってきます。

案内している交差点で曲がれなかったときなどの間違いによるルートの外れは、リルート機能によって「新たなルート」を自動的に探し出してくれます(「リルートについて」22ページ)。

8.2 付録 Q&A(4/5)

Q ルートを消すにはどうするの？

- A ルートは目的地周辺で案内を終了しますが、目的地情報は残ります。また、目的地への接近が少ないといつまでも目的地への案内を続けます。
これらを消す場合は、ルート編集画面でルートを消去してください(「ルート消去」30ページ)。

Q ルートは記憶できないの？

- A ルートを記憶させることはできません。

Q ルート探索対象道路は？

- A ルート探索対象道路は道幅が5.5mより広い道路となります。

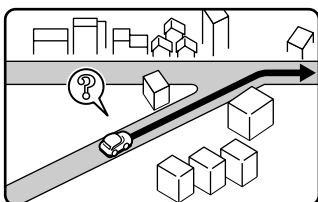
Q ルート探索のコツってなに？

- A いろいろ使い方がありますが、周遊コース設定のコツをお教えします。
2泊3日の旅行で出発地に戻ってくる場合は、以下の操作を行います。
1) 出発地(自転車位置)を目的地に設定します(当然、コースは表われません)。
2) 立ち寄る地点(経由地)をですべて設定します(22ページ)。
3) 自転車位置から2泊3日のコースを確認します。
各経由地を宿泊地にしておけば、それぞれの日毎の走行距離を知ることができます。

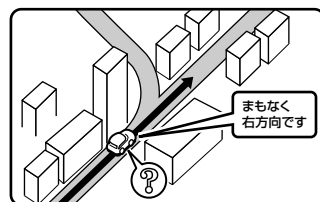
Q こんなルートは故障なの？

- A ルート探索やルート案内において、次のような場合がありますが故障ではありません。
冬期の閉鎖・歩行者天国・時間規制などで通行できない場合があります。
新道の開通などにより通行できない場合があります。
実際に通行できない道を表示する場合があります。
再探索してもルートがかわらない場合があります。
ルートが渋滞している場合があります。
目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
高速優先であっても、高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
Uターンするルートを表示する場合があります。

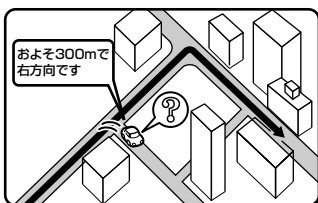
交差点で、案内されない場合があります。
また、交差点名称が案内されない場合もあります。



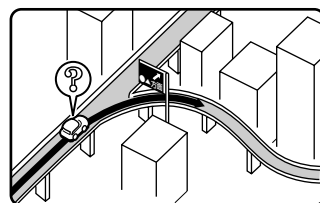
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。



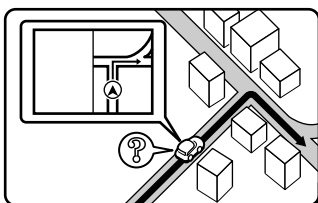
手前の交差点等で曲がったときなど音声案内される場合があります(案内ルートを外れた場合)。



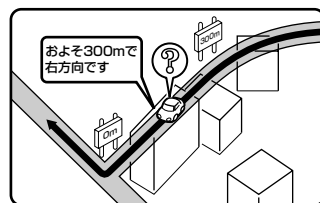
高速/有料道路で方面案内が表示/案内されない場合があります。



交差点拡大図が実際の道路形状と異なる場合があります。



案内距離が実際の道路状況と異なる場合があります。



8.2 付録 Q&A(5/5)

Q 思い通りのルートを引きには？

A ナビが自動で設定したルート以外の道を通して目的地まで行きたい場合は、利用するインターチェンジ(IC)を変更したり、通りたいルート上に経由地を追加すると、その地点を通るルートに変更することができます。経由地は最大で5ヶ所まで指定できます(22、23、29ページ)。

Q 時計(現在の時刻)がずれたら？

A 本機の時計表示はGPS情報から時間を算出しておりますので、時計表示がずれることはありません。ただし、長い期間GPSが受信されない状態が続いた場合は時計がずれることがあります。GPSが受信されると正常な時間表示に戻ります。GPSを受信していてもずれている場合は、本機を点検に出してください。

Q バッテリーを外してもメモリーは消えないの？

A 地点情報、設定(サウンド調整、DVD初期設定は除く)、ルート学習・渋滞学習、電話帳などは消えません。

Q どうして夜画面がちらつくの？

A 電圧が低いとき、画面がちらつくことがあります。

Q 駐車場マークを消すにはどうするの？

A 駐車場マークには、ランドマークとVICS情報マークがあります。地域によっては駐車場マークが画面いっぱいに表示され、地図が見づらくなる場合があります。102、103ページを参照して駐車場マークを消してください。

8.3 付録 故障診断(1/3)

操作のミスや勘違いを故障と間違えていませんか？



下の表または「かんたん操作ガイド」をご覧ください。



お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口(175ページ)までご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度エンジンキーをOFF/ONしてください。それでも正常動作しない場合は以下の表または「かんたん操作ガイド」を参照して処置を行ってください。

■ ナビゲーション関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
	正しく接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続されているか確認する。また、コードなどが極端に折れ曲がっていないか確認する	
画面がふらつく	電圧が低い	別売の電源リレーキット(KWR-403G)を使用しバッテリーから直にナビ本体の電源ラインに接続する	
走行しても地図が動かない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	10ページ
正しく自車位置を測定できない	ACCが「OFF」になってから自車位置がかわった フェリーボートによる移動 駐車場のターンテーブルによる回転 レッカー車による移動等	GPS信号受信状態(測位状態)でしばらく走行する	
自車位置マークが表示されない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	10ページ
GPS信号が受信できない	GPS情報を利用できない状態である	周囲に障害物がない所へ移動する	
	GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている	電話の使用をやめる	
	GPSを利用したレーダー探知機を使っている	本機のGPSアンテナと離してご使用ください	
自車位置の誤差が大きい	衛星の配置が悪い	GPS衛星の電波を受信しやすい場所へ移動する	
	2次元測位をしている		
	車速(スピードセンサーコード)が正しく接続されていない	取付説明書を参照して接続を確認してください	
データが保存できない	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にしてから保存する	
タッチスイッチがグレーになり操作できない	パーキングブレーキコードが接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続する	
	操作できないタッチスイッチをタッチした	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。また、状況・設定などにより、操作できないスイッチがある場合があります	
案内音声出力されない	案内の音量が小さく(音声OFF)になっている	音量を大きくする	122ページ
案内音量が大きすぎる/小さすぎる	案内音量が調整されていない	音量を調整する	122ページ
エンジンキーをONの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがある	バックライトが温まれば、数分後には解消される	
画面が見にくい	画面のコントラスト、明るさ調整が不適正である	コントラスト、明るさを調整する	121ページ
VICSで受信した文字・図形などの情報を表示できない	VICSの情報として送出されていない	地区等により送出される情報は異なる	
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
	放送局の周波数が合っていない	受信可能な放送局に周波数を合わせる	45、46ページ
	データの取り込みが完全ではない	更新データを受信するまで待つ	
VICS情報(渋滞、規制、駐車場)の地図表示ができない	「VICS設定」でこれらの表示条件が表示しない設定になっている	「する」に設定する	102、103ページ
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	

8.3 付録 故障診断(2/3)

症状	原因	対処	参照ページ
VICS渋滞が考慮探索されない	「アクティブルートサーチ」が「しない」の設定になっている	「する」に設定する	107ページ
VICS情報の表示が乱れる	電波や光の情報がうまく受信されない	情報を受信次第表示が更新されます	
VICSの時間が時刻と違う	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます	情報を受信次第更新されます	
いつもNAVIに接続できない	携帯電話の接続や通信設定、いつもNAVIの認証情報入力が行われていない	本機と携帯電話の接続、携帯電話を利用したインターネット接続設定、いつもNAVI認証情報の入力を行う	53、59、126ページ
有料道路に目的地/経由地を設定できない	付近の一般道路に目的地/経由地が設定されている	目的地/経由地の属性を「有料」に変更する	30ページ

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げの販売店に問い合わせてください。

■ オーディオ・ビジュアル関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている 周囲の温度が50度以上である 結露している	所定容量のヒューズと交換する 窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	電波が弱い バッテリー電圧が低下している	他の場所に車を移動して再確認する バッテリー電圧/バッテリー液量/バッテリー液比重および配線を確認する(負荷状態で11ボルトを下回ると誤動作の原因となります)	
映像が出ない	モード切りかえがご覧になりたいソースになっていない パーキングブレーキコードを接続していない パーキングブレーキをかけていない	ご覧になりたいソースをタッチして切りかえる パーキングブレーキコードを接続しパーキングブレーキをかける	15ページ
映像が出ないまたは動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする	
映像に斑点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する	
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります	故障ではありませんので、そのままご使用ください	
映像が二重三重になる。またはゆれる	近くの山やビルで電波が反射している	他の場所に車を移動する	
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるもの	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください	
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるもの	故障ではありません。しばらくすると安定します	
音が出ない	音量の調整不良	音量スイッチを押して確認する	17、18ページ
片側のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが外れている 音量の調整不良	スピーカーコードの接続を確認する 左右音量調整をして確認する	116ページ
サブウーファーから音が出ない	サブウーファーの設定がONになっていない	「サブウーファー設定」をONにする	118ページ
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない	放送、ディスクを変更して確認する	
CD/DVDが入らない	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている	すでに入っているCD/DVDを取り出し、お好みのCD/DVDを入れる	74、81ページ
CD/DVDの再生ができない	結露している CD/DVDに大きなキズやソリがある CD/DVDがひどく汚れている	しばらく放置してから使用する 他のCD/DVDを入れる クリーニングする	

8.3 付録 故障診断(3/3)

症状	原因	対処	参照ページ
ディスクの再生が始まらない/音が飛ぶ/音が歪む/早送り/早戻しができない	車内温度が50℃以上である	車内温度を常温まで下げてから、演奏させる	
	ディスクに傷が付いている	他のディスクを再生してみる	
	ディスクがひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応のディスクでない		
映像も音も出ない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	オーディオ・ビジュアルモードがOFFになっている	AV OFFモードを解除する	100ページ
DVD初期設定において、暗証番号を正しく入力できない/暗証番号を忘れてしまった	接続コードの接続が不完全	各接続コードの接続を確認する	
	DVDの暗証番号が違う	DVD初期設定の内容を初期値に戻して、設定した暗証番号を消去する	79ページ
CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWが再生できない MP3/WMA/AACが再生されない	クローズセッション(ファイナライズ)処理を行っていない	クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度、試してみる	
	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA/AACについて」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う	156ページ
SDカードが入らない	すでに別のSDカードが入っている	SDカードを取り出してから入れ直す	84ページ
	SDカードの入れ方が間違っている	本書を参照し、正しく入れ直す	84ページ
SDカードの再生が始まらない/音が飛ぶ/音が歪む/早送り・早戻しができない	SDカードが壊れている	他のSDカードを再生してみる	
	SDカードの端子部がひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応の音楽データではない		
SDカードを取り出した後、ディスプレイが閉じない	破損しているSDカードを挿入した	SDカードを取り出し後、しばらく待ってから (▲) スイッチを押してディスプレイを閉じる	
放送局が受信できない/雑音が入る	アンテナが接続されていない(ラジオ)	アンテナが確実に接続されているか確認する(ラジオ)	
	放送局の周波数(チャンネル)が合っていない	周波数(チャンネル)を正しく合わせる	73ページ
	周りに障害物などがあり、受信状態が良くない	見通しが良いところに移動する	
自動的に放送局が選べない	電波の弱い地域にいる	手動で受信する	73ページ
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送用のアンテナが接続されていない	添付の地上デジタル放送用のアンテナを接続する	
	B-CASカードが正しく挿入されていない	B-CASカードを挿入する	
	放送が行われていない	他のチャンネルを選ぶ	
映像にブロックノイズが出る	電波状態が悪い(地上デジタルテレビ)	場所を移動する	
映像に字幕が出ない	アンテナが外れている(地上デジタルテレビ)	アンテナの接続を確認する	
	字幕が設定されていない(地上デジタルテレビ)	字幕を設定する	69ページ
	字幕情報のない番組を視聴している(地上デジタルテレビ)	字幕情報のある番組を視聴する	
映像がモザイク状になる	電波状態が悪い(地上デジタルテレビ)	他の場所に車を移動する	
iPodが再生しない/iPodの音が出ない	iPodが認識されていない	iPodをリセットする iPodのリセットについては、iPod側のユーザズガイドを参照してください	
ウォークマン® の音が小さい	ウォークマン®の「ソース別音量調整」が14ステップになっていない	「音質調整」-「詳細設定2」-「ソース別音量調整」のウォークマン®の音量レベルを必ず14ステップにする	118ページ
(▲) スイッチを押してもディスプレイが開かない	音楽用/登録地点保存用SDカードへのアクセスが終了していない	アクセス終了後にもう一度 (▲) スイッチを押す。5分以上経ってもアクセスが終了しない場合は、一度エンジンキーをOFF/ONする。または (▲) スイッチを10秒以上押す	

8.4 付録 メッセージ表示(1/4)

■ 表示メッセージ(システム)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
操作できません	BLUETOOTH認証処理中に操作を行った	認証が終了するまで待つ	
DVDドライブ使用不可状態のため操作できません	メカエラー	お問い合わせ窓口にご相談ください	175ページ
更新情報取得に失敗しました	路線別データ更新時、データ取得に失敗した	再度データ取得を行う	
データの読み込みに失敗しました メディアを確認してください	SDカード/USBメモリーの地図更新データ、またはGracenoteタイトルデータ読み込みに異常が発生した	一度SDカード/USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う	
差分更新処理を開始できませんでした しばらくしてからもう一度お試しください	SDカード/USBメモリーの地図更新データのコピーに失敗した	一度SDカード/USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う	
車種専用セッティングに失敗しました 車種選択画面からセッティングを行ってください	車種専用セッティング中にSDカード/USBメモリーを取り外した	再度セッティング操作を行う	2、119ページ
車種データの読み込みに失敗しました	車種データが破損している	車種データファイルを再度ダウンロードし、車種専用セッティング操作を行う	119ページ
アップデートに失敗しました 再起動を行います (メディアを確認してください)	BLUETOOTHファームウェアのアップデートに失敗した	一度SDカード/USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う	
Bluetooth機能は使用できません Bluetooth Firmwareバージョンを確認してください	BLUETOOTHファームウェアが正常に動作しない	お問い合わせ窓口にご相談ください	175ページ
このSDメモリーカードは使用できません 地図用SDカード挿入口のSDメモリーカードを確認してください	全国地図更新時、地図用SDカード挿入口に、地図用以外のSDカードが挿入されている	正しい地図用SDカードを挿入し、再度全国地図更新を行う	47ページ
ライトプロテクトされています 地図用SDカード挿入口のSDメモリーカードを確認してください	SDカードの書き込み禁止スイッチがLock側になっている	書き込み禁止スイッチを解除する	
地図用SD/B-CASカードのカバーが開いています 閉じてからご使用ください	地図用SDカード/B-CASカードのカバーが開いている。またはカバーが破損している	カバーを閉めてから使用する	
地図用SDカードが使用不可状態のため操作できません	アクセスエラー	SDカードを挿入し直し、一度エンジンキーをOFF/ONする	
データを更新するため再起動します	アクセスエラー	自動的に再起動がかかります	
地図用SDカードが読めません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	アクセスエラー後に復帰しない。SDカードが破損している	お問い合わせ窓口にご相談ください	175ページ
データコピーに失敗しました SDカード挿入口に挿入している地図用SDカードを地図用SDカード挿入口に挿入してください	全国地図更新時、データコピーに失敗した	全国地図更新をやり直す	47ページ
このSDメモリーカードは使用できません SDカード挿入口のSDメモリーカードを確認してください	全国地図更新時、SDカード挿入口に、古い地図用SDカード以外のSDカードが挿入されている	正しい地図用SDカードを挿入し、再度全国地図更新操作を行う	47ページ
携帯電話を確認してください	携帯電話が正しく接続されていない	携帯電話の接続と、「BLUETOOTH設定」を確認してください	53、124ページ

8.4 付録 メッセージ表示(2/4)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
通信できません Bluetooth設定で通信接続先を登録してください	通信設定が正しく設定されていない	「BLUETOOTH設定」を確認してください	124ページ
DVDドライブにアクセスできません システムをリセットします	なんらかの原因でDVDメカにアクセスエラーが発生した	自動的に再起動がかかります	
DVDドライブにアクセスできません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	なんらかの原因でDVDメカにアクセスできなくなった	お問い合わせ窓口にご相談ください	175ページ
異常が発生しました (▲) スイッチを押してください	ディスプレイのメカに異常が発生した	(▲) スイッチを押してください	
ETCカードが車載器を確認してください	ETCカードやETC車載器のシステムエラーが発生した	ETCカードを抜き差ししてください	
セットアップされていません	接続されているETC車載器のセットアップが未完了の場合に表示される	販売店にてセットアップを行ってください	
カードがDSRC車載器を確認してください	ETCカードやDSRC車載器のシステムエラーが発生した	ETCカードを抜き差ししてください	
DSRC車載器がセットアップされていません	接続されているDSRC車載器のセットアップが未完了の場合に表示される	販売店にてセットアップを行ってください	
走行中は安全のため操作できません	走行中にメニュー操作を行った	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する	

■ 表示メッセージ(ナビゲーション関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ルート計算できませんでした 目的地を幹線道路付近にセットしてください	目的地を指示したとき、周辺に道路がなくルート探索ができない	付近の主要道路にカーソルを合わせ、再度目的地を指示する	
これより広域の地図では VICS情報を表示できません	10m～1kmスケールの地図を表示中に2kmスケールの地図にした	地図スケールを1km以下の詳細な地図に切りかえる	10ページ
情報受信につつき しばらくお待ちください	FM多重放送やVICS情報を受信していない	しばらくしてもメッセージを表示する場合は選局し直してください	
情報がありません	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していない	他の放送局を選局する	
ETCゲートを通行できません	通信エラー、もしくはETC車載器のエラー	料金所の係員の指示に従ってください	
いつもNAVI 情報を取得できませんでした	携帯電話が正しく接続されていない。もしくは通信設定が正しく設定されていない	携帯電話の接続と、「BLUETOOTH設定」を確認してください	53、124ページ

8.4 付録 メッセージ表示(3/4)

■ 表示メッセージ(オーディオ・ビジュアル関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
読み込み異常が発生しました	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または「AVソースメディアについての注意」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う	152ページ
録音用SDカードが作成できませんでした SDメモリーカードを確認してください	SDカードフォーマット中に、SDカードが抜かれた	再度フォーマット操作を行う	120ページ
ライトプロテクトされています SDメモリーカードを確認してください	SDカードの書き込み禁止スイッチがLock側になっている	書き込み禁止スイッチを解除する	
携帯電話を確認してください	携帯電話が正しく接続されていない	携帯電話の接続と、「BLUETOOTH設定」を確認してください	53、124ページ
通信できません Bluetooth設定で通信接続先を登録してください	通信設定が正しく設定されていない	「BLUETOOTH設定」を確認してください	124ページ
情報を取得できませんでした	携帯電話が正しく接続されていない、もしくは通信設定が正しく設定されていないため、Gracenoteタイトルデータの取得に失敗した	携帯電話の接続と、「BLUETOOTH設定」を確認してください	53、124ページ
USBの接続を確認してください	接続エラー	一度本機からUSBメモリを外し、再接続する	100ページ
iPodとの通信ができません 接続を確認してください	通信エラー	一度本機からiPod/iPhoneを外し、再接続する	92ページ
ディスクを確認してください	ディスクが汚れている、または裏返しになっている	汚れている場合はクリーニングを行う。裏返しになっている場合は正しい向きで挿入する	74、81ページ
	再生可能なディスクではない	別のディスクを試す	
B-CASカードが挿入されていません	B-CASカードが奥までしっかり入っていない/前後逆向きに入っている/表裏逆向きに入っている	添付のB-CASカードを正しく挿入する。それでも直らないときは、B-CASカードのテストを行ってください テストに成功した場合アルパインインフォメーションセンターへお問い合わせください テストに失敗した場合B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください	66、71ページ
このB-CASカードは使用できません B-CASカードの交換が必要です	B-CASカードが故障している、または交換の必要がある	添付のB-CASカードを正しく挿入する それでも直らないときは、B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください	66ページ
B-CASカードに必要な情報がありません B-CASカードのセキュリティ情報にエラーを検出しました	B-CASカードが故障している、または使用できないB-CASカードが挿入されている	添付のB-CASカードを正しく挿入する それでも直らないときは、B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください	66ページ
このB-CASカードでは視聴できません	B-CASカードが対応していない受信方式のチャンネルを選局した	受信可能なチャンネルを選ぶ	
有料放送のため視聴できません	有料放送を受信している	本機では、有料放送には対応していないため、受信可能なチャンネルを選ぶ	
データを取得できません	データ放送において閲覧対象のコンテンツが取得できない	再選局を行う	

8.4 付録 メッセージ表示(4/4)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
双方向サービスには対応していません	データ放送受信時に双方向サービス対応のコンテンツ操作を行っている	双方向サービスには対応していないため、双方向サービスではないデータ放送コンテンツを選ぶ	
受信できません	周波数チャンネルが検出できない／周波数チャンネルが検出でき3桁チャンネル番号も存在するが放送が終了している／プリセットしているチャンネルが無くなった／データ放送が受信できない／存在しないチャンネルを受信しようとした／受信障害(混信など)が発生した	受信可能なチャンネルを選ぶ	
ワンセグ放送がありません	ワンセグ放送を行っていないチャンネルでワンセグ放送を受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
ワンセグ放送のみ受信可能です	受信状態が悪く、地上デジタル放送は視聴できない状態であるが、ワンセグ放送であれば視聴可能であるチャンネルを視聴した	ワンセグ放送を視聴する 地上デジタル放送が視聴可能な場所へ移動する	
未対応のサービスです	本機で対応できないサービスを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
放送チャンネルではありません	放送用のチャンネルではないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
このチャンネルは放送を休止しています	定常サービス／臨時サービスにおいて、CHは存在しているが、番組が放送されていないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
受信できませんでした	ホームスキャン／お出かけスキャン完了後に、受信可能な放送局が全く無かった場合に表示される	地上デジタル放送が受信可能な場所へ移動して、再度スキャンを実施する	
	情報更新完了後に一つも番組情報を取得できなかった	地上デジタル放送が受信可能な場所へ移動して、再度情報更新を実施する	
登録に失敗しました	書き込みエラーなどの原因で、プリセット登録に失敗した	お問い合わせ窓口にご相談ください	175ページ
情報が取得できなかった番組があります	情報更新完了後に一部番組情報を取得できなかった放送局があった	地上デジタル放送が安定して視聴可能な場所へ移動し、再度情報更新を実施する	69ページ
チューナーの異常高温を検出しました 地上デジタルTV の表示ができません 車内の温度が下がるまでお待ちください	車内温度が高すぎる	車内温度を常温まで下げる	
地上デジタルTVのアンテナ接続に不具合があります 接続をもう一度確認してください	地上デジタルTVのアンテナがショートしている	地上デジタルTVのアンテナの接続方法を確認してください	

操作中の画面にはいろいろなメッセージが表示されます。メッセージには現在の状態を知らせたり次の操作をガイドしたりするもののほか、上記のようなエラーメッセージを表示する場合があります。上記のエラーメッセージが表示された場合は「処置」の内容をよくお読みになりその指示に従ってください。

8.5 付録 AVソースメディアについての注意(1/4)

ディスクについてのご注意

本機で再生できるディスクについて

- 本機では次のディスクが再生できます。

	マーク (ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ		音声 + 映像(動画)	12cm
音楽CD*		音声	12cm

* ディスクレーベル面に上記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

* 8cmディスクはアダプタを使用しても再生できません。

- 本機は下記フォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応の圧縮フォーマットについて」(156ページ)を参照してください。

	CD-R/CD-RW	DVD-R/DVD-RW	DVD+R/DVD+RW
CDフォーマット	○	—	—
MP3フォーマット("mp3")	○	○	○
WMAフォーマット("wma")	○	○	○
AACフォーマット("m4a")	○	○	○
DVDビデオフォーマット	—	○	○
DVD-VRフォーマット	—	○	—
MPEG4 AVCフォーマット	—	—	—

- ・ ファイナライズ処理されていないディスクは再生されません。

再生できないディスク

- DVD-ROM、DVD-RAM、CD-ROM(MP3/WMA/AACファイルを除く)、ビデオCD、フォトCDなど。

DualDiscについて

- 本機は、DualDiscには対応しておりません。ディスクの出し入れの際、ディスクに傷がついたり故障の原因になる場合もありますので使用しないでください。

DVDディスク映像規格について

- 本機はNTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)用のディスクは再生することができません。

DVDリージョン番号(再生可能な地域番号)について

- 本機のリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号  を含んでいないまたは、 が表示されていないディスクは再生できません。なお、リージョン番号の設定を変更することはできません。



DVDディスクに表示されているマークについて

- DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。

マーク	意味
	再生できる言語の数を表します。
	字幕に表示できる言語の数を表します。
	アングルの数を表します。
 	選択可能な画像の縦横の比率を表します。 ・「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
 	再生可能な地域番号を表します。 ・「ALL」は全世界向け、数字は地域番号を表します(「2」は日本向け)。

8.5 付録 AVソースメディアについての注意(2/4)

コンパクトディスク(CD/CD-R/CD-RW)のご使用について

- CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証はいたしかねます。
また本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-ReWritable)、MP3/WMA/AACファイル形式のCD-R/CD-RWの再生が可能です。

次のようなディスクは再生できないことがあります。

指紋やキズが付いている/車内や製品内に長時間放置した/データ書き込み状態が不安定/データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

MP3/WMA/AACファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。

CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行っているかどうか確認してください。
- 行われていない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度お試しください。
- 同じディスクに音楽データ(CD-DA)とMP3/WMAデータが混在する場合は、音楽データ(CD-DA)のファーストセッションのみが再生されます。
- マルチセッションに対応しております。"Track at once"で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクのご使用について

- 本機は、DVD-Videoモード、DVD-VRモード(DVD-R/DVD-RWディスクのみ)で記録されたディスクに対応しております。
- ファイナライズ処理(再生専用DVDプレーヤーで再生可能にするための処理)がされていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
- ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては再生できない場合があります。
- 本機には違法コピー検出機能を有しております。違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されないPCソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります。
- 録画に使用したDVDレコーダやDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクの特性、傷、汚れ、またはDVDプレーヤーのピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクのレーベル面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクは通常のDVDに比べ高温多湿環境や直射日光に弱く、一部のディスクや長時間車室内に放置したディスクは再生できない場合があります。
- ディスク本体の再生可能な温度範囲は、次の通りです。
DVD-R/DVD-RW : -25 ~ +70℃
DVD+R/DVD+RW : +5 ~ +55℃

取り扱い上のご注意(ディスク)

- 故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。
盤面にさわらない/直射日光下に置かない/ラベルを貼らない/ホコリやごみが付いたら拭きとる/バリが無いことを確認する/市販のアクセサリを使わない。
特にCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWは以下の点について十分に注意してください。
車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。
- 特殊な形状のディスクは使わない
必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。
- ディスクのお手入れ
柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。
- 新品のバリに注意
ディスクの側面やセンターホール面にバリ(突起)があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

レンズクリーナーについて

- レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」(別売)を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用すると、レンズの破損や故障の原因となります。
- DVDメカニズムのピックアップレンズは長期間のご使用の間に汚れが付着し、読み取り精度が劣化する場合があります。レンズクリーナーによる定期的なクリーニングをおすすめします。

8.5 付録 AVソースメディアについての注意(3/4)

SDカードについてのご注意

再生できるSDカードについて

- 本機はSDカード・SDHCカードの両方に対応しています。SDカード規格(2GBまで)・SDHCカード規格(32GBまで)に準拠したカードをご使用ください。
- SanDisk製、Panasonic製、東芝製のSDカードのご利用を推奨します。
- 高速タイプのSDカード(2GBまで)は、そのままではご使用になれません。SDカードをパソコンで初期化してください。
- 対応ファイルシステム
FAT 16/32
- 再生可能フォーマット一覧
本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応の圧縮フォーマットについて」(156ページ)を参照してください。
 - ・MP3フォーマット("mp3")
 - ・WMAフォーマット("wma")
 - ・AACフォーマット("m4a")
 - ・BMPフォーマット("bmp")
 - ・JPEGフォーマット("jpg") (プログレッシブJPEGは非対応)

取り扱い上のご注意(SDカード)

- 大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- SDカードの動作保証はしておりません。ご使用の際には、SDカードの使用条件内でのご利用をお願いいたします。
- SDカードは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- SDカードで作成した地点登録ファイルは個人として利用するなどのほか、権利者に無断で使用できません。
- 故障や動作不良をおこさないために次の点を守ってお使いください。また、SDカードの取扱説明書もよくお読みください。
端子部には手や金属で触れない/強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない/分解したり、改造したりしない/水にぬらさない
- また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - ・高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所特に以下の点について十分に注意してください。
車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、SDカードが劣化し再生不能となる場合があります。
- miniSDカード/microSDカードを本機で使用する際は、必ずカードに付属されている専用のアダプターを使用してください。また、miniSDカード/microSDカードを取り出す時はアダプターごと取り出し、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

誤消去防止スイッチについて

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集・消去ができなくなります。

結露にご注意

- 寒い車内を急に暖めると、本体内部に露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどSDカードを取り出しておくくと正常に動作します。

USBメモリーについてのご注意

再生できるUSBメモリーについて

- 本機はUSB Mass Storage Class 対応のUSBメモリーを操作できます。
- USBメモリーは、USBメモリー規格に準拠したメモリーをご使用ください。
- 対応USB規格
USB 1.1 / 2.0
- 対応ファイルシステム
FAT 16/32
- 供給電圧
5V
- 再生可能フォーマット一覧
本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応の圧縮フォーマットについて」(156ページ)を参照してください。
 - ・MP3フォーマット("mp3")
 - ・WMAフォーマット("wma")
 - ・AACフォーマット("m4a")
 - ・BMPフォーマット("bmp")
 - ・JPEGフォーマット("jpg") (プログレッシブJPEGは非対応)

再生できないUSBメモリー

- ハブ付USBメモリーは再生できません。またUSBハブも接続対象外です。

8.5 付録 AVソースメディアについての注意(4/4)

取り扱い上のご注意

- USBメモリーの動作保証はしていません。ご使用の際にはUSBメモリーの使用条件内でのご利用をお願いします。USBメモリーの取扱説明書もよくお読みください。
- また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - ・高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・湿気が多い場所や腐食性のものがある場所特に以下の点について十分に注意してください。
車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、USBメモリーが劣化し再生不能となる場合があります。
- USBメモリーは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- USBメモリーは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- USBメモリー規格に準拠したUSBメモリーを使用しても、USBメモリーの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- USBメモリーの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- コピープロテクト(著作権保護)されたファイルは再生できません。
- 複数のパーティションを持つUSBメモリーはサポート対象外です。
- セキュリティ機能を持つUSBメモリーはサポート対象外です。
- 大切なデータはパソコン等を用いてバックアップを取っておくことをおすすめします。

iPod/iPhoneについてのご注意

再生できるiPod/iPhoneについて

- 本機で対応しているiPodは次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。
 - iPod nano 6th generation 8GB/16GB: Ver.1.2
 - iPod touch 4th generation 8GB/32GB/64GB: Ver.5.0.1
 - iPod touch 3rd generation 8GB/32GB/64GB: Ver.5.0.1
 - iPod nano 5th generation(video camera) 8GB/16GB: Ver.1.0.2
 - iPod classic(Late2009) 160GB: Ver.2.0.4
 - iPod touch 2nd generation 8GB/16GB/32GB/64GB: Ver.4.2.1
 - iPod nano 4th generation(video) 8GB/16GB: Ver.1.0.4
 - iPod touch 1st generation 8GB/16GB/32GB: Ver.3.1.3
 - iPod nano 3rd generation(video) 4GB/8GB: Ver.1.1.3
 - iPod classic 80GB/160GB: Ver.1.1.2
 - iPod classic 120GB: Ver.2.0.1
 - iPod nano 2nd generation(aluminum) 2GB/4GB/8GB: Ver.1.1.3
 - iPod 5th generation(video) 60GB/80GB: Ver.1.3
 - iPod 5th generation(video) 30GB: Ver.1.3
 - iPod nano 1st generation 1GB/2GB/4GB: Ver.1.3.1
- 本機で対応しているiPhoneは次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。
 - iPhone 4 16GB/32GB: Ver.5.0.1
 - iPhone 3GS 16GB/32GB: Ver.5.0.1
 - iPhone 3G 8GB/16GB: Ver.4.2.1

ご使用のiPod 製品名を確認するには、アップルのホームページをご覧ください。

取り扱い上のご注意

- iPod/iPhoneの機能については、iPod/iPhoneユーザーズガイドを参照してください。
- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときにiPod/iPhone を車内に放置すると、iPod/iPhone 故障の原因になります。
- 本製品を使用中にiPod/iPhoneのデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

ウォークマン®についてのご注意

再生できるウォークマン®について

- 本機で対応しているウォークマン®は次の通りです。下記以外の動作保証および性能保証はいたしかねます。
 - NW-A860/A850/A840/S760/S750/S740/S640/E060/E050シリーズご使用のウォークマン®の製品名を確認するには、ソニーのホームページをご覧ください。
- 対応ウォークマンについてはアルバインのホームページをご覧ください。

8.6 付録 本機対応の圧縮フォーマットについて(1/2)

MP3/WMA/ACCについて

MP3	正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。 MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます(サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合)。 このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。
WMA	正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約半分)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。
AAC	AACとは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2およびMPEG4で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。本機ではiTunes®AACファイル(著作権保護されていない)のみ対応しています。

ファイルの規格について

対応規格	MP3 : MPEG-1 Audio Layer Ⅲ、MPEG-2 Audio Layer Ⅲ、MPEG-2.5 WMA : Ver.7.x/8.x/9.x
対応サンプリング周波数	MP3 : 8kHz ~ 48kHz WMA : 8kHz ~ 48kHz AAC : 8kHz ~ 48kHz
対応ビットレート	MP3 : 8kbps ~ 320kbps WMA : 8kbps ~ 320kbps AAC : 16kbps ~ 320kbps
最大対応サイズ	512MB

- ・ VBRに対応しています。
- ・ フリーフォーマットには対応していません。
- ・ MPEG1・2・2.5でそれぞれビットレートが異なります。
- ・ 低ビットレートのMP3/WMA/AACファイル再生時は十分な音質が得られない場合があります。

ID3タグ/WMAタグについて

ID3タグは、ID3 Tag v1.0、v1.1、v2.2、v2.3、v2.4に対応しています。WMAタグは、Ver.1.xに対応しています。MP3/WMA/AACファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル名(曲名)・アーティスト名・アルバム名のタグ情報を表示できます(最大64文字表示することができます)。

MP3/WMA/AACを作成するには

MP3/WMA/AACファイルを用意し、メディアに書き込みます。

本機で認識できるフォルダ数の上限	ディスク:256個 SDカード・USBメモリー:1024個
本機で認識できるフォルダ階層数の上限	8階層 ・ フォルダを階層表示することはできません。 ・ 再生できる曲が含まれているフォルダのみが「サーチの対象」になります。
本機で再生可能なファイル数の上限	ディスク:999個※ SDカード・USBメモリー:15000個※ ※対応拡張子のファイルであれば本機対応のフォーマットでなくてもカウントされます。

- ・ 収録ファイル数が多いと動作開始まで時間がかかります。そのような場合にはファイル数を減らしてください。

使用できるメディアについて

再生できるメディアはCD-ROM・CD-R・CD-RW・DVD-R・DVD-RW・DVD+R・DVD+RW・SDカード・USBメモリーです。

8.6 付録 本機対応の圧縮フォーマットについて(2/2)

使用できるディスクのフォーマットについて

ISO9660レベル1およびレベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層(最大8階層)やフォルダ/ファイル名の文字数、フォルダ/ファイル名で使用する文字(A～Z、0～9、_(アンダスコア)、日本語・シフトJIS(ただしシフトJISには非対応文字も存在します))などの制限があります。

またJolietなどのISO9660準拠であれば再生は可能です。ただしファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

日本語を含むフォルダ名/ファイル名を使用することもできますが、この場合はJoliet形式(Microsoft社が提唱しているCD-Rの論理フォーマット)で書き込まないと認識できない場合があります。

ファイル名について

本機で再生可能なMP3ファイルの拡張子は“mp3”です。WMAファイルの拡張子は“wma”です(WMAはVer.7.x、8.x、9.xに対応)。AACファイルの拡張子は“m4a”です。ファイル名の最大文字数は255文字(拡張子含む)です。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しております。“Track at once”で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

・音楽データ(CD-DA)とMP3/WMA/AACデータが混在するディスクでは、ファーストセッションがCDDAの場合はCD-DAのみ再生します。

MP3/WMA/AACの再生について

- ・MP3/WMA/AACファイルが収録されているメディアを挿入すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMA/AACファイルを再生します。ファイルをチェックしている間は、音は出ません。
- ・DRM(デジタル著作権管理Digital Rights Management)で著作権保護されたファイルは、本機では再生できません。
- ・作成したライティングソフト/変換ソフトによっては再生できない場合があります。
- ・AACファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機ではVer.10.6.1までのiTunesを使用してエンコードされたAACファイルのみの再生に対応しています。

MP3/WMA/AACの再生時間表示について

MP3/WMA/AACファイルの書き込み状況により、再生時間が一致しないことがあります。

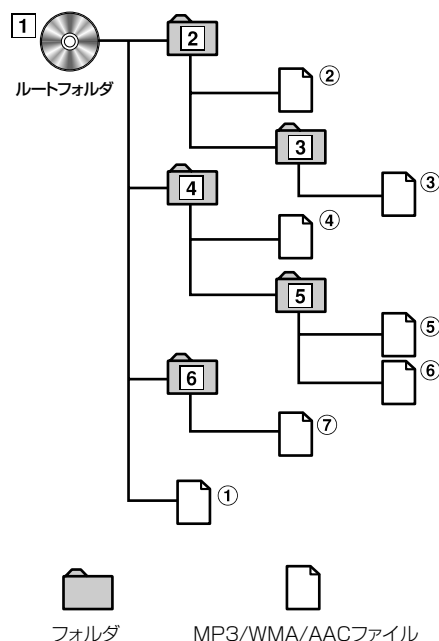
VBRの早送り/早戻し動作をすると再生時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA/AACファイル、フォルダの演奏順について(ディスク)

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

右図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです(実際に表示される番号ではありません)。



8.7 付録 タイムコレクションについて

車では座席によってリスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正值の算出方法について説明します。

- 1 リスニングポジション(運転席など)に座り、頭の位置と各スピーカーの距離(m)を測定します。
- 2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出します。
 $L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$
- 3 スピーカーごとに算出した距離を音速(343m/s気温20℃)で割り、1000をかけます。
その値が各スピーカーの時間補正值となります。

具体例

右のイラストのフロント右側スピーカーの時間補正值を算出してみます。

(条件):

一番遠いスピーカー〜リスニングポジション:2.25m

フロント右側スピーカー〜リスニングポジション:0.5m

リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になります。右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差があります。

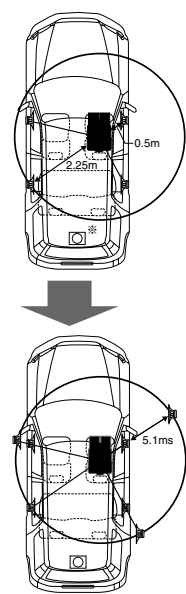
(算出):

$L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

$\text{補正時間} = 1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1(\text{ms})$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正值に5.1(ms)与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させます。

時間補正することで到達時間差が解消されます。



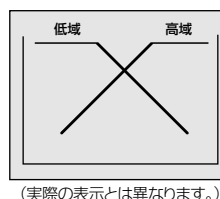
時間差表

ms	cm	ms	cm	ms	cm	ms	cm
0.0	0.0	2.5	85.0	5.0	170.0	7.5	255.0
0.1	3.4	2.6	88.4	5.1	173.4	7.6	258.4
0.2	6.8	2.7	91.8	5.2	176.8	7.7	261.8
0.3	10.2	2.8	95.2	5.3	180.2	7.8	265.2
0.4	13.6	2.9	98.6	5.4	183.6	7.9	268.6
0.5	17.0	3.0	102.0	5.5	187.0	8.0	272.0
0.6	20.4	3.1	105.4	5.6	190.4	8.1	275.4
0.7	23.8	3.2	108.8	5.7	193.8	8.2	278.8
0.8	27.2	3.3	112.2	5.8	197.2	8.3	282.2
0.9	30.6	3.4	115.6	5.9	200.6	8.4	285.6
1.0	34.0	3.5	119.0	6.0	204.0	8.5	289.0
1.1	37.4	3.6	122.4	6.1	207.4	8.6	292.4
1.2	40.8	3.7	125.8	6.2	210.8	8.7	295.8
1.3	44.2	3.8	129.2	6.3	214.2	8.8	299.2
1.4	47.6	3.9	132.6	6.4	217.6	8.9	302.6
1.5	51.0	4.0	136.0	6.5	221.0	9.0	306.0
1.6	54.4	4.1	139.4	6.6	224.4	9.1	309.4
1.7	57.8	4.2	142.8	6.7	227.8	9.2	312.8
1.8	61.2	4.3	146.2	6.8	231.2	9.3	316.2
1.9	64.6	4.4	149.6	6.9	234.6	9.4	319.6
2.0	68.0	4.5	153.0	7.0	238.0	9.5	323.0
2.1	71.4	4.6	156.4	7.1	241.4	9.6	326.4
2.2	74.8	4.7	159.8	7.2	244.8	9.7	329.8
2.3	78.2	4.8	163.2	7.3	248.2	9.8	333.2
2.4	81.6	4.9	166.6	7.4	251.6	9.9	336.6

8.8 付録 X-OVER(クロスオーバー)について

本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ・デバイディング・ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。各チャンネルのHPF(ハイパスフィルター)/LPF(ローパスフィルター)の調整、スロープ(フィルター特性の減衰の傾き)、レベルを設定します。接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
サブウーハー LPF	—	20Hz ~ 200Hz	—	0(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
リア HPF	20Hz ~ 200Hz	—	0(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB
フロント HPF	20Hz ~ 200Hz	—	0(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



- ・ HPF(ハイパスフィルター)はある周波数より下の音域(低域)をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- ・ LPF(ローパスフィルター)はある周波数より上の音域(高域)をカットして、低域の成分を通すフィルターです。
- ・ スロープとは周波数が1 オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何dB 減衰するかを表す値です。
- ・ スロープの数値が大きいほど傾きは急になります。
- ・ スロープを0(OFF) にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。ツイーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。
- ・ 同じチャンネル内でHPF とLPF の周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPF とLPF の周波数を超える調整はできません。

■ X-OVER(クロスオーバーネットワーク)はなぜ必要か？

スピーカーは一つの振動板で可聴帯域すべてをフラットに再生することが理想です。しかし、耳で聞こえる音の周波数は20Hz ~ 20KHz 位と言われ、一つのスピーカーではこの幅広い周波数を再生することは困難です。そこでクロスオーバーを使用しスピーカーを各周波数帯域(低域、中域、高域など)に分け、各スピーカーの能力に見合った再生周波数に分割します。クロスオーバーには低音域を再生するための「ローパスフィルター(LPF)」と高音域を再生するための「ハイパスフィルター(HPF)」があります。このLPF/HPFを利用することで信号に対して忠実な再生ができるようになります。

■ スロープ調整について

例えばHPF を調整した場合、その周波数より低い周波数をまったく再生しないわけではありません。スロープを設定することで、特定の周波数より低くなればなるほど出力(音量)が低くなっていくという減衰特性を調整します。

フィルターのスロープ特性は6dB・12dB・18dB・24dB/oct.を内蔵しており、スロープの数値が大きいほど傾きが急となり、隣の帯域からの音の混ざりもなく狙った帯域だけを再生できますが、各スピーカー間のつながりが悪くなる場合や歪みが発生する場合もありますので、各スピーカー間の音を聴きながら調整してください。

フルレンジスピーカーを使用している場合はスロープ設定は0にします。

■ 調整上の注意

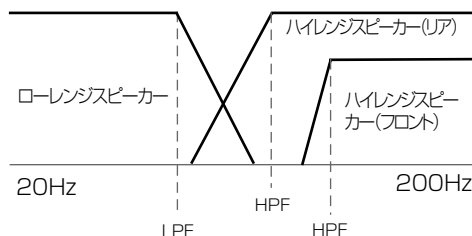
接続しているスピーカーの推奨クロスオーバー周波数にあわせて調整してください。スピーカーの推奨クロスオーバーを必ず確認してください。推奨クロスオーバー範囲外の調整はスピーカー破損の原因となります。弊社製品のクロスオーバー周波数推奨値についてはスピーカーの説明書を参照してください。クロスオーバー推奨値以外のご使用により製品の破損/ 故障等が生じても、責任は負いかねますのでご注意ください。

■ 設定例

例えば、

- ・ サブウーファー: 20Hz ~ 80Hz
 - ・ フロント/リアスピーカー: 80Hz以上
- とします。

本機側の調整はサブウーファーのLPFを63Hzまたは80Hz、フロント/リアスピーカーのHPFはそれぞれ80Hzまたは100Hzを目安とし、次にスロープを設定、そしてスピーカー全体の音のバランスを聴きながら出力レベルの調整を行います。あとは実際に試聴しながら、周波数やスロープの調整などをお好みに合わせて繰り返し最適な調整を探します。



8.9 付録 表示マーク一覧(1/2)

■ 行程ガイドマーク一覧

マーク	地点
	現在地
	目的地
	経由地
	高速道路入り口
	高速道路降り口
	料金所
	インターチェンジ(IC)
	サービスエリア(SA)
	パーキングエリア(PA)
	ジャンクション(JCT)
	案内交差点
	フェリー乗り場

■ 行程ガイド施設マーク一覧

マーク	内容
	ガソリンスタンド
	温泉施設
	FAX
	インフォメーション
	お風呂
	コインシャワー
	コインランドリー
	コイン洗車
	コーヒー
	ドラッグ
	ハイウェイ情報ターミナル
	ベッド
	ポスト
	レストラン
	休憩所
	軽食
	身障者施設
	ベビーベッド
	宝くじ
	名産
	キャッシュコーナー
	トイレ
	自動販売機
	公衆電話
	金融関連
	郵便局

ガソリンスタンドはブランド別のアイコンになります。

■ ルート情報画面案内地点マーク一覧

マーク	地点
	目的地
	経由地
	フェリー乗り場
	料金所
	JCT
	高速道路入口
	高速道路出口
	現在地

■ おすすめスポットマーク一覧

アイコン	おすすめスポットジャンル
	食べる
	買う
	遊ぶ
	観る
	泊まる
	旬のスポット
	温泉地
	その他

・ おすすめスポットアイコンは変更される場合があります。

■ VICS規制マーク一覧

マーク	表示(マーク)
	進入禁止
	入口閉鎖
	事故
	工事

■ VICS駐車場マーク一覧

状況	マーク	色	内容
空車		青	利用が可能な状態
満車		赤	ほぼ満車の状態
混雑		橙	利用率が高い状態
不明		黒	駐車場情報がない状態

・ 地図上に表示される駐車場マークについての説明は、43ページを参照してください。

8.9 付録 表示マーク一覧(2/2)

■ VICS道路交通情報マーク一覧

- ・地図画面に表示されるVICS交通情報マークの意味を以下に示します。
- ・複数の情報を代表して1つのマークのみ表示することがあります。

アイコン	内容
	事故
	故障車
	路上障害
	工事
	凍結
	作業
	通行止め 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入口制限
	オフランプ、規制
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	駐車場:空(青)
	駐車場:満(赤)
	駐車場:混雑(橙)
	駐車場:不明(黒)
	駐車場:閉
	速度規制:10km/h
	速度規制:20km/h
	速度規制:30km/h
	速度規制:40km/h
	速度規制:50km/h
	速度規制:60km/h
	速度規制:70km/h
	速度規制:80km/h

■ AVソース情報マーク一覧

AV メイン画面、ナビ地図画面インジケーター、マルチゲート画面に、下記のような情報アイコンが表示されます。

地上デジタルTV		編成チャンネル名/ 物理チャンネル名
		放送局名
		プリセットNo.
ラジオ		周波数
		放送局名
		プリセットNo.
DVD		タイトルNo.
		チャプター No.
		グループNo.
		トラックNo.
		プログラムNo./ プレイリストNo./プログラム 名/プレイリスト名
		ディスク名
		レコーディング情報
CD		再生中の曲番号
		タイトル名
MP3/WMA/AAC/ SDカード/USBメモリー		再生中の曲番号
		タイトル名
BT Audio		再生中の曲番号
		タイトル名
iPod		再生中の曲番号
		タイトル名/エピソード名
		アルバム名/番組名
		アーティスト名/放送日

■ 地上デジタルテレビ受信状態マーク一覧

表示					
受信状態	圏外	微弱	弱	中	強

■ 地上デジタルテレビ放送内容マーク一覧

アイコン	内容
	マルチビュー放送
	複数の映像を持つ放送
	複数の音声を持つ放送
	字幕放送
	音声多重放送
	ステレオ放送
	ハイビジョン放送
	標準画質放送

■ SD AUDIOマーク一覧

アイコン	内容
	再生中の曲
	録音済みの曲
	本機SDカードに録音されていない曲
	録音中の曲
	録音に失敗した曲

8.10 付録 施設ジャンル一覧(1/2)

ジャンル検索または周辺施設検索のときに使用できる施設ジャンルの一覧表です。実際に表示されるメニューの順序とは異なります。

タグ表示	ジャンル名
食事	ファーストフード
	ファミリーレストラン
	ステーキ・ハンバーグ
	焼肉・ホルモン
	すきやき
	しゃぶしゃぶ
	ジンギスカン
	とんかつ
	牛丼
	牛たん
	鳥料理
	かに料理
	かき料理
	ふぐ料理
	うなぎ
	魚料理
	ちゃんこ
	もつ鍋
	和食ファミレス
	京料理
	小料理
	日本料理
	懐石料理
	割ぼう・料亭
	てんぷら
	おでん
	串揚げ・串かつ
	郷土料理
	沖縄料理
	沖縄そば
	仕出し料理
	お茶漬・おにぎり
	屋形船
	寿司屋
	回転寿司
	持ち帰り寿司
	うどん・そば屋
	お好み焼
	たこ焼
	もんじゃ焼
	洋食ファミレス
	フランス料理
	イタリア料理
	スパゲティ専門店
	ピザ
	カレー
	中華ファミレス
	中華料理
	餃子・しゅうまい
	広東料理

タグ表示	ジャンル名
食事	四川料理
	上海料理
	北京料理
	ラーメン
	韓国料理
	朝鮮料理
	台湾料理
	インド料理
	その他各国料理
	持ち帰り弁当
	持ち帰りうなぎ料理
	折詰弁当
	仕出し弁当
	コーヒーショップ
	コーヒー専門店
	喫茶店
	甘味処
	インターネットカフェ
	マンガ喫茶
	カラオケ喫茶
買物	居酒屋・バー・スナック
	その他飲食店
	コンビニ
	デパート
	ショッピングセンター・モール
	地下街
	スーパーマーケット
	ドラッグストア
	ディスカウントストア
	100 円ショップ
	日用雑貨
	ホームセンター
	スポーツ用品
	衣料品
	家電
	携帯電話ショップ
	CD・ビデオレンタル
	CD・ビデオ
	書店
	おもちゃ
	文房具
	家具・インテリア
	ベビー用品
	薬局・薬店
	化粧品
	めがね・コンタクト
	くつ
	かばん
	時計

タグ表示	ジャンル名
買物	宝石・貴金属
	パン
	ケーキ・菓子
	酒
	食料品
	特産物
	朝市
	地酒
	伝統工芸品
	民芸品
	みやげ品
	贈答品店
	園芸店
	花屋
	手芸品
	リサイクルショップ
	パソコンショップ
	釣り具・釣り餌
	自転車
	オートバイ
	楽器店
	レンタルショップ
	市場
	チケット販売
	その他買い物
車	ガソリンスタンド
	駐車場
	カー用品店
	カーディーラー
	中古車販売・買取
	自動車整備工場
	JAF
	ロードサービス
	交通情報センター
	運転免許センター
	運転代行サービス
	洗車業
	レンタカー
	その他車
交通	JR 駅
	私鉄駅
	地下鉄駅
	空港
	港
	フェリーターミナル
	道の駅
	IC
	SA・PA
観光宿泊	ホテル
	ビジネスホテル

8.10 付録 施設ジャンル一覧(2/2)

タグ表示	ジャンル名
観光宿泊	旅館
	民宿
	ペンション
	公共の宿
	ブティックホテル
	祭事
	名所・旧跡
	城・城跡
	生物観察スポット
	花の名所
	音の名所
	ビュースポット
	観光スポット
	百選
	観光船
	遊覧飛行機
	リフト・ロープウェイ
	果実狩り
	牧場・農場・農園
	工場見学
	巡礼めぐり
	観光案内
趣味娯楽	遊園地
	水族館
	動物園
	サファリパーク
	植物園
	温泉
	サウナ・健康センター
	キャンプ場
	海水浴場・海岸
	海洋・海浜公園
	レジャー公園
	公園・緑地
	ボウリング場
	映画館
	ゲームセンター
	カラオケ
	釣り
	パチンコ・スロット
	競馬場・WINS
	競艇・競輪・オートレース場
	その他レジャー
文化	美術館
	博物館
	資料館
	図書館
	ホール・劇場
	プラネタリウム
	神社
	寺

タグ表示	ジャンル名
文化	教会
	その他文化施設
スポーツ	スキー場
	スケート場
	ゴルフ場
	ゴルフ練習場
	プール
	テニスコート
	陸上競技場
	野球場
	体育館
	武道館・道場
	サーキット場
	オフロード場
	マウンテンバイクコース
	サイクリングコース
	スノーモービル
	フィールドアーチェリー
	マリンスポーツ
	マリナー・ヨットハーバー
	スポーツクラブ
	スポーツ教室
	その他スポーツ
公共	役所
	裁判所
	法務局
	税務署
	保健所
	年金事務所
	大使館・領事館
	警察署
	交番・駐在所
	トイレ
	マスコミ
	郵便局
	その他公共施設
	仮設住宅
	病院一般
	病院(総合病院)
	病院(内科)
	病院(外科)
	病院(胃腸科・消化器科)
	病院(眼科)
	病院(皮膚科)
	病院(小児科)
	病院(耳鼻咽喉科)
	病院(歯科)
	病院(産婦人科)
	動物病院
	その他病院・医療機関
	都市銀行

タグ表示	ジャンル名
公共	地方銀行
	信用金庫
	証券会社
	その他金融機関
	大学・短大
	高校・高専
	中学校
	小学校
	幼稚園
	保育園
	学童保育所・児童館
	予備校
	コンピューター学校
	自動車学校
	その他学校・教育施設
	塾・進学教室
	そろばん教室
	幼児教室
	英会話・外国語スクール
	パソコン教室
	カルチャーセンター
	音楽・ピアノ教室
	ダンス教室
	着付教室
	書道教室
	華道教室
	その他教養施設
その他	美容院
	理容店
	ペット
	クリーニング
	写真・カメラ
	結婚式場
	葬祭
	霊園・墓地
	住宅展示場
	エステティック
	不動産
	高齢者福祉施設

8.11 付録 言語コード一覧

「音声」・「字幕」・「ソフトメニュー」の言語は、以下のコード番号から数字を入力して選択することができます。

記号	コード	言語
AA	6565	アフアル語
AB	6566	アブバジア語
AF	6570	アフリカーンス語
AM	6577	アムハラ語
AR	6582	アラビア語
AS	6583	アッサム語
AY	6589	アイマラ語
AZ	6590	アゼルバイジャン語
BA	6665	バシキール語
BE	6669	ベラルーシ語
BG	6671	ブルガリア語
BH	6672	ビハーリー語
BI	6673	ビスラマ語
BN	6678	ベンガル語、 バングラ語
BO	6679	チベット語
BR	6682	ブルトン語
CA	6765	カタロニア語
CO	6779	コルシカ語
CS	6783	チェコ語
CY	6789	ウェールズ語
DA	6865	デンマーク語
DE	6869	ドイツ語
DZ	6890	ブータン語
EL	6976	ギリシャ語
EN	6978	英語
EO	6979	エスペラント語
ES	6983	スペイン語
ET	6984	エストニア語
EU	6985	バスク語
FA	7065	ペルシャ語
FI	7073	フィンランド語
FJ	7074	フィジー語
FO	7079	フェロー語
FR	7082	フランス語
FY	7089	フリジア語
GA	7165	アイルランド語
GD	7168	スコットランド ゲール語
GL	7176	ガルシア語
GN	7178	グアラニ語
GU	7185	グジャラート語
HA	7265	ハウサ語
HI	7273	ヒンディー語
HR	7282	クロアチア語
HU	7285	ハンガリー語
HY	7289	アルメニア語

記号	コード	言語
IA	7365	国際語
IE	7369	国際語
IK	7375	Inupiak語
IN	7378	インドネシア語
IS	7383	アイスランド語
IT	7384	イタリア語
IW	7387	ヘブライ語
JA	7465	日本語
JI	7473	イディッシュ語
JW	7487	ジャワ語
KA	7565	グルジア語
KK	7575	カザフ語
KL	7576	グリーンランド語
KM	7577	カンボジア語
KN	7578	カンナダ語
KO	7579	韓国語
KS	7583	カシミール語
KU	7585	クルド語
KY	7589	キルギス語
LA	7665	ラテン語
LN	7678	リンガラ語
LO	7679	ラオス語
LT	7684	リトアニア語
LV	7686	ラトビア語、 レット語
MG	7771	マダガスカル語
MI	7773	マオリ語
MK	7775	マケドニア語
ML	7776	マラヤーラム語
MN	7778	モンゴル語
MO	7779	モルダビア語
MR	7782	マラータ語
MS	7783	マレー語
MT	7784	マルタ語
MY	7789	ミャンマー語
NA	7865	ナウル語
NE	7869	ネパール語
NL	7876	オランダ語
NO	7879	ノルウェー語
OC	7967	プロバンス語
OM	7977	(アフアン)オロモ語
OR	7982	オリヤー語
PA	8065	パンジャブ語
PL	8076	ポーランド語
PS	8083	パシュトー語
PT	8084	ポルトガル語
QU	8185	ケチュア語

記号	コード	言語
RM	8277	ラエティ=ロマン語
RN	8278	キルンディ語
RO	8279	ルーマニア語
RU	8285	ロシア語
RW	8287	キニヤルワンダ語
SA	8365	サンスクリット語
SD	8368	シンド語
SG	8371	サンゴ語
SH	8372	セルビアクロアチア語
SI	8373	シンハラ語
SK	8375	スロバキア語
SL	8376	スロベニア語
SM	8377	サモア語
SN	8378	ショナ語
SO	8379	ソマリ語
SQ	8381	アルバニア語
SR	8382	セルビア語
SS	8383	シスワティ語
ST	8384	セストゥ語
SU	8385	スダ語
SV	8386	スウェーデン語
SW	8387	スワヒリ語
TA	8465	タミール語
TE	8469	テルグ語
TG	8471	タジク語
TH	8472	タイ語
TI	8473	ティグリニヤ語
TK	8475	トゥルクメン語
TL	8476	タガログ語
TN	8478	セツワナ語
TO	8479	トンガ語
TR	8482	トルコ語
TS	8483	ツォンガ語
TT	8484	タタール語
TW	8487	トウィ語
UK	8575	ウクライナ語
UR	8582	ウルドゥー語
UZ	8590	ウズベク語
VI	8673	ベトナム語
VO	8679	ボラビュク語
WO	8779	ウォロフ語
XH	8872	コーサ語
YO	8979	ヨルバ語
ZH	9072	中国語
ZU	9085	ズール語

▶ VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM受信機(VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS 対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することができます。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

8.12 付録 約款・規約、その他(2/7)

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

■ 別表

視聴料金 315円(うち消費税15円) ただし、車載機購入価格に含まれております。
--

▶ マイクロソフトからの使用許諾契約書

下記の使用許諾書をよくお読みのうえ、本ナビゲーションを正しくお使いください。

■ 使用許諾契約書

本ナビゲーションには、アルパイン株式会社(以下「ALPINE」)のソフトウェアに加え、Microsoft社(以下「MS」)製Microsoft® Windows® AutomotiveがOSを使用したソフトウェア(以下「本ソフトウェア」)が含まれています。本ソフトウェアはコンピューターソフトウェアMicrosoft® Windows® Automotive並びに、それに関連した媒体、印刷物、「オンライン」、電子文書を含むこともあります。本ソフトウェアは無体財産権に関する法律、条約により国際的に保護されています。本ソフトウェアは許諾されるものであり、販売されるものではありません。お客様が本契約書の条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用複製することはできません。本契約は、お客様に以下のことを許諾致します。

- お客様は、本ナビゲーションにおいてのみ本ソフトウェアを使用することができます。
- 本ソフトウェアは提供時の現状のままで、そこに含まれるあらゆる瑕疵とともに提供されるものであり、品質、性能、正確性その他不適切な取扱に伴う危険について何ら保証致しません。お客様が本ソフトウェアを使用する際支障をきたすことや、また、本ソフトウェアが第三者の無体財産権を侵害していないことについても何ら保証致しません。
- 法律の許す限りにおいて、本ソフトウェアの使用から生ずるいかなる損害(間接損害、特別損害、結果損害、偶発損害)についても、一切責任を負わないものとします。
- 本ソフトウェアに音声認識 および 音声制御機能が含まれている場合、お客様は音声認識 および 音声制御機能は本質的には統計的な手法であること、音声認識、制御の際の誤りはその過程上本質的に存在すること、その音声認識 および 音声制御機能の誤りに起因するあらゆる損害の法的責任はお客様にあることと承諾されたものとします。
- お客様が、本ソフトウェアにつき、リバーエンジニアリング、逆コンパイルその他解析作業を行なうことは禁じられます。但し、法律が明示的に許諾する範囲においてはこの限りではありません。
- 別途契約書が提示されない限り、本ソフトウェアのバージョンアップ品または付属品についても本契約が適用されるものとします。
- お客様に、復元または再インストールのためのソフトウェアが別媒体によって提供された場合、お客様は、提供されたソフトウェアを、復元または再インストールのためにのみ使用できるものとします。
- バージョンアップソフトウェアが別媒体や WEB からのダウンロード、もしくは他の手段で本ナビゲーションと別に提供された場合、お客様は提供されたソフトウェアの一部複製し、既存のソフトウェアの代わりとして、本ナビゲーションにインストールできます。また、そのアップグレードソフトウェアは添付の仕様許諾契約書の追加条項も含めた使用許諾契約書に従って使用できるものとします。
- お客様が、この使用許諾契約書の条項と条件を厳守されない場合は、他のいかなる権利も失うことなく、この使用許諾契約書の契約を終わらせることができます。契約終結時、お客様はソフトウェアの全ての複製と部品を壊すこととなります。
- 本ソフトウェア、添付の印刷物、その複製物に含まれる全ての権利や無体財産権(画像、写真、アニメーション、ビデオ、オーディオ、音楽、テキスト、ソフトウェアに組み込まれている「アプレット」も含めて)、は、各コンテンツのオーナーの財産であり、著作権法あるいは無体財産権に関する法律と条約によって保護されています。この使用許諾契約書は、お客様にこのようなコンテンツを使用権を許諾してはしません。特にこの使用許諾契約書のもとで認可されていない全ての権利は、ALPINE と MS によって留保されます。ソフトウェアを通じてアクセスできるオンラインサービスの使用は、そのようなサービスに関連して使用のための各条項で管理されています。このソフトウェアが電子形式のみで提供されるドキュメンテーションが含まれている場合は、そのような電子ドキュメンテーションを一部のみ複製印刷できます。
- 本使用許諾契約書では、ALPINE、MS の登録商標やサービス商標の使用権利を許可しません。
- 製品や本使用許諾書に関してのお問い合わせは、本ナビゲーションの取扱説明書に記載されているアルパインインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- お客様は、本契約に基づいて、本ソフトウェアの使用の権利を譲渡できるものとします。ただし、譲受者は本使用許諾契約書の条項と条件に同意することを条件とします。また、本ソフトウェアがバージョンアップしている際は、以前のバージョンを含めたものも含め譲渡し、本ナビゲーションと分けての譲渡することはできません。
- 本ソフトウェアはアメリカ合衆国で製品化されたものを含んでいます。お客様は、アメリカ合衆国の輸出管理規制およびアメリカ合衆国その他の政府が発する輸出地に関する規制等、本ソフトウェアに適用される輸出に関する国際的、国内的規制を遵守することに同意されたものとします。

8.12 付録 約款・規約、その他(3/7)

▶ 交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください

この取扱説明書では、安全にかかわる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して記載しています。



警告

その危険を回避できなかった場合に、死亡又は重傷を負う可能性のあるもの

- **運転者は走行中に操作をしないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- **操作は安全な場所に車を停止させてからおこなってください。**
安全な場所以外では追突・衝突されるおそれがあります。
- **運転中は画面を注視しないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- **常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。**
本商品に収録されている地図データ・交通規制データ・経路探索・音声案内などが
実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- **一方通行表示については常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。**
一方通行表示はすべて的一方通行道路について表示されているわけではありません。
また一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
- **本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。**

▶ 路線別データ使用規約

本使用規定（「本規定」）は、アルパイン株式会社が提供する「高速道配信」サービスにより配信される「地図データ」（「本データ」）の提供元である株式会社ゼンリン（「弊社」）とお客様間の、本データの使用許諾条件を定めたものです。本データのダウンロード前に必ずお読みください。なお、お客様が本データをダウンロードされた場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、お客様自身が管理使用するアルパイン株式会社製「VIE-X009 シリーズ」（「機器」）1台に限り、本データを以下のいずれかの方法によりインストールし、機器の取扱説明書（「取説」）および本規定の定めに従い使用することを許諾します。なお、お客様は、本データの機器へのインストールを一部でも開始した場合は、本データをインストールする機器を変更できないものとします。
 - 「パソコン経由でのインストール」
 - (1) お客様自身が管理使用するパソコン1台に限り、本データをダウンロード（複製）する。
 - (2) 上記(1)に従いパソコンにダウンロード（複製）した本データを、SDカードにコピー（複製）する。
 - (3) 上記(2)に従いSDカードにコピー（複製）した本データを、当該SDカードを機器に挿入し、機器にコピー（複製）する。
 - 「携帯電話経由でのインストール」
お客様自身が管理使用する携帯電話を通じて本データをダウンロードし、機器にコピー（複製）する。
2. お客様は、本データのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本データを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
3. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本データの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属し、お客様は、本データに関して、本規定で許諾される権利以外の一切の権利を有しないこと。
 - (2) 本データおよび本データを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本データの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
 - (3) 本データに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、弊社の故意または重過失による場合を除き、お客様が直接被った現実かつ通常の損害の賠償に限られ、また、機器の対価としてお客様がアルパイン株式会社またはその販売代理店に対して現実に支払った金額を限度とすること。なお、この規定は、本データに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
 - (4) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本データの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信することまたは同時に2台以上の機器で使用する。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本データ（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本データをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) その他本データについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

▶ 地図データについて

収録データについて

■ 収録データの補足説明

- ※ 1 「個人宅電話番号・名称データ」による「電話番号」検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域により格差がありますがデータ収録内で全国平均 91%の精度でのピンポイント検索が可能です。なお、検索された物件の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。また電話番号非公開訪問先宅（データ収録外物件）については入力電話番号「局番」周辺の位置検出となります。
- ※ 2 「住所検索データ」による「住所」検索は住所の整備状況により一部検索出来ない住所があります。また検索された住所の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。なお住所データは事業所および施設の住所データも含まれます。
- ※ 3 「50 音データ」および「タウンページ電話番号データ」によるピンポイント検索は、全国平均 99%の精度でのピンポイント検索が可能です。また国土地理院発行地図の番号未掲載や電話番号登録時の状況により周辺地域による位置検出となる場合があります。なお、収録されているデータは 2011 年 11 月時のタウンページデータです。
- ※ 4 市街地カバー面積は収録地域によって全域をカバーしていない場合があります。

地図・情報について

このアルパインナビゲーションシステムの「地図」は「全国デジタル道路地図データベース」と「交通規制データベース」をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報(高速道路・有料道路は2011年12月までに、国道・都道府県道は2011年9月現在までに)を網羅し、作成したものです。

本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。

地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

抜け道データは昭文社「マップル渋滞ぬけみちデータ」(2011年12月)に基づき作成しています。

■ 地図版権について

- このナビゲーションに搭載されている地図の内容の一部または全部の複製を禁じます。
- ©2007 財団法人日本デジタル道路地図協会
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 50 万分の 1 地方図及び 2 万 5 千分の 1 地形図を使用しました。(承認番号 平 23 業使、第 192-481 号)
- この地図作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 11-080)
- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTER が作成したものを使用しています。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。(予測データ提供元：NTT データ、予測の元となる情報：JARTIC/VICS センター)
- © 2012 MBA, Inc.
- © 2012 ZENRIN CO., LTD.
- © 2011 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
- © 2011 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
- © ジオ技術研究所
- © 2012 ALPINE ELECTRONICS, INC.

個人宅電話番号・名称データについて

個人宅電話番号・名称データはおおむね2011年10月までに収集されたデータを使用しています。

- ※ 個人情報保護に関する基本方針およびナビゲーション地図に搭載されている個人データの取り扱いについては下記アドレスのホームページをご覧ください。
<http://www.alpine.co.jp/>

8.12 付録 約款・規約、その他(5/7)

▶ セキュリティ設定について

セキュリティコードを設定すると、盗難被害に遭ってナビを取り外されても、セキュリティコードを入力しないと本機を使用できません。セキュリティコードを設定することをお勧めします。



- 設定方法は「セキュリティ設定」(114ページ)を参照してください。

▶ カーナビゲーションに記録されるデータについて

カーナビゲーションは、お客様で自身の操作によりSDカードやメモリーに記録される「地点情報」や「走行軌跡」の他にも、製品の修理等に役立てることを目的に、自動的に記録されるデータがあります。

- ① カーナビゲーションが自動的に記録するデータ
電源が ON の状態で下記データを自動的に記録します。
 - 目的地設定履歴 等
 - 走行情報 等
- ② 記録されたデータの開示について
弊社及び弊社関連会社（開発委託先、サービス会社等）は、カーナビゲーションに記録されたデータを製品の修理、カーナビゲーションの研究開発を目的に取得・流用することがあります。
また、弊社及び弊社関連会社は、以下の場合を除き、取得したデータを第三者に開示・提供することはありません。
 - カーナビゲーションを所有するお客様ご自身の同意がある場合。
 - 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合。
 - 統計的な処置を行う等、使用者が特定されないように加工したデータを研究機関等に提供する場合。

▶ 地デジチャンネル変更について

2011年7月から2013年3月31日にかけて、周波数(チャンネル)の再編と、受信障害の解消を目的に、一部地域で地デジチャンネル変更が実施されます。現在放送で使用している13～62チャンネルのうち、53～62チャンネルを使用しているデジタル放送の中継局は、13～52チャンネルに変更されます。

地デジチャンネル変更が実施されると、そのチャンネルが受信できなくなります。そのため、お使いの地デジチューナーや地デジ対応ナビゲーションにおいて、チャンネルの再設定が必要です。

- 地デジチャンネル変更後はホームモードスキャン/初期スキャンを行い、チャンネルを再設定してください。
- お出かけスキャン/トラベルスキャンも合わせて実行してください。

地デジチャンネル変更の詳細は、下記ホームページの総務省広報資料をご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu08_01000026.html

▶ Gracenoteについて

Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。

Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページ<http://www.gracenote.com>をご覧ください。

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000-present Gracenote.

Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote.

本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。

適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。

Gracenote, CDDb, MusicID, MediaVOCS, Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:<http://www.gracenote.com/corporate>

・「Gracenote®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。

Gracenote®エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利のかつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシー ポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

8.12 付録 約款・規約、その他(7/7)

▶ 電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先: アルパイン株式会社 インフォメーションセンター



一般電話から 0570-006636

※ 全国どこからでも市内料金でお問い合わせいただけます。

※ 一般電話からご利用いただけます。携帯電話等からは、誠に恐れ入りますが下記番号までおかけください。

携帯電話・IP電話・光電話等から 048-662-6636

FAXでのお問い合わせ 048-662-6676

※ 電話受付時間(日、祝日、弊社休業日を除く)

月～金:9:30～17:30 土曜日:9:30～12:00 13:00～17:00

※ お電話でのお問い合わせは混雑が予想されますので、FAXでのお問い合わせをおすすめいたします。
ホームページアドレス <http://www.alpine.co.jp>

2.4	FH	1

2.4 FH 1
① ② ③

① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します

② 「FH」変調方式を表します

③ 「1」想定される干渉距離(約10m)を表します

8.13 付録 保証について/規格(1/3)

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げの日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、この取扱説明書や「かんたん操作ガイド」(21 ページ参照)でもう一度ご確認ください。
- それでも調子が悪いときは、保証書記載(裏面)に従い修理させていただきますので、お買い上げ店または「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口にて修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品は、製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げのお店または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 修理によって登録内容が消去される場合があります。修理を依頼する前には、必ず登録している内容の控えを取ってください。

■ 規格/付属品

ナビゲーション部	受信周波数	1575.42±1MHz
	受信感度	-130dBm
GPSアンテナ部	本体部外形寸法	26.0mm(幅)×12.9mm(高さ)×26.0mm(奥行)
	重量	12g
モニター部	画面サイズ	9型
	表示方式	透過型TN液晶
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス
	画素数	1,152,000画素
	有効画素数	99.99%以上
	使用光源	LEDバックライト方式
ラジオ・チューナー部	受信周波数	AM:522 ~ 1629kHz
		FM:76.0 ~ 90.0MHz
	実用感度	AM:22.5μV
		FM:0.8μV(75Ω):9.3dBf(新IHF)
	ステレオセパレーション	FM:45dB以上
	SN比	FM:80dB以上
FMVICSチューナー部	イメー	FM:80dB以上
		FM:80dB以上
	IF妨害比	FM:80dB以上
		FM:80dB以上
	FMVICSチューナー部	受信周波数
		FM:76.0 ~ 90.0MHz
地上デジタルテレビ・チューナー部	受信周波数	473.143 ~ 767.143MHz
	回路方式	PLL周波数シンセサイザー
	受信チャンネル	UHF13 ~ 62チャンネル
	受信感度	-85dBm
BLUETOOTH部	BLUETOOTHバージョン	Bluetooth2.1+EDR
	出力	+4dBm(Power Class2)

8.13 付録 保証について/規格(2/3)

DVD/CD部	方式	光学式(コンパクトディスク方式)
	量子化ビット数	1ビット
	チャンネル数	DVD2チャンネルダウンミックス/CD2チャンネル(ステレオ)
	ダイナミックレンジ	95dB(1kHz)以上
	高周波歪率	0.008%(1kHz)以下
	チャンネルセパレーション	90dB(1kHz)以上
	ワウフラッター	測定限界以下
	信号システム	NTSC
	水平解像度	500本以上
	画像出力レベル	1Vp-p(75Ω)
	画像SN比	DVD:70dB
	音声SN比	95dB
	周波数特性	5～20kHz
SDカード部	ファイルシステム	FAT 16/32
	再生信号圧縮方式	MP3、WMA、AAC
USBメモリー部	ファイルシステム	FAT 16/32
	再生信号圧縮方式	MP3、WMA、AAC
	供給電圧	5V
総合	電源電圧	DC14.4V(動作範囲:11～16V)マイナスアース
	最大出力	50W×4
	動作温度範囲	-20° C～+60° C
	外形寸法	214mm(幅)×134.4mm(高さ)×184.5mm(奥行) ・ノーズ部:214mm(幅)×134.4mm(高さ)×41mm(奥行) ・筐体部:178mm(幅)×100mm(高さ)×143.5mm(奥行)
	重量	3.4kg(本体:3.14kg+キーユニット:0.24kg)
	付属品	取扱説明書、取付説明書、保証書類一式、取付部品一式(取付説明書参照)

※製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

※寸法・重量は、本体+キーユニット部となります。取付け部品は含まれておりません。

8.13 付録 保証について/規格(3/3)

- 本機は、米国特許および Rovi Corporation のその他の知的財産権によって保護されたコピー防止技術を搭載しています。リバースエンジニアリングおよび分解は禁止されています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルパイン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
- 本製品の BLUETOOTH ソフトウェア・スタックは株式会社東芝が開発した BLUETOOTH® Stack for Embedded Systems Spec 1.2 を搭載しております。お客様は本ソフトウェアを改変し、またはリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、有償、無償に関わらず第三者に販売、頒布、貸与、譲渡等、あるいは再使用許諾することはできません。
- Windows Media および Windows は、米国及びその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson から実施許諾されています。
- 本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com> にアクセスしてください。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN" ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- iPod は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- 「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPod もしくは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本アクセサリを iPod または iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- SD メモリーカード™ はパナソニック株式会社、米 SanDisk 社、株式会社東芝の商標です。
- エコ運転支援機能は Pivot 社 (<http://www.pivotjp.com>) 製の e-drive 機能の判断方式を使用しています。
- QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。
- マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- FOMA は NTT ドコモの登録商標です。
- Uni-Type™ は、株式会社リムコーポレーションと千葉大学工学部との共同研究によって開発されたユニバーサルデザインの書体です。
- Uni-Type™ は、株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
- 「いつも NAVI」は、株式会社ゼンリンデータコムドライバー向け WEB サービスとなります。
- **DSRC** は一般社団法人 ITS サービス推進機構の登録商標です。
- 本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser DTV Profile BML Edition を搭載しています。
- ACCESS、NetFront は株式会社 ACCESS の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- プラズマクラスターマーク及びプラズマクラスター、Plasmacluster はシャープ株式会社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

■ 次の点にご留意ください

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- ・ AVC 規格に準拠する動画 (以下、AVC ビデオ) を記録する場合
- ・ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ・ ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC にお問い合わせください。



いつもNAVI



(AV/NAVI/MD/3D)

(平成 24 年 2 月現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
 < 一般回線ご利用のお客様用 >
 TEL : 0570-006636
 ※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
 (一部回線でつながらない場合があります。)
 < 携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用 >
 TEL : 048-662-6636



- 電話受付時間 (日、祝日、弊社休業日を除く)
 月～金 : 9 : 30 ~ 17 : 30
 土曜日 : 9 : 30 ~ 12 : 00 13 : 00 ~ 17 : 00
- 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。
 FAX : 048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス (株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス (株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3-18-14	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

五十音順

あ

アートワーク自動取得	110
明るさ	121
空き道表示	102
アクティブルートサーチ	107
圧縮フォーマットについて	156
アニメーション表示	111
案内開始	27
案内地点マーカー一覧	160
案内誘導設定	105

い

一般	27, 30
いつも NAVI	59
いつも NAVI 設定	126
緯度経度	26
イルミネーション連動設定	112
色の濃さ	121

う

ウォークマン®	91
ウォークマン® についてのご注意	155
迂回エリア考慮	107
迂回距離	108
迂回地点	35, 36

え

英語設定	111
エコガイド	39, 40

お

オーディオ (BT AUDIO)	53, 124
オーディオモード画面への割込み	109
オープニング画像	119
お知らせ・特集	62
お知らせ・特集表示	127
おすすめスポット	61, 63, 64
おすすめスポットアイコン表示	127
おすすめスポット自動取得	126
おすすめスポットマーカー一覧	160
おすすめスポット割込み	127
お問い合せ窓口	175
オプションキー	18, 113
音質調整	115
音声案内	33
音声自動読み上げ	109
音量調整	122

か

ガイド音声	122
外部接続機器選択	110
外部入力	100
各種設定	102
角度調整	20
画像取得	127
画質調整	121, 134
カメラについて	130
カメラ表示地点	35, 36
画面 OFF	101
かんたん操作ガイド	21

き

規格	172
規制考慮	27
規制マーク表示	103
軌跡表示	102
起動時新着確認	126
行政界色分け	103
距離	27, 30
距離補正	112

く

クルージングマップ	12
クロスオーバー	117, 159

け

携帯電話を接続する	52
経由地スキップ	30
経由地編集	29
経由地を設定する	23
経路設定	107
言語コード一覧 (DVD)	164
現在地画面	10
県境案内	105
厳選ジャンル	61

こ

広域	10
交差点拡大図	31
更新情報	51
高速道差分更新	49
高速道差分配信	50
高速・有料モード地図	104
交通情報	45
交通情報を聴く	72
行程ガイド	12
行程ガイドマーカー一覧	160
合流案内	105
コントラスト	121

さ

細街路オートスケール	103
サイドカメラ	133
サイドカメラガイド調整	114
サイドカメラ地点連動表示	114
サブウーファー設定	118
サブウーファーレベル	115
残距離音声案内	105

し

時間曜日規制考慮	107
事故多発警告案内	105
自車位置修正	114
自車マーク	104
施設ジャンル一覧	162
施設文字	104
自宅に帰る	24
自宅を登録する	2, 9
自動着信	123
自動ハイウェイモード	104
シネマ	121
シャープネス	121
車種選択	119
車種専用サウンド	115
車種専用セッティング	2, 119
車両情報	106, 128
ジャンル	25
住所	25
住所名称	26
渋滞学習	109
渋滞・混雑表示	102
渋滞推測 (空き道) 表示	103
渋滞推測 (渋滞・混雑) 表示	102
渋滞線明滅表示	103
周辺	24
周辺迂回	30
受話音量	122
条件変更	30
詳細	10
詳細情報画面	25
詳細案内図表示	105
情報保持時間	109
情報割込み	109
新着確認項目設定	126

す

推奨	27, 30
数字を入力する	139
スキン変更	114
スクロール	11
スクロール方面表示	104
ステアリングリモコン設定	112
スマート IC 利用	107

せ

セキュリティ設定	114
設定・情報画面	17
設定・編集	102
全国地図更新	47
全情報 初期化	114
全設定項目初期化	114
全ルート表示	28

そ

ソース別音量調整	118
走行連動地図切換	104
操作音	122
送話音量	122
その他設定	111

た

タイムコレクション	117, 135, 158
タッチパネル補正	112
短縮ダイヤル	57

ち

地上デジタルテレビ受信状態マーカー一覧	161
地上デジタルテレビ設定	71
地上デジタルテレビ放送内容マーカー一覧	161
地上デジタルテレビを見る	66
地図切換画面	12
地図更新	47
地図縮尺の変更	10
地図色切換	103
地図データについて	168
地図の動かし方	11
地図表示設定	12, 102
地図マーカー一覧	179
地点追加	120
地点登録	35
地点保存	120
着信音量	122
着信全画面割込み	123
着信・通話画面情報表示	123
着信履歴	56

て

ディスクについてのご注意	152
デモ走行	28
天気情報	62
電源の ON/OFF	19
電話設定	123
電話帳	56
電話帳読込	58
電話番号	25
電話を受ける	54
電話をかける	54

と

冬期規制アイコン表示	103
冬期閉鎖区間考慮	108
到着予想時刻音声案内	105
到着予想時刻速度設定	105
登録地点	24, 36
登録地点詳細情報画面	37
登録地点編集画面	36
特別地点	35, 36
時計表示	101, 111
トップビュー	130, 132
ドライブインフォ画面	39
ドライブインフォ設定	113
ドライブプラン	61, 65
ドライブプラン通知	126

な

ナビ案内画面割込み	105
ナビ音声案内時の AV 音量ミュート	106

に

認証情報設定	126
--------	-----

ぬ

抜け道探索	107
-------	-----

ね	燃費情報画面..... 40	り	リアカメラ..... 130 リアカメラガイド調整..... 113 リアカメラ接続..... 113 リアビジョン設定..... 112 リアビジョン..... 135 リダイヤル..... 57 リモコンの使い方..... 136 料金所ゲート案内..... 106 リルート..... 30	l	IC 変更..... 27 iPad/iPhone についてのご注意..... 155 iPad/iPhone を聴く / 見る..... 92 ITS スポット..... 129
の	ノースアップ..... 11 ノーマル..... 121	る	ルート案内画面..... 14, 31 ルート学習..... 108 ルート画面..... 28 ルート消去..... 25, 30 ルート情報..... 28 ルート探索結果画面..... 27 ルートブラウザ..... 29 ルームカメラ..... 133	L	Layout Change..... 38
は	バージョン情報..... 128 バックビュー..... 130 発信履歴..... 56 パノラマビュー..... 130, 132 パラメトリック EQ..... 117 バランス (BAL) 調整..... 116 番組表..... 68, 70 番号入力して電話をかける..... 56 ハンズフリー..... 52, 124 ハンズフリー電話..... 52 汎用カメラ接続..... 113	れ	レーンガイド表示..... 105	M	Media Xpander..... 116
ひ	ビッグ時計表示..... 111 ビル立体表示..... 103	ろ	録音ビットレート..... 110 録音用 SD 情報..... 128 路上駐車場マーク表示..... 103 路線別..... 26	P	Parametric EQ..... 117
ふ	フェーダー (FAD) 調整..... 116 フェリー使用..... 107 フォトリンク..... 101 踏み切り案内..... 105 プローブ..... 109 フロントカメラ..... 132 フロントカメラガイド調整..... 113 フロントカメラ接続..... 113 フロントカメラ速度連動表示..... 113 フロントカメラ地点連動表示..... 113	わ	ワイド..... 121 割込み時間..... 109 ワンセグ..... 70, 71	Q	Q&A..... 140
へ	別ルート..... 27 ヘディングアップ..... 11	▶ アルファベット順		S	SD AUDIO プレイリスト編集..... 90 SD AUDIO 編集..... 89 SD AUDIO マーカー一覧..... 161 SD AUDIO を聴く..... 84 SD カードについてのご注意..... 154 SD 初期化..... 120
ほ	ホームスキャン..... 71 方面看板表示..... 105	A	AV OFF..... 100 AV ソース情報マーク..... 161 AV 設定..... 110 AV ソースメニュー画面..... 16	T	T.CORR..... 117, 158
ま	マップコード..... 26 マルチゲート画面..... 38	B	BASS MAX EQ..... 116 B-CAS カード..... 66, 71 Bluetooth 機器設定..... 125 Bluetooth 設定..... 53, 97, 124 BLUETOOTH プロファイル..... 52 BT AUDIO を聴く..... 97	U	USB メモリーについてのご注意..... 154 USB メモリーを聴く..... 100
み	道幅..... 27, 30	C	CD を聴く..... 81, 82	V	VICS..... 41 VICS 情報..... 45 VICS 設定..... 109 VICS 駐車場情報..... 46 VICS 駐車場マーク表示..... 103 VICS 提供道路..... 103 VICS マーカー一覧..... 160, 161 VICS 割込み情報..... 45 VISUAL EQ..... 121
め	名称..... 24 メディア情報..... 120 メディア編集..... 120 メニュー画面文字サイズ..... 111	D	DEFEAT..... 116 DSRC..... 41, 129 DVD 初期設定..... 78 DVD を見る..... 74, 75	X	X-OVER..... 117, 159
も	目的地画面..... 15 目的地履歴..... 24 文字入力のしかた..... 138 モニター自動 CLOSE..... 112	E	ETC..... 129	▶ 数字順	
ゆ	誘導方向表示..... 103 郵便番号..... 26	F	FAD/BAL 調整..... 116 FM 多重..... 45		1 画面..... 12 2 画面..... 12 2 画面表示 AV+Navi..... 13 3D 角度調整..... 12 3D マップ..... 11 3D ランドマーク表示..... 103 5 ルート..... 27, 30
よ	夜用明るさ調整..... 112	G	GPS 情報..... 128 Gracenote について..... 170		
ら	ライブコントラスト..... 121 ラジオを聴く..... 72, 73 ランドマーク表示..... 102				

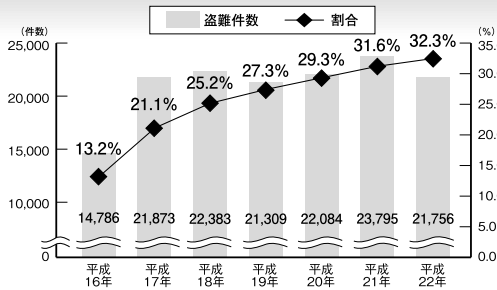
カーナビゲーションを購入された皆様に伝えたいことがあります

今カーナビが危ない!

全国で24分に1台のカーナビが盗難被害に遭っています。

カーナビゲーションの盗難被害状況

部品ねらい被害におけるカーナビ盗難の件数と割合



製造番号があれば被害品の発見、返還がしやすくなります。



それじゃ見つけにくいな。



製造番号が記載された保証書類は大切に保管し、ハガキまたはWEBでユーザー登録を行いましょう。

盗難被害に遭わないように、防犯対策に気を付けましょう。



問い合わせ先 ユーザ登録に関するお問い合わせは、お買い上げになられた製品のメーカー宛にお願い致します。

警察庁・社団法人電子情報技術産業協会・社団法人日本損害保険協会

8.17 付録 地図マーク一覧

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	病院		冬期規制区間		植物園
	学校		商業施設		水族館
	郵便局		ホテル		遊園地、テーマパーク
	消防署		銀行		博物館
	警察署		工場、工場敷地		図書館
	都道府県庁		教会		美術館
	市役所、区役所		神社		ガソリンスタンド
	町村役場		寺		カー用品店
	官公署(特定記号無)		墓地		国防施設(自衛隊、米軍など)
	インターチェンジ、ランプ		温泉		JRA競馬場、ウインズ
	サービスエリア		海水浴場		レジャー一般
	パーキングエリア		スキー場		バス停
	ジャンクション		ゴルフ場		事故多发地点記号
	ランプ出口		運動施設(スタジアムなど)		路上パーキングメーター
	料金所(スマートIC含む)		城、城跡		その他施設
	駐車場		キャンプ場		車上狙い等多発地点(危険度レベル1)
	飛行場		山		車上狙い等多発地点(危険度レベル2)
	港、フェリー発着場		史跡、名所		車上狙い等多発地点(危険度レベル3)
	マリーナ、ヨットハーバー		公園		
	交差点		動物園		

- 情報検索精度について**
 電話番号検索および50音検索などは、電話番号登録時の登録内容によっては、周辺地域による検出になる場合があります。
 本機に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があります。使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。
 本機は天変地異による規制には対応しておりません。該当する地域周辺を走行される場合は警察・交通情報センター等にご確認ください。
- 地図データベースについて**
 地図データベース上、最終更新されたものを使用していますが、地域によっては最終更新日が古い場所も存在し、現在の状況と異なる場合があります。
- 交差点拡大図に表示される地図マークは形状が異なる場合があります。

「お客様登録」のご案内

地図更新・高速道更新情報配信のために本機の「お客様登録」をお願い致します。
お客様と本機の情報を登録していただくと、地図更新の他に、お得な情報・サービスを受けることもできます。

- 差分マップ(地図データ更新)
- 高速道更新等の情報通信サービス
- いつもNAVI など

<登録方法>

① パソコンから

「アルパインお客様登録」で検索

またはアルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp> にアクセス

▶ 「User's Room」をクリック

② 携帯電話から

<http://www.alpine.co.jp/mobile> にアクセス



③ お客様登録ハガキから

本機に同梱されています。

- 仕様および外観は改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは撮影・印刷条件により実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
<一般回線ご利用のお客様用>
TEL: 0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

<携帯電話・IP電話・光電話等をご利用のお客様用>
TEL: 048-662-6636

- 電話受付時間(日、祝日、弊社休業日を除く)
月～金: 9:30 ~ 17:30
土曜日: 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
<FAXをご利用のお客様用>
FAX: 048-662-6676
- アルパインホームページ上からE-mailでのお問い合わせができます。どうぞご利用ください。
- アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>
FAQ(よくあるご質問) <http://faq.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。



お願い

本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っぱったりすると
ページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan

68-23120Z28-A (Y-736_B5)